RICOH

IPSiO SP C420

使用説明書
〈ハードウェアガイド〉



紙の使用説明書にない情報は
画面で見る使用説明書（付属の
CD-ROMに収録）をご覧ください。



ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

本機に同梱されている使用説明書

- はじめにお読みください
- かんたんセットアップ
- クイックガイド
- ハードウェアガイド（本書）
- ソフトウェアガイド
- セキュリティーガイド
- PostScript 3 編
- RPDL 編
- R98 編
- R55 編
- R16 編
- PCL 編
- VMカード Java™ Platform 拡張機能初期設定 Web編

目次

4. インターフェース設定

5. 用紙のセット

6. 消耗品の交換

7. 清掃

8. 調整

9. 困ったときには

10. 紙づまりの対処

11. 付録

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。

画面で見る使用説明書は付属の CD-ROM に収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、P.30「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じですが、HTML 形式の使用説明書は説明の一部に動画を用いています。

はじめにお読みください（）

本製品についてのお問い合わせ先、注意事項を記載しています。また、HTML マニュアルや認証機能について説明しています。

かんたんセットアップ（）

プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。

クイックガイド（）

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

ハードウェアガイド（本書）（）

本体各部の名称とはたらきや、オプションの接続方法、用紙に関する情報、消耗品の交換、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

ソフトウェアガイド（）

プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

セキュリティーガイド（）

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るための方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。セキュリティー強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

PostScript 3 編（）

PostScript 3 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RPDL 編（）

RPDL エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R98 編（）

R98 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R55 編（）

R55 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R16 編（）

R16 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

PCL 編（）

PCL エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定 Web 編（）

Web Image Monitor を使用して拡張機能の設定を行う方法について説明しています。

Linux/Unix をお使いの方へ（）

コマンドを使用してプリンターを操作する方法について説明しています。本機では使用できない機能や設定についても記載している場合があります。この説明書はリコーのホームページからダウンロードしてください。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧いただけます。
- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書 HTML 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル
はじめにお読みください	なし	有り（）	なし
かんたんセットアップ	有り（）	なし	有り（）
クイックガイド	有り（）	なし	有り（）
ハードウェアガイド	有り（）	有り（）	有り（）
ソフトウェアガイド	なし	有り（）	有り（）
セキュリティーガイド	なし	なし	有り（）
PostScript 3 編	なし	有り（）	なし
RPDL 編	なし	有り（）	なし
R98 編	なし	有り（）	なし
R55 編	なし	有り（）	なし
R16 編	なし	有り（）	なし
PCL 編	なし	有り（）	なし
VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定 Web 編	なし	有り（）	有り（）
Linux/Unix をお使いの方へ	なし	なし	有り（）

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- **（関係法律）**
    - 紙幣類似証券取締法
    - 通貨及証券模造取締法
    - 郵便切手類模造等取締法
    - 印紙等模造取締法
    - （刑法 第 148 条 第 162 条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- **（関係法律）**
    - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
    - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

おもなオプションと略称

本体に用意されているおもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
500 枚増設トレイユニット タイプ 400	500 枚増設トレイユニット
SDRAM モジュール VIII 128MB	SDRAM モジュール 128MB
SDRAM モジュール VIII 256MB	SDRAM モジュール 256MB
拡張 HDD タイプ N	拡張 HDD
IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A	拡張無線 LAN ボード
1Giga イーサネットボード タイプ B	拡張ギガビットイーサネットボード
拡張 1284 ボード タイプ A	拡張 1284 ボード
ワイヤレスインターフェースボード タイプ BT7	拡張 Bluetooth ボード
リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1	IC カード R/W

商品名	略称	総称
IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C420	マルチエミュレーションカード（RPDL、R98、R55、R16）	拡張 SD カード
IPSiO PS3 カード タイプ C420	PS3 カード	
IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C420	PDF ダイレクトプリントカード	
IPSiO PCL カード タイプ C420	PCL カード	
IPSiO BMLinkS カード タイプ B	BMLinkS カード	
IPSiO セキュリティカード タイプ C	セキュリティーカード	
IPSiO 蓄積文書暗号化カード タイプ B	蓄積文書暗号化カード	
IPSiO デジタルカメラ接続カード タイプ F	デジタルカメラ接続カード	
リコー 個人認証カード タイプ R1-08	個人認証システム	

安全上のご注意

表示について

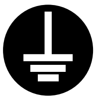
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 （左図の場合は、“分解禁止”を表します）

	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 （左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために守っていただきたいことを説明します。

接地接続について

⚠警告

- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

使用環境について

⚠警告

- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

⚠警告

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

⚠注意

- この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

⚠注意

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意

- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて

⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

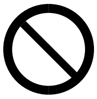
⚠警告

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告



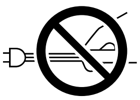
- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



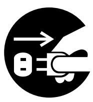
- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体の取り扱いについて

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- プリンター本体は約50kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を4人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源コードをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

機械内部の取り扱いについて

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- レジストローラー周辺を清掃するときは、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットは、前カバーを開けてから 1 時間以上待ち、常温であることを確認してから取り外してください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- 機械が動いているときは、原稿や転写紙を送るためのローラー、コロなどが回転しています。
- 安全装置によりけがをしないように設計されていますが、止まるための負荷でかじる程度の状態は生じることがあります。機械が動いているときは、ローラー、コロなどに手を触れないように注意してください。

⚠注意

- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

⚠注意

- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

消耗品の取り扱いについて

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

心臓ペースメーカーをお使いの方へ

⚠警告

- 機械から微弱な磁気が出ています。植え込み型医療機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）をご使用の方は、異状を感じたら本製品から離れてください。そして、医師に相談してください。

レーザーの安全性

この製品は、「クラス 1」レーザー製品として認定されています。この製品は、複数の AlGaInP 半導体レーザーを使用しており、それぞれの半導体レーザーの最大出力は 9mW で、波長は 648〜663nm です。

レーザー放射は筐体内に完全に遮へいされているため、この使用説明書の指示を守ってご使用になる限りは、ご使用のどの段階においてもレーザー放射が機外に漏れ出すことはありません。

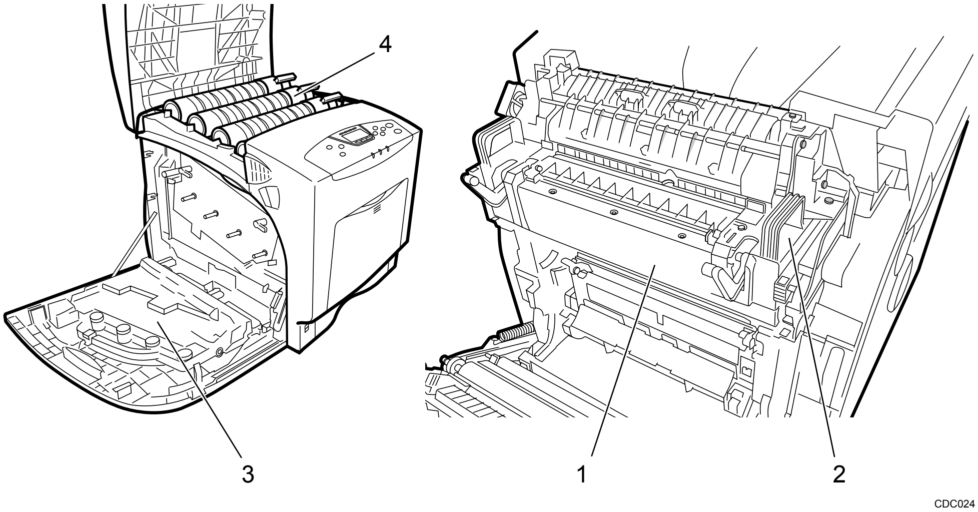
⚠注意

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

安全に関する本機の表示について

警告、注意のラベル位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

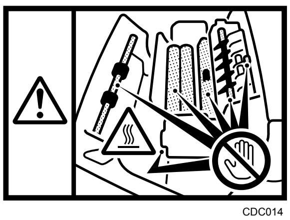


1. 定着部の高温注意



高温です。定着部の交換・用紙づまり処理は、主電源を切ってからしばらくお待ちください。

2. 機械内部の高温注意



機械内部には高温の部分があります。このラベルの示す箇所には触れないでください。やけどの原因になります。

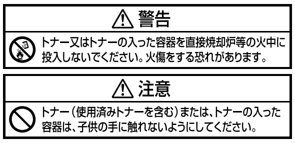
3. トナーの火中投棄警告



CDC015

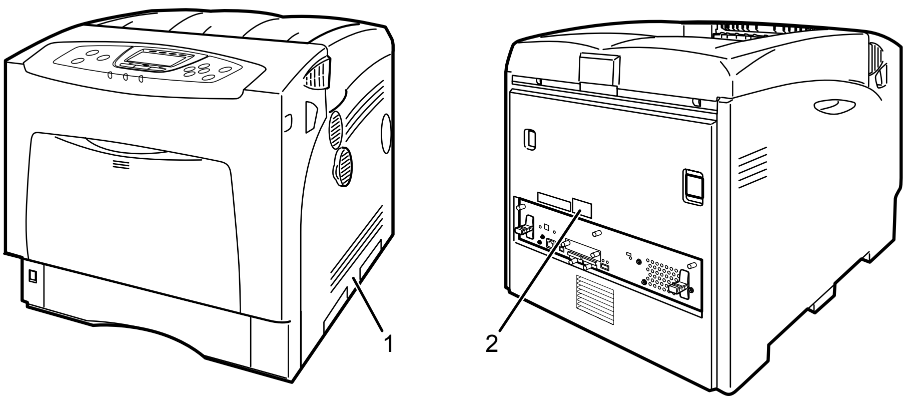
トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

4. トナーの火中投棄警告



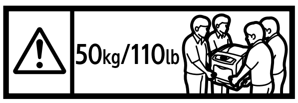
CDC016

トナー又はトナーの入った容器を直接焼却炉等の火中に投入しないでください。火傷をする恐れがあります。トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。



CDC023

1. 本体重量注意

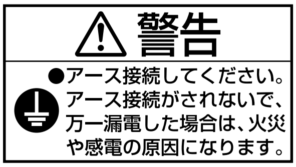


CDC019

プリンター本体は約 50kg あります。

機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 4 人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

2. アース接続の警告



アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になりあます。

電源スイッチの記号

本機のスイッチ類に記されている記号の意味は以下のとおりです。

- **I** ： 電源オン
- **○** ： 電源オフ

エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラム

ENERGY STAR

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

低電力機能

- 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作部のキーを押すと解除されます。
- 省エネモードへの移行時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

機能の仕様

省エネモード	消費電力	6W
	初期設定移行時間	15 分
	復帰時間	30 秒以下

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

画面で見る使用説明書の使いかた

画面で見る使用説明書の使いかたについて説明します。画面で見る使用説明書は、付属のCD-ROM に収録されています。

使用説明書の種類

本機の使用説明書は、媒体により 3 種類のものを提供しています。

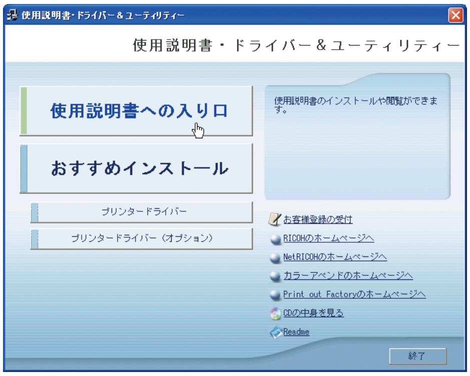
- 紙の使用説明書
- 画面で見る使用説明書（HTML 形式）
- 画面で見る使用説明書（PDF 形式）

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じですが、HTML 形式の使用説明書は説明の一部にムービーを用いています。使用説明書の記載内容について詳しくは、P.8「使用説明書の紹介」を参照してください。また、分冊により提供されている使用説明書の形式が異なります。詳しくは、P.10「使用説明書一覧表」を参照してください。

使用説明書（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。



3. ［使用説明書（HTML）を見る］をクリックします。

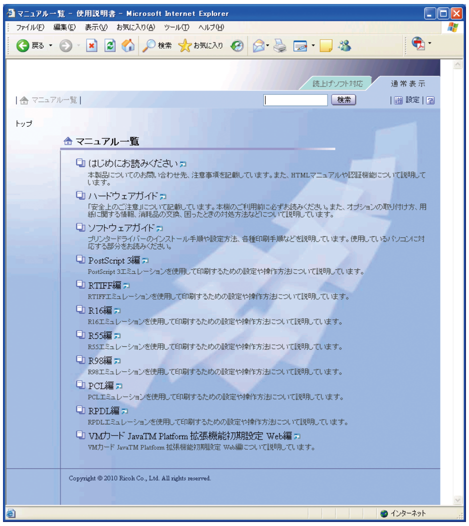
4. 参照したい使用説明書を選びます。

ブラウザーが起動し、使用説明書が表示されます。

補足

- 推奨ブラウザーは Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2 以降です。

- 推奨外のブラウザーでは、バージョンの低いブラウザー向けに簡素化した使用説明書が表示されます。
- HTML 形式の使用説明書内のムービーを表示するには Adobe Flash Player（Macromedia Flash Player 5 以降）のプラグインが必要です。
- HTML 形式の使用説明書は通常用と読み上げソフト用と簡易表示用の 3 種類を収録しています。使用環境に合わせてお選びください。
- 使用説明書の内容を音声読み上げソフトでお聞きになる場合、または Flash プラグインをインストールできずムービーが表示されない場合は、音声読み上げ用に最適化された「読上げソフト対応」に切り替えてお使いください。ウィンドウ右上のタブで表示を切り替えることができます。



- Macintosh をお使いの場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットした後、［使用説明書（HTML）を見る］をクリックして使用説明書を開いてください。

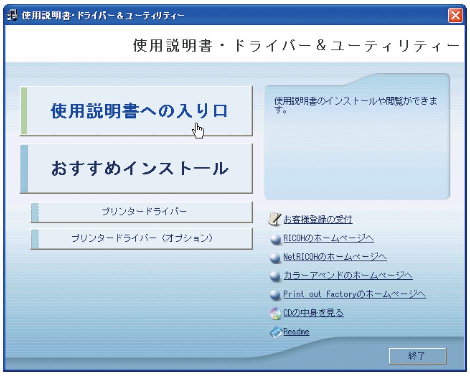
使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う

HTML 形式の使用説明書はパソコンにインストールして使うことができます。

パソコンにインストールしておくと、いつでも利用できて便利です。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。



3. ［使用説明書（HTML）をインストールする］をクリックします。

4. 画面の指示にしたがって、インストールします。

5. インストールが完了したら、［完了］をクリックします。

6. 最初の画面で［終了］をクリックします。

7. インストールした画面で見る使用説明書（HTML 形式）を開きます。

アイコンから開くときは、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。［スタート］メニューから開くときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）、［お使いの機種名］を選びます。

8. 参照したい使用説明書を選びます。

補足

- インストールするには管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- インストールするために必要な OS の条件は Windows 2000/XP/Vista/7、または Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 です。
- 画面で見る使用説明書をディスプレイに表示させるために必要な条件は、表示解像度（デスクトップ領域）：800×600 ピクセル以上です。
- すべての使用説明書をインストールしないと、参照先のページが表示されないことがあります。参照先を表示させたい場合、すべての使用説明書をインストールしてください。
- インストールがうまくできないときは、CD-ROM の「MANUAL_HTML」フォルダーをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行してください。
- インストールした使用説明書を削除する場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）、［お使いの機種名］を選んでアンインストールを実行してください。
- インストール時のお客様の設定によっては、インストール先のフォルダー名称が異なる場合があります。

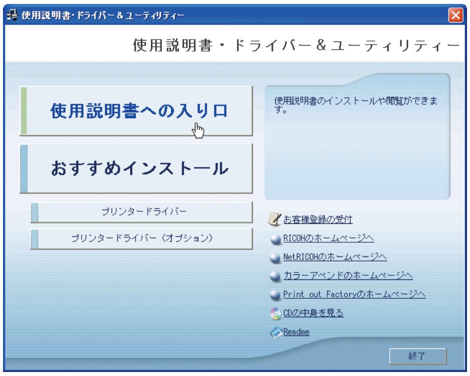
使用説明書（PDF 形式）を CD-ROM を使って見る

ファイル格納場所

付属の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

MANUAL_PDF

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。



3. ［使用説明書（PDF）を見る］をクリックします。
4. 参照したい使用説明書を選びます。

補足

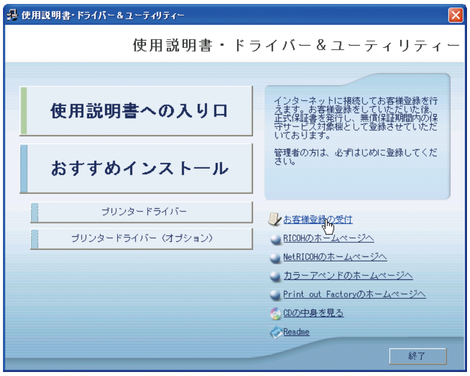
- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- Macintosh をお使いの場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットした後、［使用説明書（PDF）を見る］をクリックして使用説明書を開いてください。

お客様登録

インターネットに接続してお客様登録を行えます。

お客様登録をしていただくことにより、正式保証書を発行し、無償保障期間の保守サービス対象機として登録させていただきます。すでにお客様登録はがきを返送されている場合は、インターネットからの登録は不要です。

1. ［お客様登録の受付］をクリックします。



2. ページ内の指示に従って登録します。
3. 登録終了後、Web ブラウザーを終了します。
4. 最初の画面で［終了］をクリックします。

   これでお客様登録は終了です。

補足

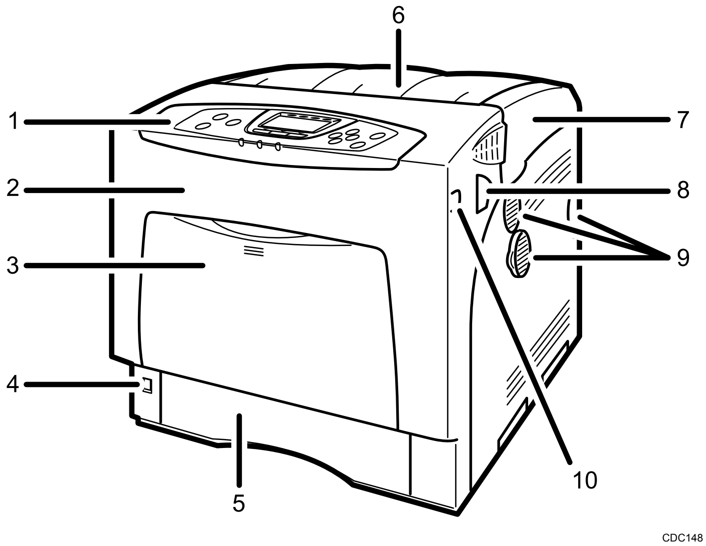
- インターネットに接続している場合にご利用できます。
- お客様登録はがきをご返送いただきましても、同様の保証内容となります。

1. 各部の名称とはたらき

プリンターの各部の名称とはたらきについて説明します。

全体

プリンター前面・右側面の各部の名称とはたらきについて説明します。



1. **操作部**

   キーを押してプリンターを操作したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

2. **前カバー**

   定着ユニットや転写ローラーなどを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開けます。

   前カバーには 2 通りの開け方があります。

   両サイドにある 8 のレバー（A）を引くと「前カバー（A）」が開きます。

   10 の「Z」と刻印されたボタンを押すと「前カバー（Z）」が開きます。

3. **手差しトレイ**

   用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

   A5▯よりも大きい用紙をセットするときは、延長手差しトレイを引き出します。

4. **電源スイッチ**

   プリンターの電源を On/Off の状態にします。

5. **給紙トレイ ［トレイ 1］**

   用紙をセットします。普通紙で最大 550 枚までセットできます。

6. **本体トレイ**

   印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

1

7. 上カバー

トナーを交換するときに開けます。

8. 前カバー（A）開閉レバー

前カバー（A）を開閉するときに、両サイドのレバーをにぎります。

9. 吸気口

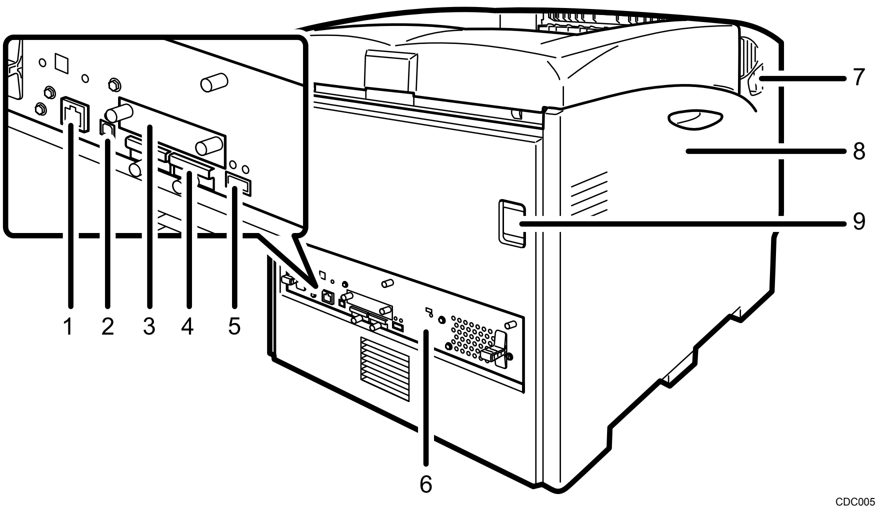
機械内部の熱を抑えるために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

10. 前カバー（Z）開閉ボタン

前カバー（Z）を開くときは、ここを押します。

背面

プリンター背面の各部の名称とはたらきについて説明します。



1. イーサネットポート

   プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

2. USB ポート B

   本体とパソコンを接続する USB ケーブルを接続します。

3. 拡張インターフェースボード取り付け部

   拡張無線 LAN ボードや拡張ギガビットイーサネットボード、拡張 Bluetooth ボード、拡張 1284 ボードを取り付けることができます。

4. 拡張 SD カード用スロット

   スロットカバーを外し、拡張 SD カードを取り付けます。

5. USB ポート A

   本体と IC カード R/W、デジタルカメラ等を接続することができます。

6. コントローラーボード

   SDRAM モジュールや拡張 HDD を取り付けるときに、このボードを引き出します。

7. 前カバー（A）開閉レバー

   前カバー（A）を開閉するときに、両サイドのレバーをにぎります。

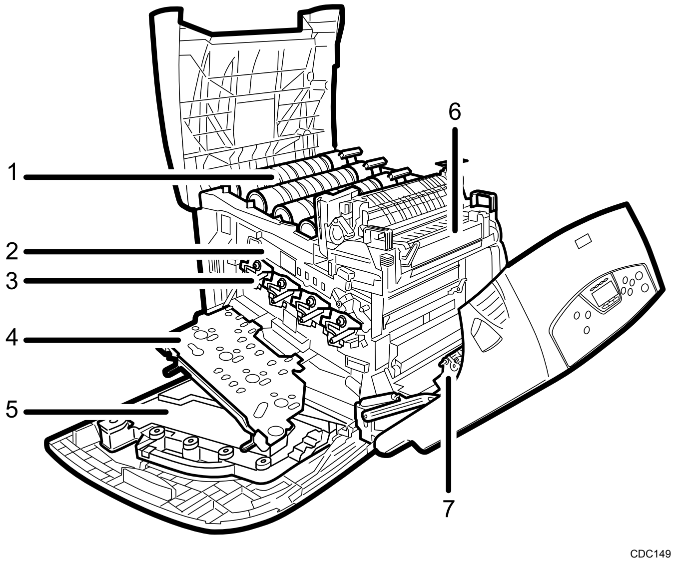
8. 左カバー

   感光体ユニットや中間転写ユニット、廃トナーボトルを交換するときに開けます。

9. 電源コネクター差込口

内部

プリンター内部の各部の名称とはたらきについて説明します。



1. **トナーカートリッジ**

   プリンター本体奥から、イエロー（Y）、シアン（C）、マゼンタ（M）、ブラック（K）トナーカートリッジの順にセットします。

   操作部に“トナーがなくなりました”または“トナー補給 <K, C, M, Y>”のメッセージが表示されたら交換します。

2. **中間転写ユニット**

   “中間転写ユニットの交換時期です”または“中間転写ユニット交換時期”のメッセージが表示されたら交換します。中間転写ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

3. **感光体ユニット**

   ブラック用の感光体ユニットが1本、カラー用の感光体ユニットが各1本セットされています。“ブラック感光体ユニットの交換時期”または“ブラック感光体ユニット交換時期”、“カラー感光体ユニットの交換時期です”または“カラー感光体ユニット交換時期”のメッセージが表示されたら交換します。

4. **中カバー**

   感光体ユニットや中間転写ユニットを交換するときに開けます。

5. **廃トナーボトル**

   印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。“廃トナーボトル満杯”のメッセージが表示されたら交換します。

6. **定着ユニット**

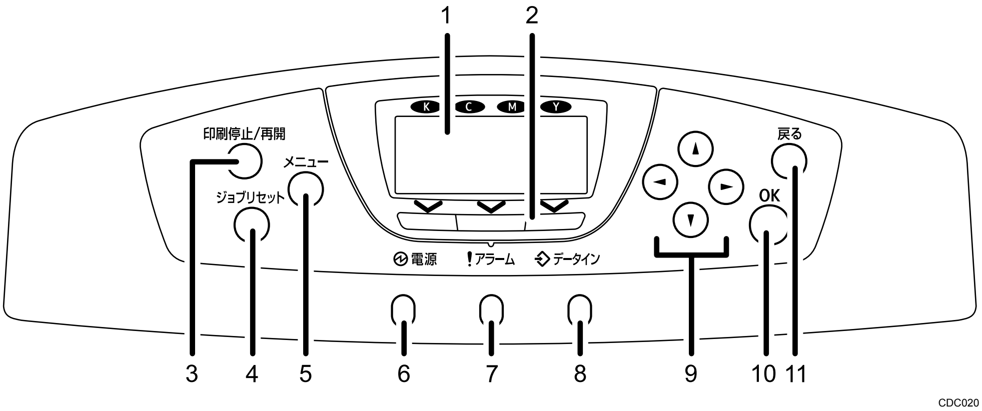
“メンテナンスキットの交換時期です”または“メンテナンスキット交換時期”のメッセージが表示されたら交換します。定着ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

7. **転写ローラー**

“メンテナンスキットの交換時期です”または“メンテナンスキット交換時期”のメッセージが表示されたら交換します。転写ローラーの交換については、サービス実施店に連絡してください。

操作部

プリンター操作部の各部の名称とはたらきについて説明します。



1. 画面

 プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

 省エネモードに移行すると、バックライトが消灯します。省エネモードの設定については、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

2. 選択キー

 画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

3. ［印刷停止/再開］キー

 印刷中のデータを一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点灯します。このキーをもう一度押すか、「オートリセット時間設定」で設定されている時間が経過すると（工場出荷時の設定は「60 秒」）印刷を再開します

 「オートリセット時間設定」の設定については、『ソフトウェアガイド』「プリンター本体の設定」を参照してください。

4. ［ジョブリセット］キー

 印刷中または受信中のデータを取り消すときに使用します。

5. ［メニュー］キー

 設定を変更したり、現在の設定を確認するときに押します。各項目の設定中に［メニュー］キーを押すと、通常の画面に戻ります。

6. 電源ランプ

 電源が入っているときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

7. アラームランプ

 エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

 赤点灯したときは、印刷ができないか、きれいな印刷結果が得られない場合があります。

 黄点滅したときは、印刷はできますが、消耗品の交換が間近です。

 操作部の画面でエラーの内容を確認して対処してください。

8. データインランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

9. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使用します。

本書で［▲］［▼］［◀］［▶］と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

10. ［OK］キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに使用します。

11. ［戻る］キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに使用します。

電源

電源の入れかた、切りかたについて説明します。

⚠警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

重要

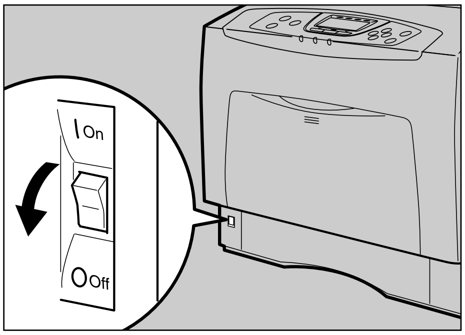
- **電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、本機の電源スイッチを切ってから行ってください。**

電源を入れる

重要

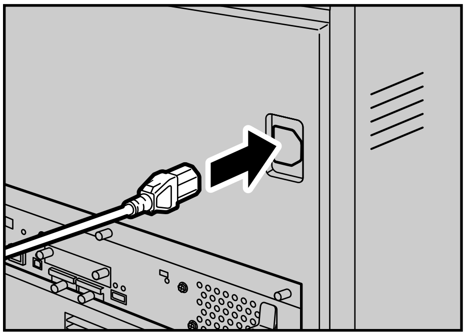
- **はじめて本機の電源を入れるときは、感光体ユニットから出ているテープをすべて引き抜いてください。テープを引き抜かないで電源を入れると故障の原因になります。**
- **電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、本機の電源スイッチを切ってから行ってください。**
- **電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。**

1. 電源スイッチが「Off」になっていることを確認します。



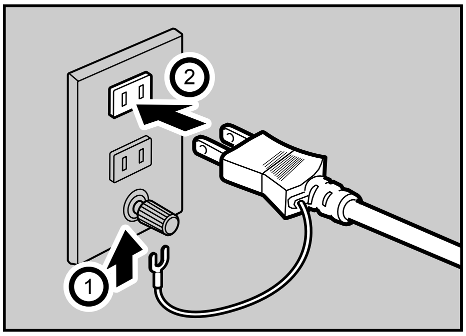
AQC029S

2. プリンター本体背面に電源コネクターを差し込みます。



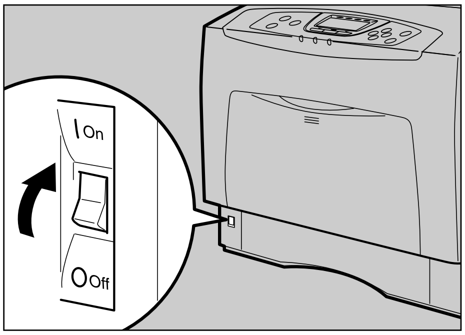
CDC022

3. アース線を接続し（①)、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②)。



CDC021

4. 電源スイッチを「On」にします。



AQC030S

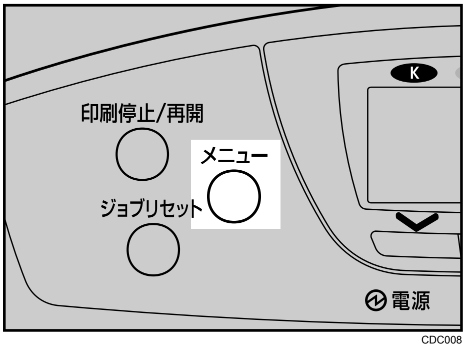
操作部の電源ランプが点灯し、「おまちください」のメッセージが表示されます。本機の初期設定が完了するまでしばらくお待ちください。

電源を切る

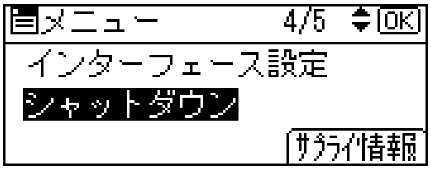
重要

- シャットダウンの手順を行う前に、電源スイッチを「Off」にしないでください。先に電源スイッチを Off にすると、HDD やメモリーが破損し、誤作動を起こすおそれがあります。

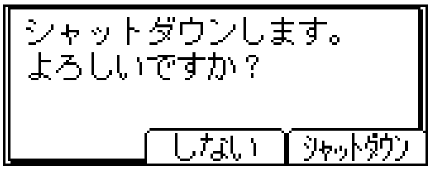
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



2. ［▼］［▲］キーを押して［シャットダウン］を表示させ、［OK］キーを押します。



3. ［シャットダウン］の選択キーを押します。



「電源を切ってください。」と表示されるまでお待ちください。

4. 電源スイッチを「Off」にします。

補足

- 本体が次の状態にあるとき、［シャットダウン］を選択しても電源が切れない場合があります。
    - ハードディスクが動作中
    - 外部機器と通信中
    - 本体のカバーが開いているとき

画面

画面には操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

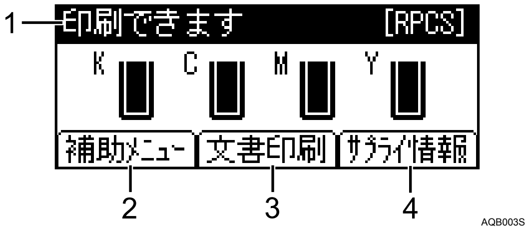
選択項目が選択、または指定されたときは、白黒反転表示されます。

1

重要

- **画面には触れないでください。**

工場出荷時の設定では、電源を入れたときに以下の待機画面が表示されます。



1. **ステータスメッセージ**

   本機の状態やメッセージが表示されます。

2. **[補助メニュー]**

   左の選択キーを押すと、以下のメニューが表示されます。

   - 強制排紙
   - エラー履歴表示
   - 給紙トレイ
   - エミュレーション呼び出し
   - 印刷条件
   - 印刷部数
   - プログラム登録／消去

3. **[文書印刷]**

   真ん中の選択キーを押すと、[文書印刷] メニューが表示されます。試し印刷文書、機密印刷文書、保存文書、保留文書を確認・印刷することができます。

4. **[サプライ情報]**

   右の選択キーを押すと、トナー、用紙、感光体ユニット、定着ユニット、廃トナーボトル、中間転写ユニットの残量や交換時期を確認できます。

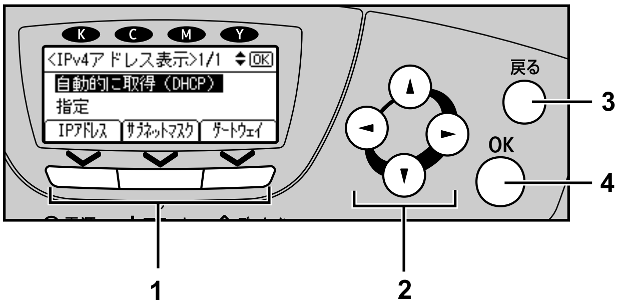
補足

- 呼び出しているエミュレーションによって、[補助メニュー] で表示されるメニューが異なります。
- [文書印刷] メニューは、本体に拡張 HDD が装備されているときに表示されます。
- 工場出荷時の設定では、待機画面にトナー残量を表示する設定になっています。トナー残量表示をオフにするときは、操作部の [メニュー] キーを押して、[調整/管理]

メニューの［一般管理］⇒［サプライ残量表示］で［表示しない］を選択してください。

- 画面が暗くて見づらいときは、画面の明るさを調整してください。操作部の［メニュー］キーを押して、［調整/管理］メニューの［一般管理］⇒［画面コントラスト調整］で画面の明るさを調整できます。

表示画面とキー操作について



1. **選択キー**

   画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

   本文中で「[IP アドレス］を押します。」と説明されているときは、左の選択キーを押します。

2. **スクロールキー**

   カーソルを上下左右に移動します。

   本書で［▲］［▼］［▶］［◀］と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

3. **［戻る］キー**

   操作を取り消すときや前の画面に戻るときに押します。

4. **［OK］キー**

   画面上の機能を設定したり、選択項目を確定するときに押します。

2. オプションを取り付ける

オプションの取り付け方法について説明します。

オプションの構成

オプションを取り付けると、プリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションについては、P.229「関連商品一覧」を参照してください。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源コードをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

補足

- 本文中ではオプションの略称を使用しています。

オプション取り付けの流れ

本機に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをおすすめします。

1. **500 枚増設トレイユニットを取り付ける。**

   給紙トレイとして本機の底部に取り付けます。最大 3 段まで取り付けることができます。

   500 枚増設トレイユニットを 3 段取り付けた場合、最大 2,300 枚の用紙を同時にセットできます。

2. **SDRAM モジュールを取り付ける。**

   コントローラーボード内のスロットに増設メモリを取り付けます。増設メモリは、128M バイトと 256M バイトの 2 種類があります。

3. **拡張 HDD を取り付ける。**

   コントローラーボード内の装着スペースに拡張 HDD を取り付けます。

4. **拡張インターフェースボードを取り付ける。**

   拡張ギガビットイーサネットボード、拡張無線 LAN ボード、拡張 Bluetooth ボード、拡張 1284 ボードのいずれかを取り付けます。

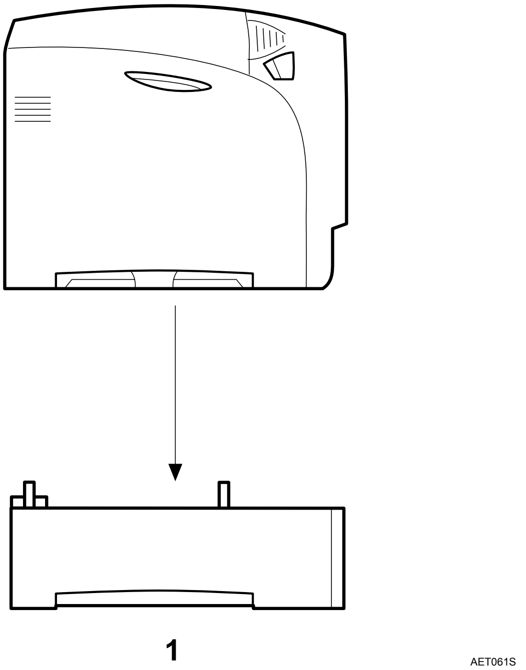
5. **拡張 SD カードを取り付ける。**

   コントローラーボードの拡張 SD カード用スロットに、デジタルカメラ接続カードやマルチエミュレーションカード、セキュリティーカードなどを差し込みます。

オプションの取り付け

オプションを取り付ける位置について説明します。

外部

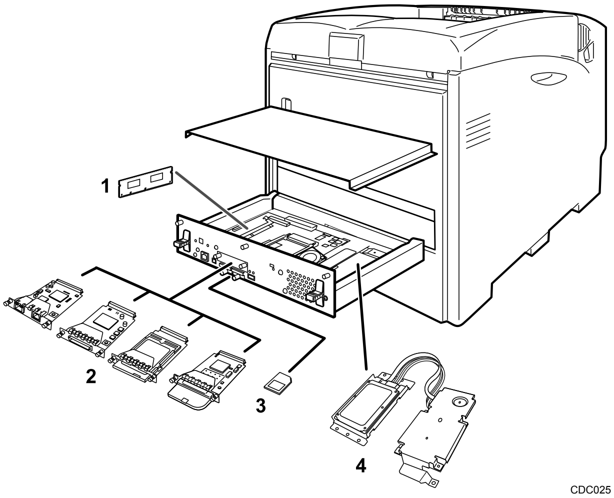


1. **500 枚増設トレイユニット**

   500 枚増設トレイユニットは 3 段まで取り付け可能です。取り付けた増設トレイユニットは、「トレイ 2」「トレイ 3」「トレイ 4」になります。

   P.51「500 枚増設トレイユニットを取り付ける」

内部



1. SDRAM モジュール

P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」

2. 拡張インターフェースボード

P.65「拡張無線 LAN ボードを取り付ける」

P.67「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」

P.69「拡張 Bluetooth ボードを取り付ける」

P.72「拡張 1284 ボードを取り付ける」

3. 拡張 SD カード

P.75「拡張 SD カードを取り付ける」

4. 拡張 HDD

P.58「拡張 HDD を取り付ける」

補足

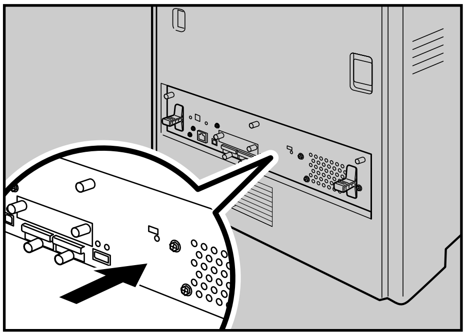
- 各オプションの仕様については、P.232「仕様」を参照してください。

コントローラーボードを取り付けるとき

SDRAM モジュールや拡張 HDD のオプションを装着するときは、引き抜いたコントローラーボードの取り付けに注意してください。

コントローラーボードを取り付けるときは、「PUSH」と刻印された箇所（ボードの中央下部）を押し、確実にプリンター本体に押し込んでください。

2



CDC026

重要

- コントローラーボードが確実に取り付けられていないと、次のような現象が起こる可能性があります。
    1. 操作部のランプがすべて点灯する
    2. 操作部のランプが一切点灯しない
    3. 画面に“サービスコール 670”と表示される

500 枚増設トレイユニットを取り付ける

⚠注意

- プリンター本体は約 50kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を 4 人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

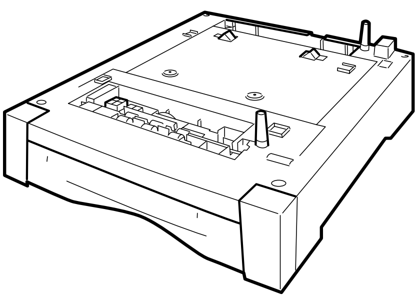
重要

- **複数のオプションを取り付けるときは、最初に 500 枚増設トレイユニットを取り付けてください。**
- **500 枚増設トレイユニットは最大で 3 段取り付けることができます。**
- **500 枚増設トレイユニットを 3 段取り付けると、上の段から「トレイ 2」「トレイ 3」「トレイ 4」として認識されます。**
- **取り付けた 500 枚増設トレイユニットを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をする必要があります。**
- **500 枚増設トレイユニットの取り付け作業は、必ず 4 人以上で行ってください。**
- **500 枚増設トレイユニットを 2 段またはそれ以上取り付け、プリンターを床に直接設置する場合は、必ず転倒防止用の専用テーブルを取り付けてください。専用テーブルの取り付けについてはサービス実施店に相談してください。**

1. 同梱品を確認します。

   同梱のネジは転倒防止用で、増設トレイユニットを 2 段またはそれ以上取り付け、プリンターを床に直接設置する場合に使用します。転倒防止措置についてはサービス実施店に相談してください。

   500 枚増設トレイユニット（給紙トレイ含む）



AET108S

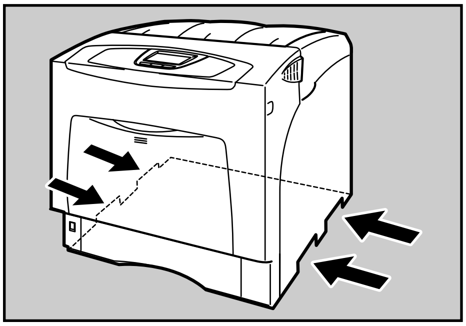
2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2

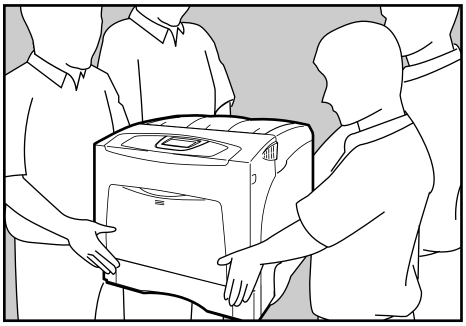
3. 500 枚増設トレイユニットから固定テープを取り外します。

4. 左右の取っ手をつかみ、プリンターを持ち上げます。

本機の前後のバランスを保ち、必ず 4 人以上で持ち上げてください。

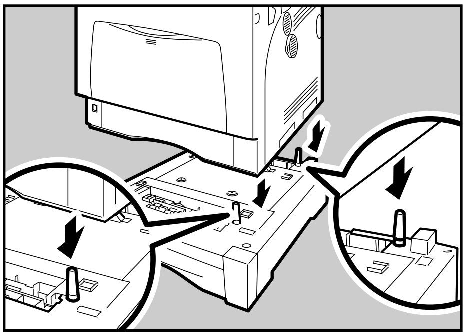


CDC011



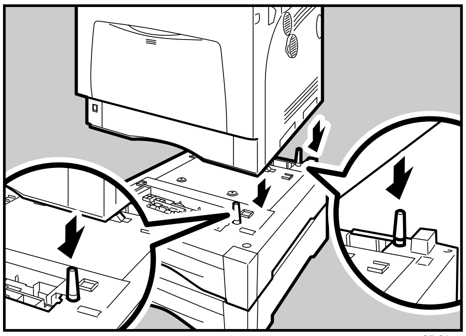
CDC012

5. プリンター本体を 500 枚増設トレイユニットの垂直ピンに合わせ、ゆっくりと降ろします。



CDC076

複数の増設トレイユニットを 2 段取り付ける場合は、まず増設トレイユニットを積み重ねてからプリンター本体を載せてください。増設トレイユニットを積み重ねる方法は、プリンター本体に取り付ける方法と同じです。



CDC077

6. **電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。**

7. **システム設定リストを印刷して、500 枚増設トレイユニットが正しく取り付けられたことを確認します。**

補足

- 500 枚増設トレイユニットが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続機器」の欄に「トレイ 2」と記載されます（3 段増設時には「トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4」と記載されます）。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 印刷位置がずれたときは、P.183「印刷位置を調整する」を参照してください。

拡張メモリーユニットを取り付ける

⚠注意

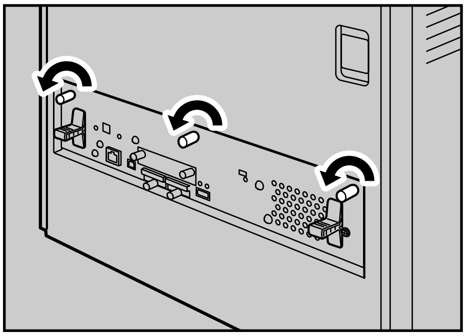
- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

SDRAM モジュールを取り付ける

重要

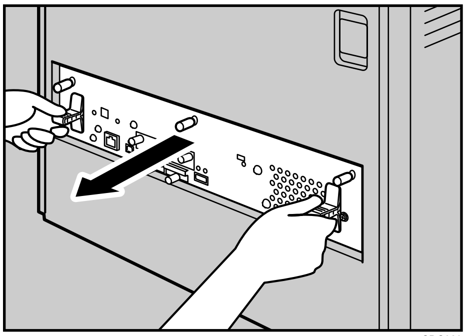
- **SDRAM モジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。**
- **SDRAM モジュールに物理的衝撃を与えないでください。**
- **本機の搭載メモリーは 256M バイトです。最大 512M バイトまで増設できます。**
- **取り付けた SDRAM モジュールを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をする必要があります。**

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. コントローラーボードを固定しているコインねじ 3 個をゆるめます。



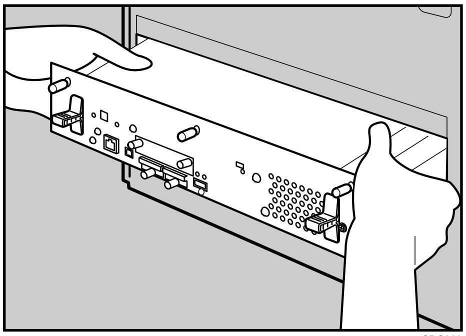
コインねじを取り外すことはできません。

3. 取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。



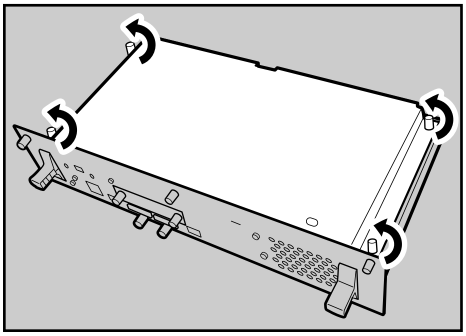
CDC029

両手でコントローラーボードをつかみ、最後まで引き抜きます。



CDC030

4. コントローラーボードを机などの平らな場所に置き、コインねじ 4 本をゆるめてコントローラーカバーを取り外します。

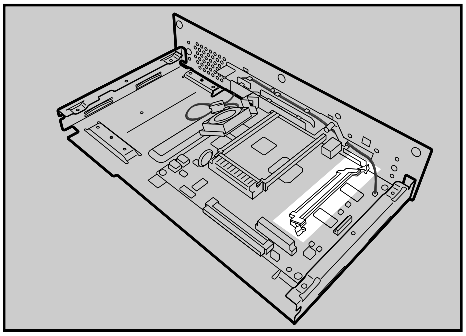


CDC031

コインねじを取り外すことはできません。

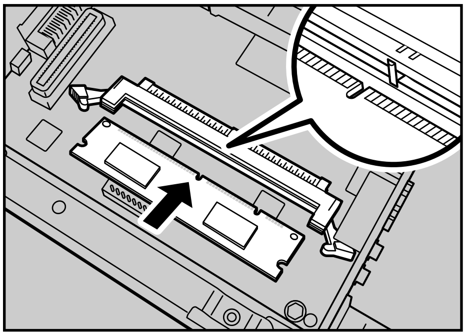
2

5. SDRAM モジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。



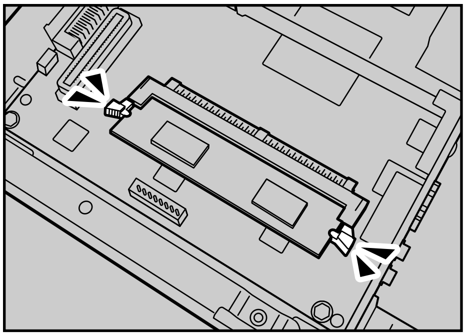
CDC033

6. SDRAM モジュールの切り欠きを、差し込み口の凸部に合わせ、SDRAM モジュールを差し込みます。



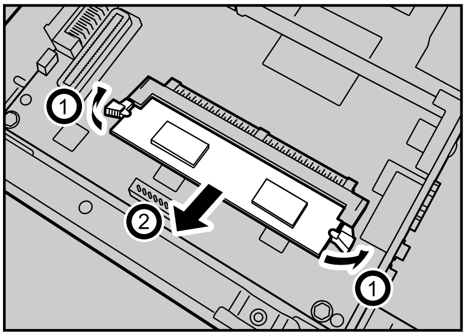
CDC041

7. カチッと音がするまで、SDRAM モジュールを押し込みます。



CDC042

8. SDRAM モジュールを取り外すときは、左右にあるツメを広げ（①）、SDRAM モジュールを引き抜きます（②）。

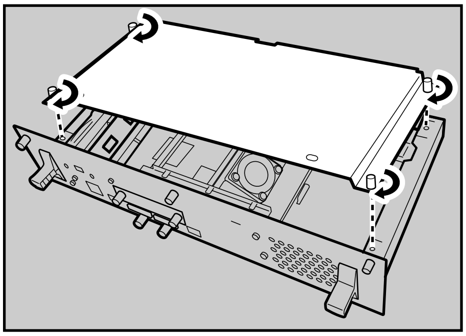


CDC043

9. 拡張 HDD を取り付ける場合は、コントローラーボードをセットしないで、拡張 HDD の取り付け手順に進んでください。

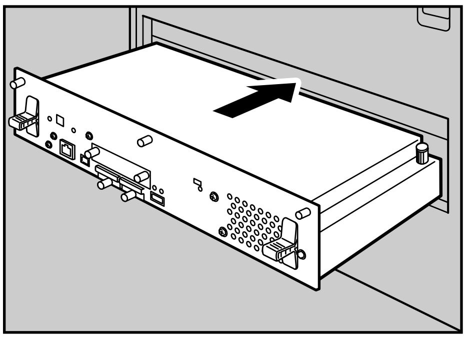
拡張 HDD の取り付け方法は、P.58「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

10. コントローラーカバーを取り付けます。カバーのツメをコントローラーボードの穴に差し込み、コインねじ 4 本を締めます。



CDC039

11. コントローラーボードを本機に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

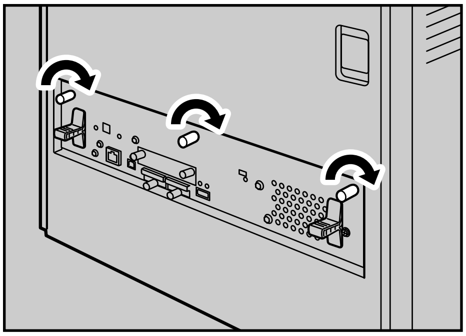


CDC040

2

「PUSH」と刻印された箇所を押し、確実にプリンター本体に押し込んでください。コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

12. コインねじ 3 本を締め、コントローラーボードを本機に固定します。



補足

- SDRAM モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載メモリ」の欄に搭載しているメモリーの合計値が記載されます。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- SDRAM モジュールの合計値は以下のとおりです。

標準	増設	合計値
256 MB	128 MB	384 MB
256 MB	256 MB	512 MB

- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

- P.49「コントローラーボードを取り付けるとき」

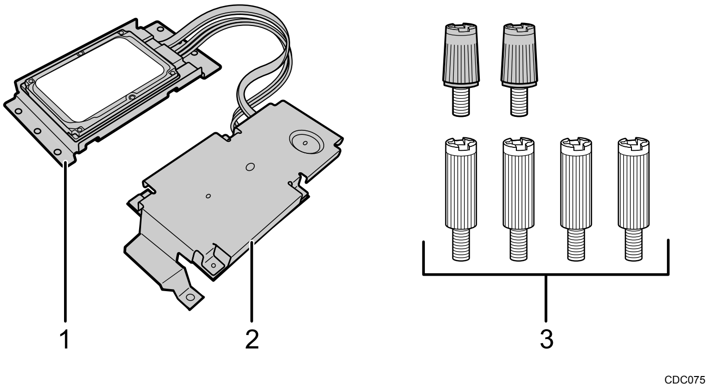
拡張 HDD を取り付ける

重要

- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 HDD が破損するおそれがあります。**
- **拡張 HDD に物理的衝撃を与えないでください。**
- **拡張 HDD を取り付ける際に、SDRAM モジュールに接触しないように注意してください。SDRAM モジュールを破損するおそれがあります。**

- 取り付けた拡張 HDD を使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をする必要があります。

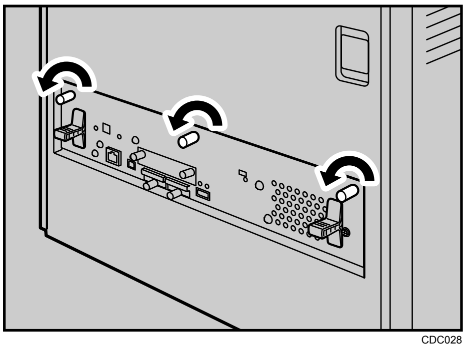
1. 同梱品を確認します。



1. HDD ユニット
2. HDD ボード
3. ねじ 6 本

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

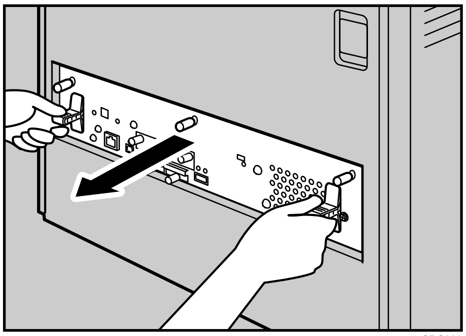
3. コントローラーボードを固定しているコインねじ 3 本をゆるめます。



コインねじを取り外すことはできません。

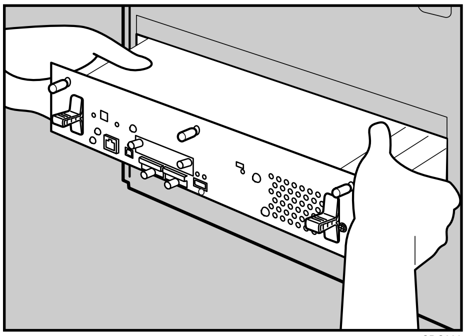
2

4. 取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。



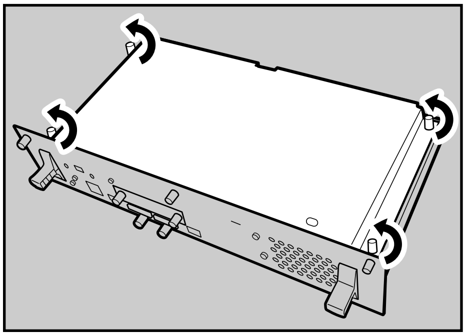
CDC029

両手でコントローラーボードをつかみ、最後まで引き抜きます。



CDC030

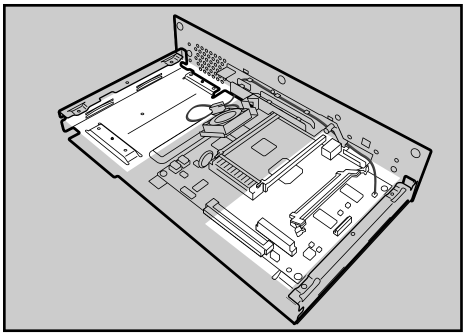
5. コントローラーボードを机などの平らな場所に置き、コインねじ 4 本をゆるめてコントローラーカバーを取り外します。



CDC031

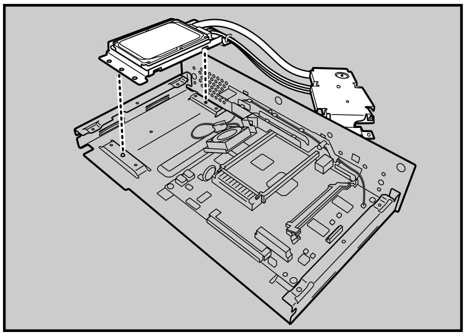
コインねじを取り外すことはできません。

6. 拡張 HDD は以下のイラストに示したスペースに設置します。



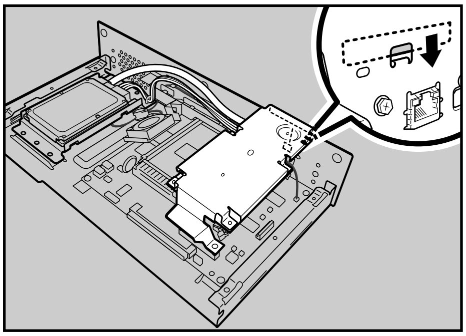
CDC032

7. HDD ユニットをコントローラーボードの装着位置にセットします。



CDC034

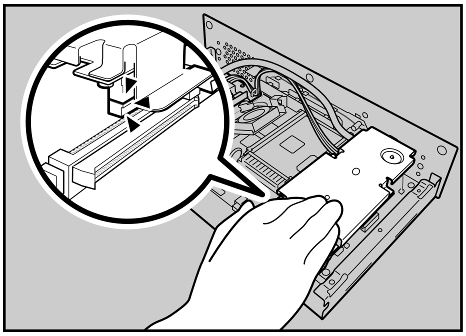
8. コントローラーボードのパネル面のつめに、HDD ボードの装着金具を引っ掛けます。



CDC035

2

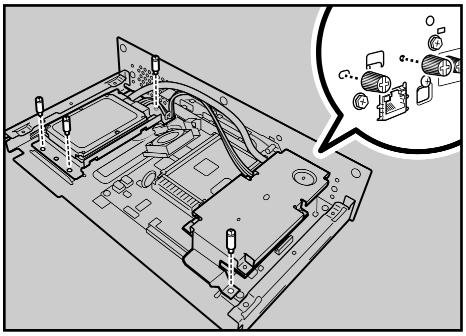
9. HDD ボードをコントローラーボードのコネクターに押し込みます。



CDC036

10. コントローラーボードに HDD ユニットと HDD ボードを、ねじを使って固定します。

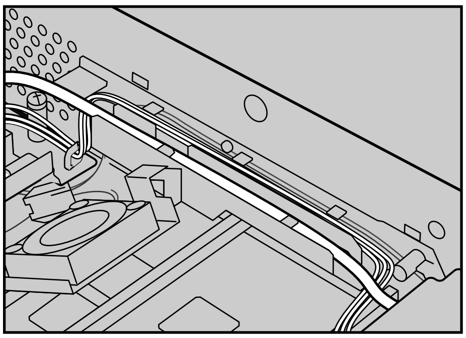
短い 2 本のねじは、コントローラーボードの後部に HDD ボードを固定するのに使用します。



CDC037

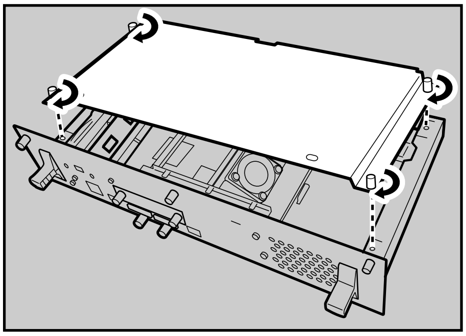
11. コントローラーボードのレールにフラットケーブルと電源ケーブルを這わせます。

内側のレールにフラットケーブル、外側のレールに電源ケーブルを押し込みます。



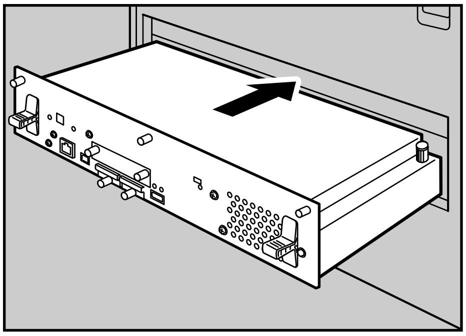
CDC038

12. コントローラーカバーを取り付けます。カバーのツメをコントローラーボードの穴に差し込み、コインねじ 4 本を締めます。



CDC039

13. コントローラーボードを本機に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

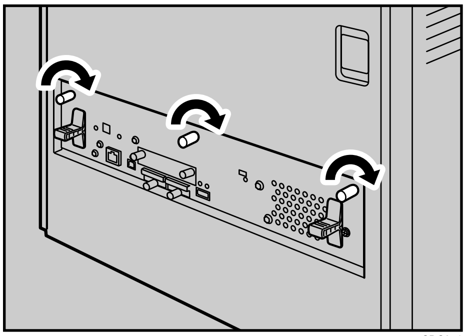


CDC040

「PUSH」と刻印された箇所を押し、確実にプリンター本体に押し込んでください。

コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

14. コインねじ 3 本を締め、コントローラーボードを本機に固定します。



CDC071

プリンターの電源を入れると、拡張 HDD の初期化（フォーマット）が自動的に開始されます。

補足

- 拡張 HDD が正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ハードディスク」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、手順 2 からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

- P.49「コントローラーボードを取り付けるとき」

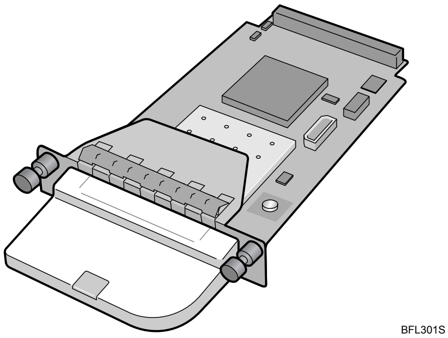
インターフェースユニットを取り付ける

拡張無線 LAN ボードを取り付ける

重要

- 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張無線 LAN ボードが破損するおそれがあります。
- 拡張無線 LAN ボードに物理的衝撃を与えないでください。
- 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1. 同梱品を確認します。



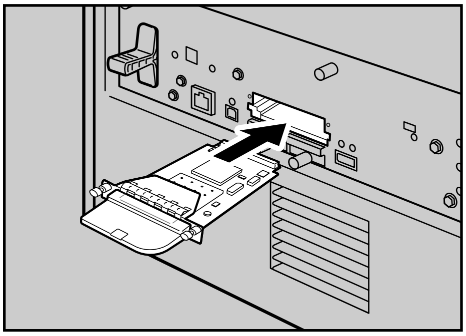
2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ねじ 2 本をゆるめスロットカバーを取り外します。



取り外したカバーは使用しません。

2

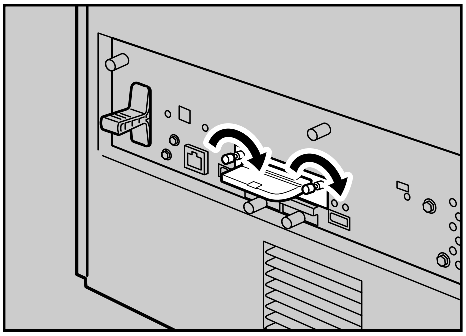
4. 拡張無線 LAN ボードを奥まで差し込みます



CDC046

拡張無線 LAN ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

5. ねじ 2 本を締め、拡張無線 LAN ボードを固定します。



CDC069

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7. システム設定リストを印刷して、拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

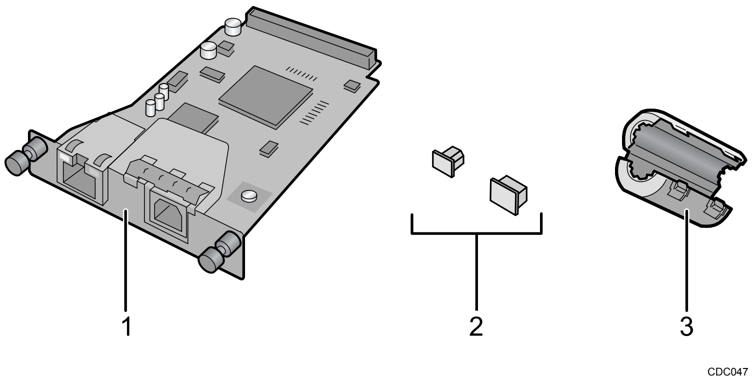
- 拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「無線 LAN」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張無線 LAN ボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.95「拡張無線 LAN を使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.226「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける

重要

- 拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、プリンター本体標準のイーサネットポートと USB ポートは使用できなくなります。拡張ギガビットイーサネットボードのイーサネットポートと USB ポートをご利用ください。ただし、Macintosh では、拡張ギガビットイーサネットボードの USB ポートは使用できません。
- 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張ギガビットイーサネットボードが破損するおそれがあります。
- 拡張ギガビットイーサネットボードに物理的衝撃を与えないでください。
- 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1. 同梱品を確認します。

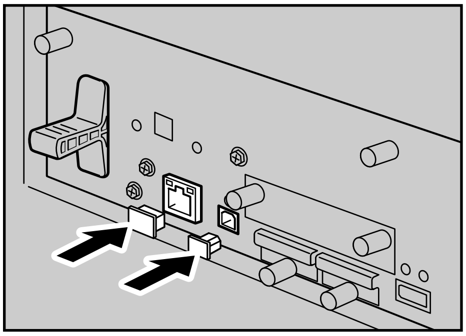


1. 拡張ギガビットイーサネットボード
2. 接続防止用キャップ（イーサネットポート用、USB ポート用各 1 個）
3. イーサネットケーブル用フェライトコア 1 個

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

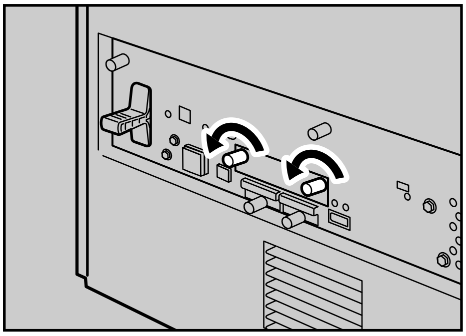
2

3. 本体標準のイーサネットポートと USB ポートからケーブルを抜き、接続防止用キャップをそれぞれはめ込みます。



CDC048

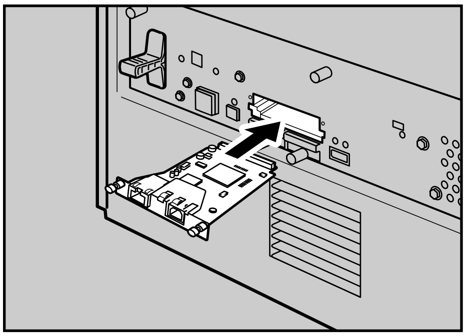
4. ねじ 2 本をゆるめスロットカバーを取り外します。



CDC088

取り外したカバーは使用しません。

5. 拡張ギガビットイーサネットボードを奥まで差し込みます。



CDC050

拡張ギガビットイーサネットボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

6. ねじ 2 本を締め、拡張ギガビットイーサネットボードを固定します。


CDC078

補足

- 拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ギガビットイーサネットボード」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.79「イーサネットケーブルで接続する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.226「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

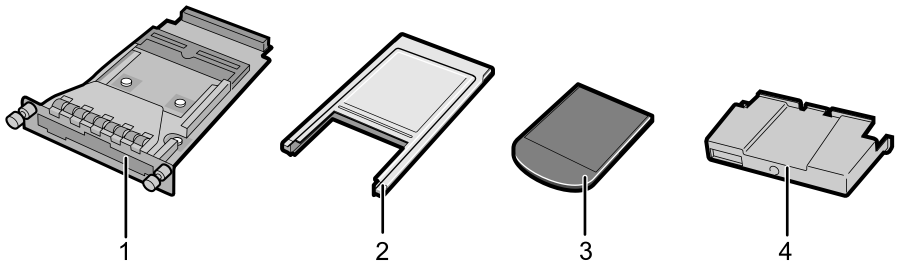
拡張 Bluetooth ボードを取り付ける

重要

- **拡張 Bluetooth ボードを取り付けたプリンターで印刷できるのは、Bluetooth を搭載したパソコンやデジタルカメラです。デジタルカメラから印刷する場合は、オプションの PS3 カード（拡張エミュレーションカード）が必要です。**
- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 Bluetooth ボードが破損する恐れがあります。**
- **拡張 Bluetooth ボードに物理的衝撃を与えないでください。**

2

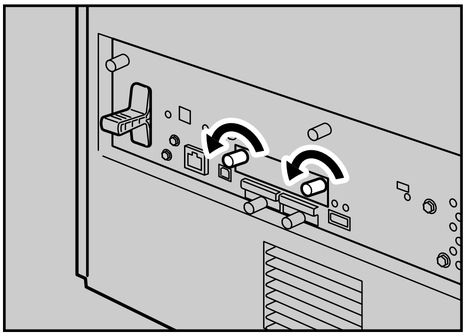
1. 同梱品を確認します。



1. インターフェースユニット
2. カードアダプター
3. カード
4. カバー

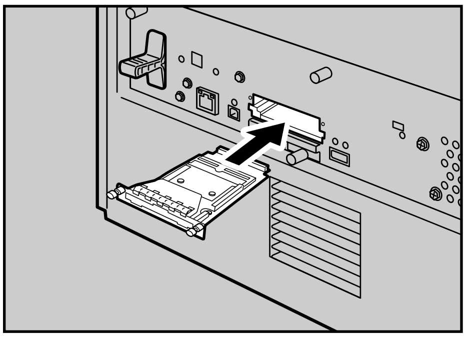
2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3. ねじ 2 本をゆるめスロットカバーを取り外します。



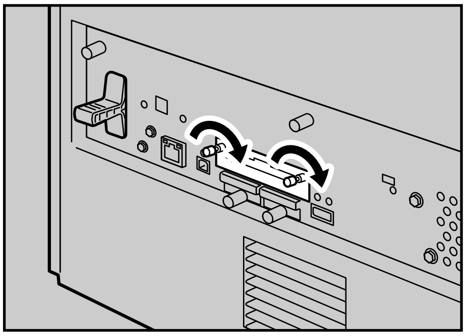
取り外したカバーは使用しません。

4. インターフェースユニットを奥まで差し込みます



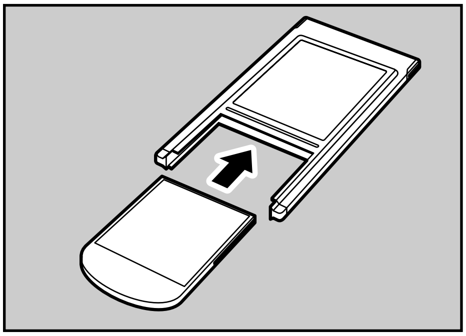
インターフェースユニットを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

5. ねじ 2 本を締め、インターフェースユニットを固定します。



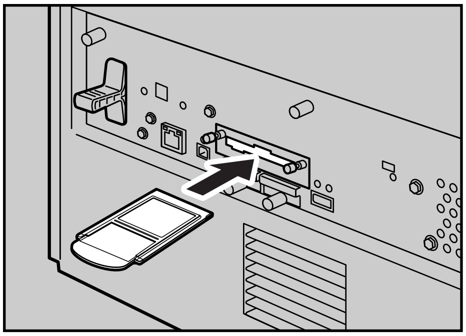
CDC153

6. カードアダプターにカードを取り付けます。カードアダプターとカードのラベル面を両方上にして取り付けてください。



CDC154

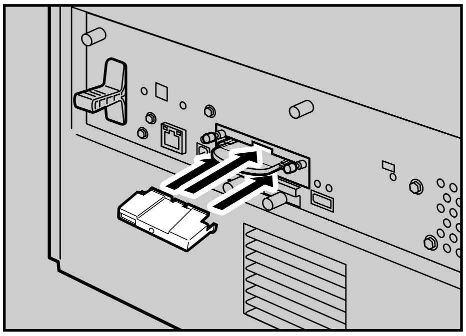
7. ラベル面を上にして、ゆっくりと突き当たるまでインターフェースユニットにカードアダプターを差し込みます。



CDC155

2

8. カードのつめ付近をつまみながら、カバーのつめ 3 箇所とインターフェースボードの切り欠き 3 箇所を合わせ、カバーを取り付けます。


CDC156

補足

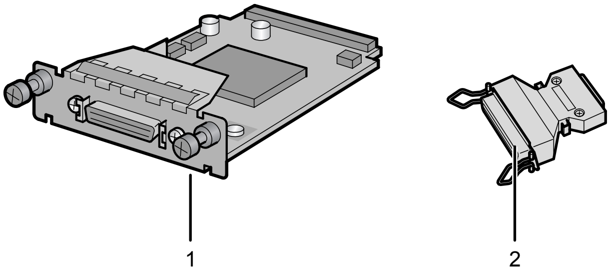
- 拡張 Bluetooth ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「BT ボード」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 詳細は、拡張 Bluetooth ボードに付属の使用説明書を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.226「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張 1284 ボードを取り付ける

重要

- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 1284 ボードが破損する恐れがあります。**
- **拡張 1284 ボードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピンまたはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**

1. 同梱品を確認します。

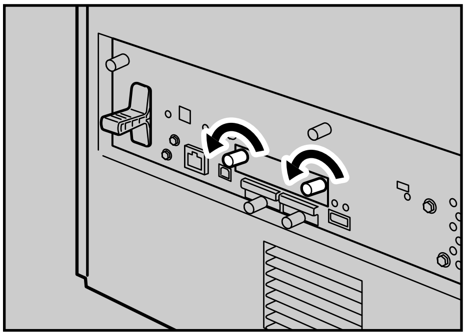


BMT602S

1. 拡張 1284 ボード
2. 変換コネクター

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

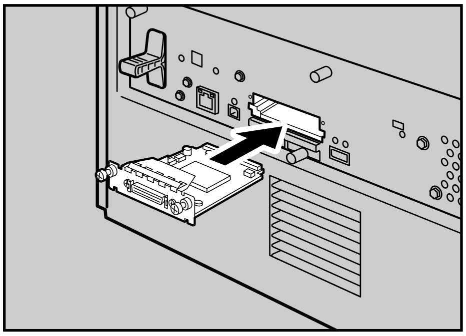
3. ねじ 2 本をゆるめスロットカバーを取り外します。



CDC045

取り外したカバーは使用しません。

4. 拡張 1284 ボードを奥まで差し込みます

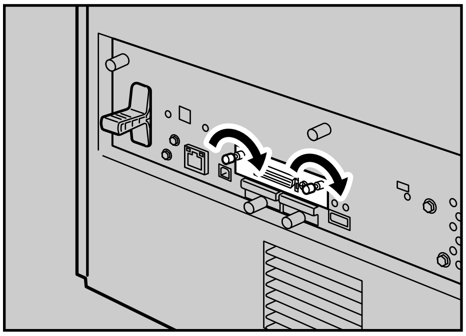


CDC055

拡張 1284 ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

2

5. ねじ 2 本を締め、拡張 1284 ボードを固定します。



CDC056

補足

- 拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「パラレルインターフェース」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.226「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張 SD カードを取り付ける

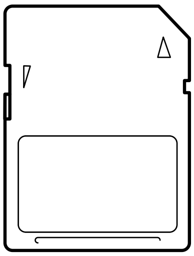
⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

★重要

- **拡張 SD カードに物理的衝撃を与えないでください。**

1. 同梱品を確認します。



BFL308S

デジタルカメラ接続カードには、USB ケーブルとフックが同梱品に含まれます。

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

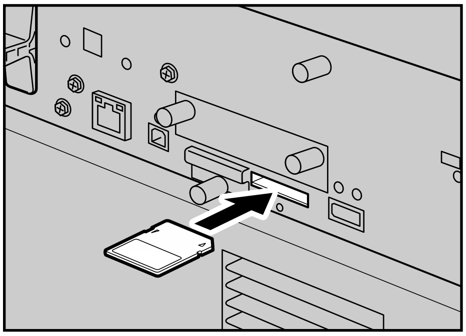
3. ねじを外し、拡張 SD カード用のスロットのカバーを取り外します。



CDC058

2

4. カチッと音がするまで、拡張 SD カードをスロットに差し込みます。



CDC059

装着するオプションによって、差し込むスロットが異なります。

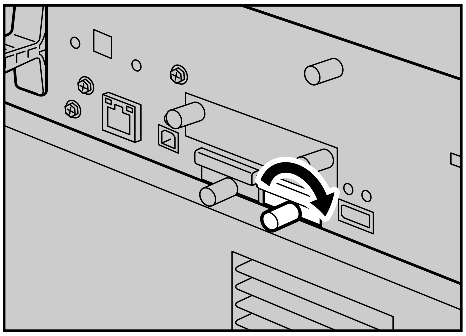
- 右側のスロット（スロット 1）に取り付けるオプション：

  マルチエミュレーションカード（R98、R55、R16、RPDL）、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード、BMLinkS カード、セキュリティーカード、デジタルカメラ接続カード、個人認証システム

- 左側のスロット（スロット 2）に取り付けるオプション：

  VM カード、蓄積文書暗号化カード

5. スロットカバーを取り付けます。



CDC060

補足

- 本機を使用中は、装着したカードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ずスロットカバーを取り付けてください。
- 装着した拡張 SD カードが正しく取り付けられたかどうかは、電源を入れてシステム設定リストを印刷するか、操作部に表示されるメニューで確認します。システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
  - 拡張エミュレーションカードが正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載エミュレーション」の欄にエミュレーションの名称が記載されます。

    - デジタルカメラ接続カードが正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載エミュレーション」の欄に「PictBridge」が記載されます。
    - セキュリティーカード：

      ［セキュリティー管理］メニューの［メモリー自動消去設定］で［する］を選択すると、最初の階層に［メモリー内残存データ状態確認］が表示されます。
    - 蓄積文書暗号化カード：

      機器管理者でログインすると、［セキュリティー管理］に［機器データ暗号化設定］が表示されます。
    - 個人認証システム：

      ［セキュリティー管理］に［拡張認証管理］が表示されます。
    - マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード：

      ［補助メニュー］の［エミュレーション呼び出し］に装着したエミュレーションカードの名称が表示されます。
- 正しく取り付けられない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

3. パソコンとの接続

パソコンとプリンターの接続について説明します。

イーサネットケーブルで接続する

HUB などのネットワーク機器を準備してから、本機にイーサネットケーブルを接続します。

本機のイーサネットボード（ポート）に、10BASE-T または 100BASE-TX のケーブルを接続してください。1000BASE-T 対応の拡張ギガビットイーサネットボードは、オプションとして用意されています。

3

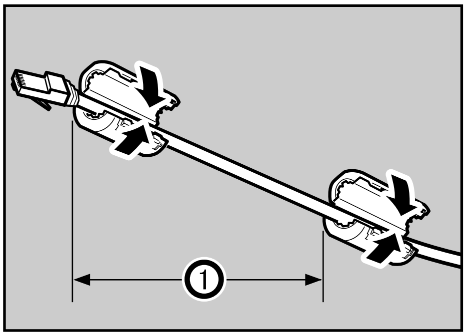
重要

- **イーサネットケーブルは同梱されていません。ご使用になるネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。**
- **拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、本体標準のイーサネットポートは使用できなくなります。**

本体標準のイーサネットポートを使用する場合

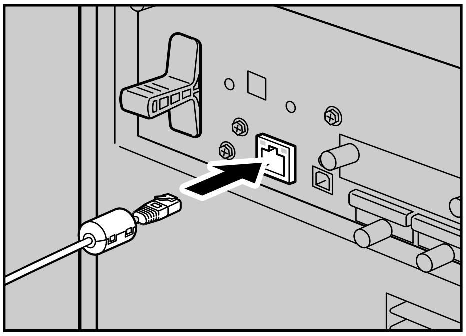
1. **本機に同梱されている 2 個のフェライトコアをイーサネットケーブルに取り付けます。**

   コネクターの根元に 1 個のフェライトコアを取り付け、根元から 10cm（①）離したところにもう 1 個を取り付けます。



CDC079

2. プリンター本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。



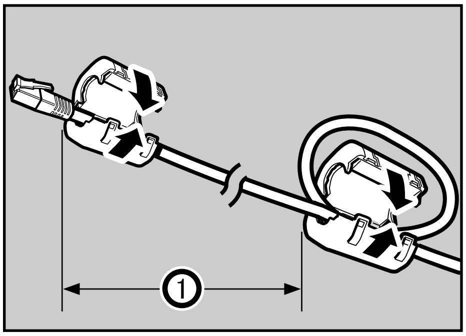
CDC061

3. ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合

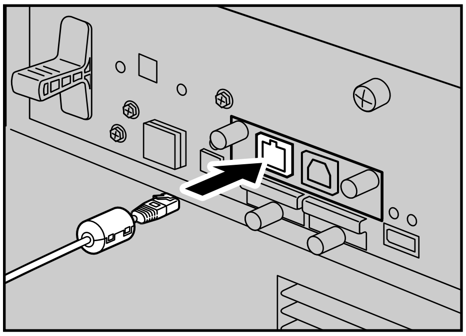
1. 本機に同梱されている 2 個のフェライトコアをイーサネットケーブルに取り付けます。

コネクターの根元に 1 個のフェライトコアを取り付け、根元から 10cm（①）離したところにケーブルで輪を作り、もう 1 個を取り付けます。



CDC080

2. 拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合は、装着した拡張ギガビットイーサネットボードのポートにケーブルを接続します。



CDC062

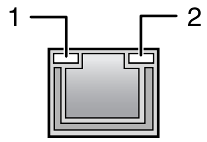
3. ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

補足

- 拡張ギガビットイーサネットボードの取り付け方法については、P.67「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」を参照してください。
- ネットワーク環境の設定については、P.87「イーサネットを使用する」を参照してください。

LED の見かた

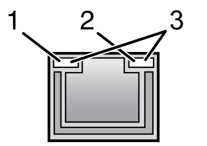
標準搭載のイーサネットポート



CDC063

1. 100BASE-TX 動作時は左側の LED が黄点灯し、10BASE-T 動作時は消灯します。
2. ネットワークに正常に接続していると右側の LED が緑点灯します。

拡張ギガビットイーサネットボード



BFL364S

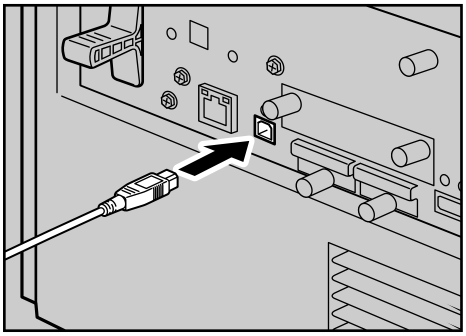
1. 10BASE-T 動作時は左側の LED が緑点灯します。
2. 100BASE-TX 動作時は右側の LED が黄点灯します。
3. 1000BASE-T 動作時は両方の LED が点灯します。

USB ケーブルで接続する

重要

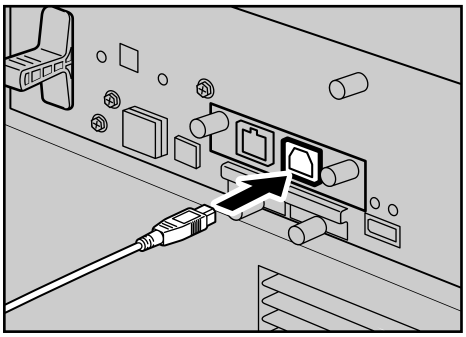
- USB 接続は、Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS 9、Mac OS X 10.3.3 以降に対応しています。
- 拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、プリンター本体標準の USB ポートは使用できなくなります。Mac OS では、プリンター本体標準の USB ポートのみ使用できます。拡張ギガビットイーサネットボードの USB ポートは使用できません。
- USB ケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- インターフェースケーブルをお買い求めの際は、P.229「関連商品一覧」を参照してください。

1. プリンター本体の USB ポート B に、USB ケーブルの小さい方のコネクターを接続します。



CDC065

2. 拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合は、装着した拡張ギガビットイーサネットボードの USB ポートに、USB ケーブルの小さい方のコネクターを接続します。



CDC066

3. もう一方をパソコンの USB ポート、または USB ハブなどに接続します。

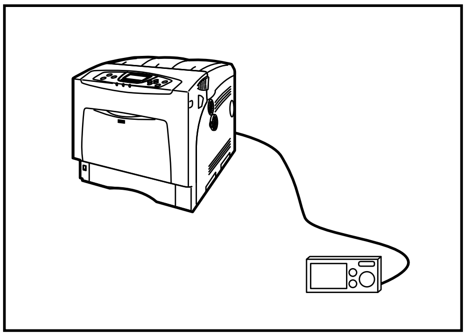
パソコンにプラグアンドプレイ画面が表示されます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「印刷するための準備」を参照してください。

補足

- プリンターが不正なデバイスとして Windows に認識されてしまった場合、その対処方法として『ソフトウェアガイド』「USB 接続がうまくいかないとき」を参照してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードの取り付け方法については、P.67「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」を参照してください。

プリンターとデジタルカメラの接続

本機ではデジタルカメラで撮影した画像を、パソコンを使用せずに直接印刷（ダイレクトプリント）することができます。ここでは本機とデジタルカメラとの接続手順を説明します。



AQC047S

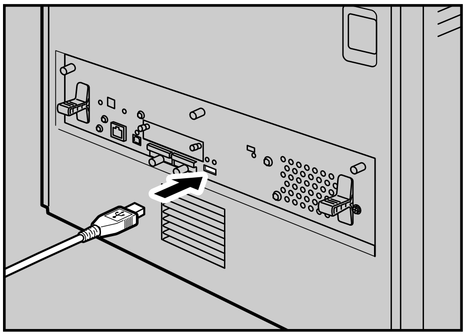
重要

- **この機能を使用するためには、デジタルカメラ接続カードが必要です。**
- **デジタルカメラ接続カードには、USB ケーブルとケーブルを束ねておくフックが同梱されています。**
- **お使いのデジタルカメラが、PictBridge 対応であることをご確認ください。**

1. 本機の電源が入っていることを確認します。

2. 本機とデジタルカメラを接続します。

デジタルカメラ接続カードに同梱されている USB ケーブルを使用します。USB ケーブルの大きい方のコネクターを、USB ポート A に接続します。



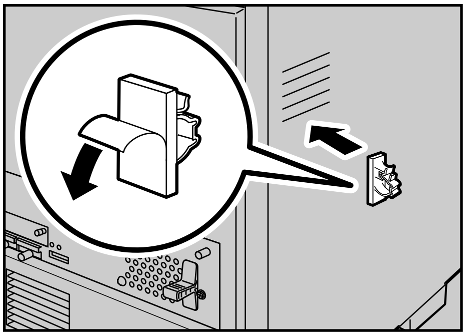
CDC067

3

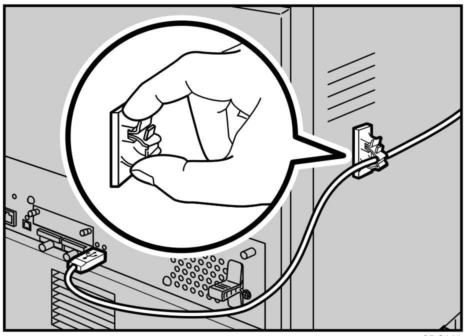
3. USB ケーブルのもう一方のコネクターを、デジタルカメラに接続します。

4. 本機にフックを取り付け、デジタルカメラに接続しないときは USB ケーブルを束ねておきます。

フックの取り付け場所は、本機の操作に支障が出ない場所をお選びください。



CDC081



CDC082

補足

- デジタルカメラ接続カードの取り付け方法については、P.75「拡張 SD カードを取り付ける」を参照してください。
- 印刷方法については、『ソフトウェアガイド』「デジタルカメラから直接印刷する(PictBridge)」を参照してください。

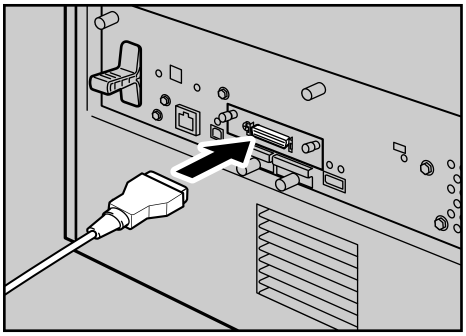
パラレルケーブルで接続する

パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。インターフェースケーブルについては、「関連商品一覧」を参照してください。

重要

- **必ず指定のインターフェースケーブルをお使いください。他のケーブルを使うと電波障害を起こすことがあります。**
- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピンまたはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**
- **インターフェースケーブルをお買い求めの際は、P.229「関連商品一覧」を参照してください。**

1. **プリンター本体とパソコンの電源を切ります。**
2. **インターフェースケーブルを変換コネクターに接続し、拡張 1284 ボードのインターフェースコネクターに差し込みます。**



CDC068

3. **パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。**

次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「印刷するための準備」を参照してください。

補足

- 拡張 1284 ボードの取り付け方法については、P.72「拡張 1284 ボードを取り付ける」を参照してください。

4. インターフェース設定

イーサネットや無線 LAN を使用する場合の設定方法について説明します。

イーサネットを使用する

イーサネットケーブルやオプションの拡張無線 LAN ボードを使用して本機をネットワークに接続する場合は、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

IPv4 を利用できる環境で IPv4 アドレスに関する設定をする場合は、Ridoc IO Analyzer や Web ブラウザーも使用できます。

重要

- **[ネットワーク設定］メニューで設定できる項目と、工場出荷時の値は以下のとおりです。**
    - **本体 IPv4 アドレス：**

      自動的に取得（DHCP）：Off

      IPv4 アドレス：11.22.33.44

      IPv4 サブネットマスク：0.0.0.0

      IPv4 デフォルトゲートウェイアドレス：0.0.0.0
    - **IPv6 ステートレス設定：有効**
    - **IPsec：無効**
    - **有効プロトコル：**

      IPv4：有効

      IPv6：無効

      SMB：有効

      AppleTalk：有効
    - **イーサネット速度：自動選択**
    - **イーサネット用 IEEE 802.1X 認証：無効**
    - **IEEE 802.1X 認証初期化**
    - **インターフェース選択：イーサネット**
- **[ネットワーク設定］メニューでの設定が済みましたら、セキュリティーを設定してください。セキュリティーの設定については、管理者に問い合わせてください。**

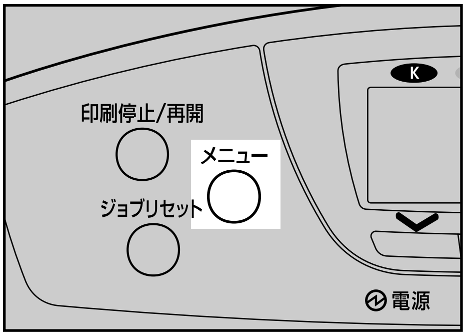
補足

- IPv4 を利用できる環境で IPv4 アドレスに関する設定をする場合は、Web Image Monitor も使用できます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

- DHCP 環境で使用する場合、IPv4 アドレス、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。
- [イーサネット速度] は必要に応じて設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

IP アドレスを手動で指定する

1. 操作部の [メニュー] キーを押します。

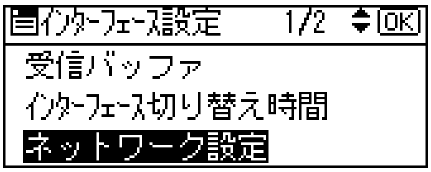


CDC008

2. [▼] [▲] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。



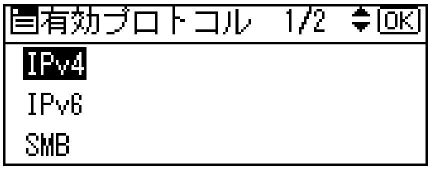
3. [▼] [▲] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して [有効プロトコル] を選択し、[OK] キーを押します。

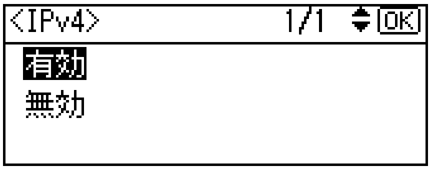


5. [▼] [▲] キーを押して使用するプロトコルを選択し、[OK] キーを押します。



ここでは IPv4 を有効にする例で説明します。

6. [▼] [▲] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。

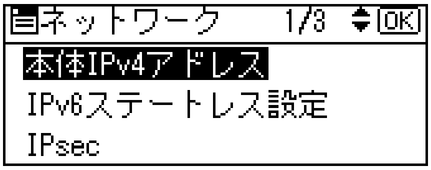


ご使用にならないプロトコルは [無効] にしておくことをお勧めします。

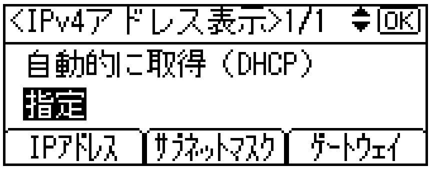
7. 使用するプロトコルを続けて設定します。

8. 有効にするプロトコルの設定が終了したら、[戻る] キーを押します。

9. [▼] [▲] キーを押して [本体 IPv4 アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。

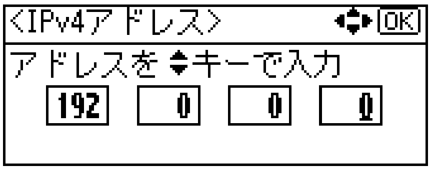


10. [▼] [▲] キーを押して [指定] を選択し、[IP アドレス] の選択キーを押します。



11. [▼] [▲] キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。

設定する IPv4 アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。



- [▼] [▲] キーを押し続けると、値が 10 ずつ増減します。

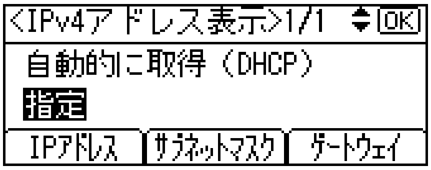
4

- [▶] [◀] キーを押すと、フィールドを移動します。
- 011.022.033.044 は使用できません。指定しないでください。

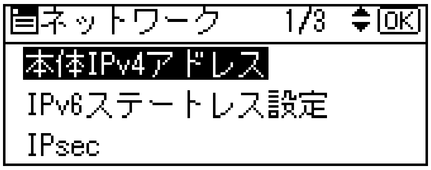
12. すべてのフィールドに値を入力して、[OK] キーを押します。



13. 本体の IPv4 アドレスを確定させます。[▼] [▲] キーを押して [指定] を選択し、[OK] キーを押します。



14. 設定が確定し、ネットワーク設定画面に戻ったら、[▼] [▲] キーを押して [本体 IPv4 アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。



15. 続けて、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスを設定します。

[サブネットマスク]、[ゲートウェイ] の選択キーを押し、IPv4 アドレスと同様の手順で設定します。

16. [メニュー] キーを押します。

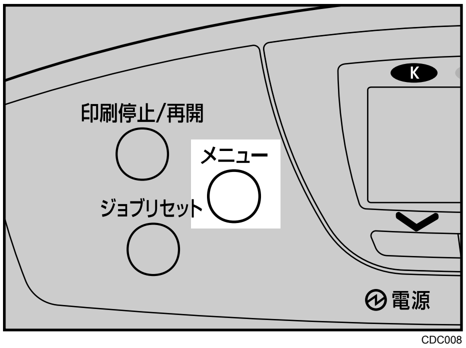
17. システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）

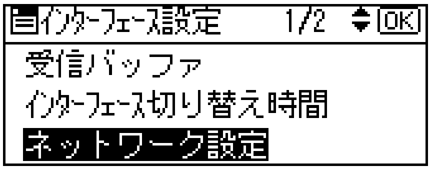
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



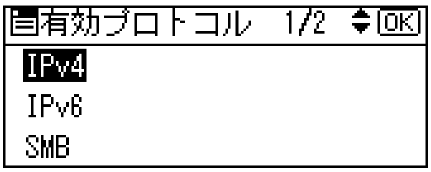
3. ［▼］［▲］キーを押して［ネットワーク設定］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押して［有効プロトコル］を選択し、［OK］キーを押します。

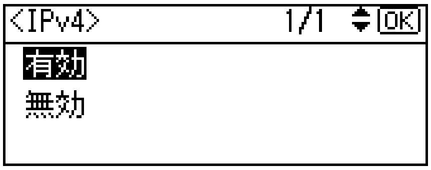


5. ［▼］［▲］キーを押して使用するプロトコルを選択し、［OK］キーを押します。



ここでは IPv4 を有効にする例で説明します。

6. [▼] [▲] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。

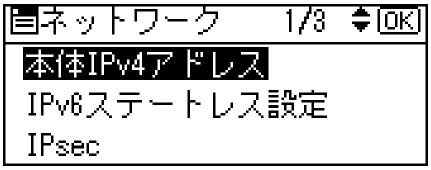


ご使用にならないプロトコルは [無効] にしておくことをお勧めします。

7. 使用するプロトコルを続けて設定します。

8. 有効にするプロトコルの設定が終了したら、[戻る] キーを押します。

9. [▼] [▲] キーを押して [本体 IPv4 アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。



10. [▼] [▲] キーを押して [自動的に取得 (DHCP)] を選択し、[OK] キーを押します。



11. [メニュー] キーを押します。

12. システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

通信速度を設定する

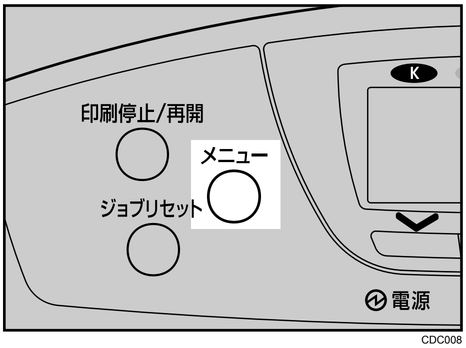
イーサネットの通信速度は、ご使用の環境（接続先の機器）を確認して、以下の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

接続先	本体側				
	10BASE-T 半二重固定［10Mbps 半二重固定］	10BASE-T 全二重固定［10Mbps 全二重固定］	100BASE-TX 半二重固定［100Mbps 半二重固定］	100BASE-TX 全二重固定［100Mbps 全二重固定］	自動選択［自動設定］
10BASE-T 半二重固定	○	-	-	-	○
10BASE-T 全二重固定	-	○	-	-	-
100BASE-TX 半二重固定	-	-	○	-	○
100BASE-TX 全二重固定	-	-	-	○	-
オートネゴシエーション（自動選択）	○	-	○	-	○

重要

- インターフェースの種別が一致しないと接続できません。
- 通常は［自動設定］を選択してください。

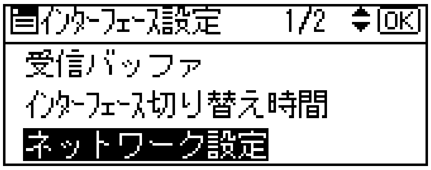
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



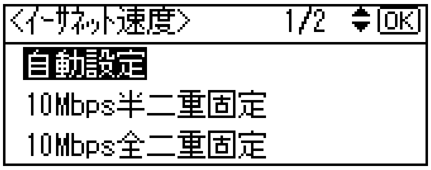
3. [▼] [▲] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して [イーサネット速度] を選択し、[OK] キーを押します。



5. [▼] [▲] キーを押して設定したい通信速度を選択し、[OK] キーを押します。



6. [メニュー] キーを押します。

7. システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

補足

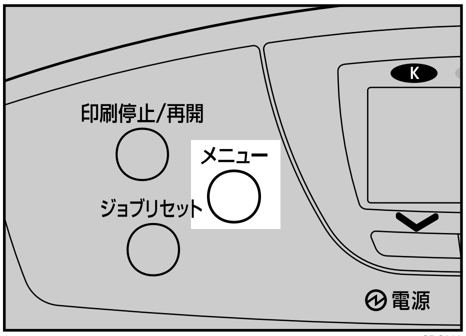
- システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

拡張無線 LAN を使用する

重要

- ［無線 LAN］メニューで設定できる項目と、工場出荷時の値は以下のとおりです。
  - 通信モード：インフラストラクチャー
  - SSID 設定：入力値設定なし
  - アドホックチャンネル：11（IEEE 802.11b/g）、36（IEEE 802.11a）
  - セキュリティー方式選択：しない
  - 電波状態
  - 設定値初期化
- 無線 LAN を使用するには、［インターフェース選択］で［無線 LAN］を選択し、ネットワーク設定の以下の項目を設定してください。設定方法については、P.87「イーサネットを使用する」を参照してください。
  - ［IPv4 アドレス］
  - ［サブネットマスク］
  - ［IPv4 ゲートウェイアドレス］
  - ［有効プロトコル］
- 拡張無線 LAN は、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



CDC008

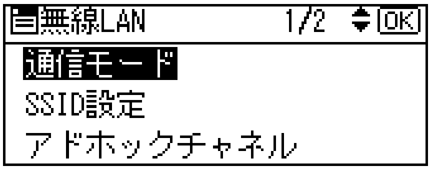
2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



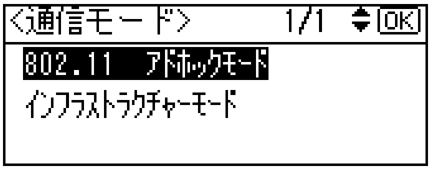
3. [▼] [▲] キーを押して [無線 LAN] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して [通信モード] を選択し、[OK] キーを押します。



5. [▼] [▲] キーを押して使用する通信モードを選択し、[OK] キーを押します。

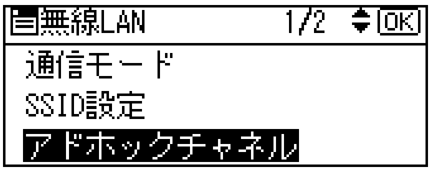


SSID の設定が必要ない環境で無線 LAN を使用する場合は、[802.11 アドホックモード] を選択します。

6. 選択した通信モードに応じた設定を行います。

[802.11 アドホックモード] を選択した場合

1. 通信に使用するチャンネルを設定します。[▼] [▲] キーを押して [アドホックチャネル] を選択し、[OK] キーを押します。



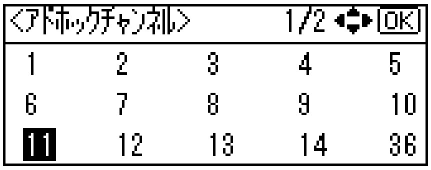
設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。

2. [▼] [▲] キーを押してチャンネル数値を入力し、[OK] キーを押します。

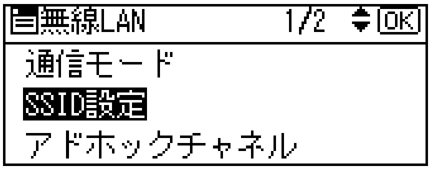
使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを選択してください。

IEEE 802.11b/g を使用する場合：1～14

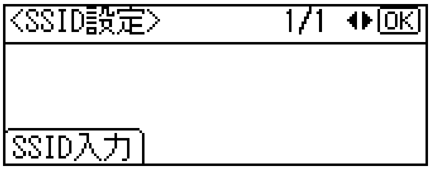
IEEE 802.11a を使用する場合：36、40、44、48



3. 通信に使用する SSID を設定します。[▼] [▲] キーを押して [SSID 設定] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [SSID 入力] の選択キーを押します。

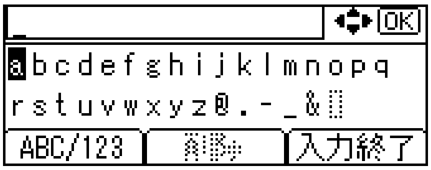


5. [入力] の選択キーを押します。



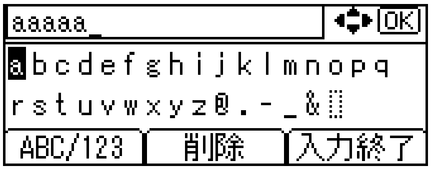
6. スクロールキーで文字を選択して [OK] キーを押し、文字列を入力します。

設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。



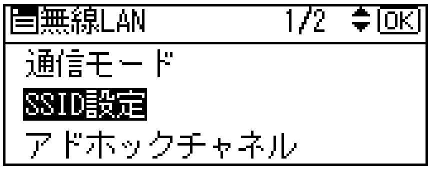
- SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。
- [ABC/123] の選択キーを押すと、大文字のアルファベットや数字、記号の入力モードに切り替わります。

7. 文字列の入力が完了したら、［入力終了］の選択キーを押します。

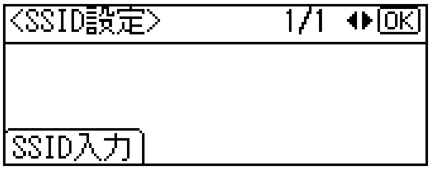


［インフラストラクチャーモード］を選択した場合

1. 通信に使用する SSID を設定します。［▼］［▲］キーを押して［SSID 設定］を選択し、［OK］キーを押します。



2. ［SSID 入力］の選択キーを押します。

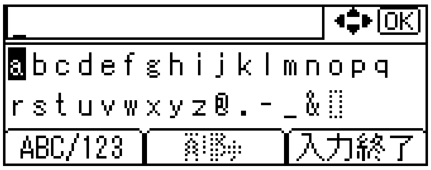


3. ［入力］の選択キーを押します。



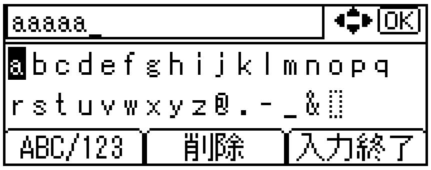
4. スクロールキーで文字を選択して［OK］キーを押し、文字列を入力します。

設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。



- SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。
- ［ABC/123］の選択キーを押すと、大文字のアルファベットや数字、記号の入力モードに切り替わります。

5. 文字列の入力が完了したら、[入力終了]の選択キーを押します。



7. [メニュー]キーを押します。

8. システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

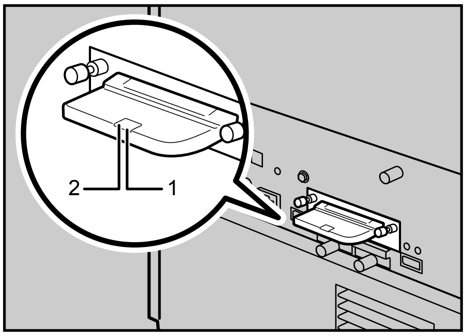
補足

- 各項目の設定については、『ソフトウェアガイド』「プリンター本体の設定」を参照してください。
- システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

無線 LAN の接続を確認する

カード内蔵型の無線 LAN ボードを取り付けている場合の、拡張無線 LAN の接続を確認する方法を説明します。

拡張無線 LAN ボードの LED が点灯していることを確認してください。



1. ネットワークに正常に接続していると、オレンジ色に点灯します。
2. 電力が、機器本体から拡張無線 LAN ボードへ正常に供給されると、緑色に点灯します。

無線 LAN ご使用時の注意

無線 LAN では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して情報のやりとりを行います。無線 LAN の電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物も越えて到達するため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

4

個人情報の漏洩

- ID、パスワード、クレジットカードの番号やメールの内容などが、第三者に盗み見られる。

ネットワークへの不正侵入

- ウィルスなどによってデータやシステムを破壊・改ざんされる。
- 特定の人物になりすまして不正な情報を流される。
- 機密情報が持ち出される。

これらの問題が発生する可能性を少なくするためには、本機や無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に搭載されている機能を確認し、セキュリティーに関する設定を行うことをお勧めします。

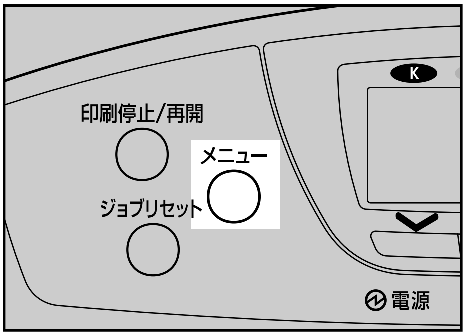
無線 LAN のセキュリティー方式を設定する

無線 LAN のセキュリティー方式の設定方法について説明します。ここでは WEP キーと WPA の設定について説明します。

WEP キーを設定する

ネットワーク内で WEP キーを使用している場合は、通信に使用する WEP キーを設定します。設定する WEP キーはネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

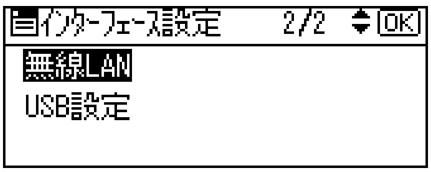


CDC008

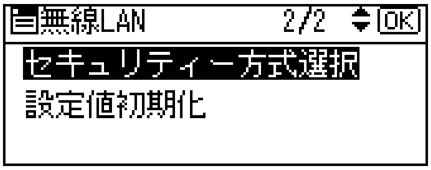
2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



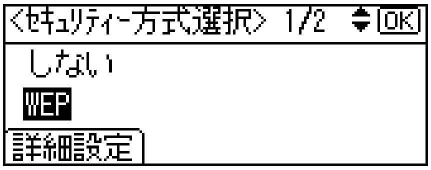
3. ［▼］［▲］キーを押して［無線 LAN］を選択し、［OK］キーを押します。



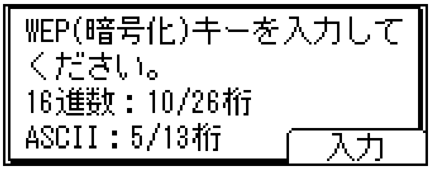
4. ［▼］［▲］キーを押して［セキュリティー方式選択］を選択し、［OK］キーを押します。



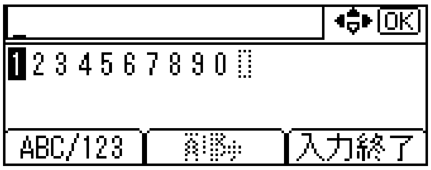
5. ［▼］［▲］キーを押して［WEP］を選択し、［詳細設定］の選択キーを押します。



6. ［入力］の選択キーを押します。

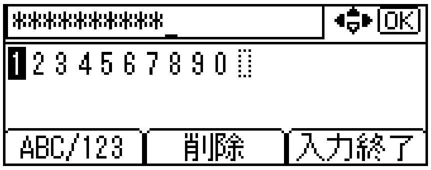


7. スクロールキーを押して、WEP キーを入力します。

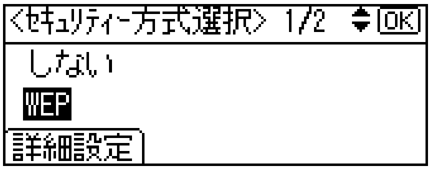


- 64bit WEP を使用する場合、16 進数では 10 桁、ASCII 文字列では 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を使用する場合、16 進数では 26 桁、ASCII 文字列では 13 桁の文字列が使用できます。
- 入力できる桁数は、16 進数の場合は 10 桁か 26 桁、ASCII 文字列の場合は 5 桁か 13 桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、「入力したキーの文字または桁数が正しくありません。」というメッセージが画面に表示されます。
- ASCII 文字列の場合、大文字と小文字はそれぞれ別の文字として認識されます。
- ［ABC/123］の選択キーを押すと、大文字のアルファベットや数字、記号の入力モードに切り替わります。

8. WEP キーの入力が完了したら、［入力終了］の選択キーを押します。



9. WEP キーの設定を確定させます。［▼］［▲］キーを押して［WEP］を選択し、［OK］キーを押します。



10. ［メニュー］キーを押します。

11. システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

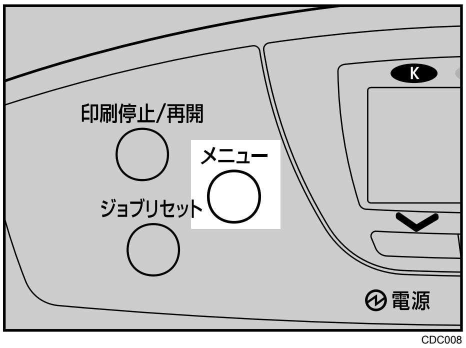
補足

- システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

WPA を設定する

ネットワーク内で WPA を使用している場合は、通信に使用する WPA を設定します。設定する WPA はネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



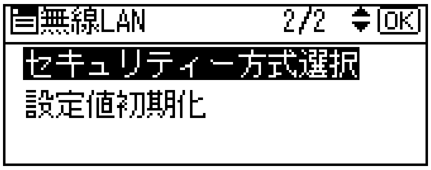
2. [▼][▲]キーを押して[インターフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。



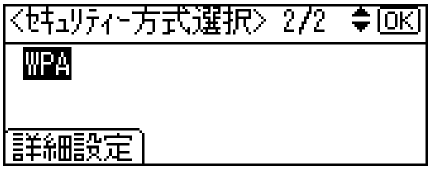
3. [▼][▲]キーを押して[無線 LAN]を選択し、[OK]キーを押します。



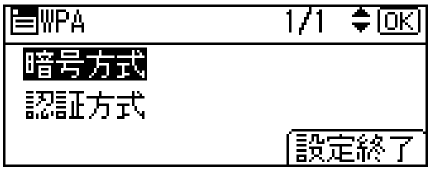
4. [▼][▲]キーを押して[セキュリティー方式選択]を選択し、[OK]キーを押します。



5. [▼][▲]キーを押して[WPA]を選択し、[詳細設定]の選択キーを押します。



6. [▼][▲]キーを押して[暗号方式]を選択し、[OK]キーを押します。



7. [▼][▲]キーを押して使用する暗号方式を選択し、[OK]キーを押します。



暗号方式の設定値は次のとおりです。

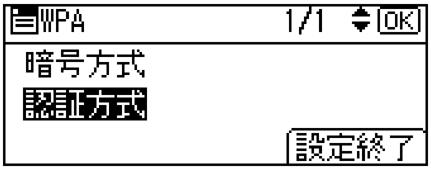
- TKIP

  アルゴリズムに WEP と同じ RC4 を用いながら鍵の攪拌等により脆弱性を下げることができます。

- CCMP（AES）

  AES（Advanced Encryption Standard）を使用することにより更にセキュリティーを高められます。

8.［▼］［▲］キーを押して［認証方式］を選択し、［OK］キーを押します。



9.［▼］［▲］キーを押して使用する認証方式を選択し、［OK］キーを押します。



認証方式の設定値は次のとおりです。

- WPA-PSK

  アクセスポイントとクライアントが共有する暗号鍵（共有鍵：Pre-Shared Key）を利用して認証を行います。事前共有鍵と呼ばれる 8～63 桁の ASCII 文字列を設定します。

  PSK を入力する画面が表示されたら［入力］キーを押し、スクロールキーを押して入力します。

- WPA

  証明書を導入した認証サーバーを利用した認証が行えます。証明書の導入の設定画面で［設定する］か［しない］を選択します。

  この方式を選択した場合は、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳しくは、P.107「IEEE 802.1X（WPA/WPA2）の設定」を参照してください。

- WPA2-PSK

  WPA-PSK と同じく、アクセスポイントとクライアントが共有する暗号鍵（共有鍵：Pre-Shared Key）を利用して認証を行います。事前共有鍵と呼ばれる 8～63 桁の ASCII 文字列を設定します。

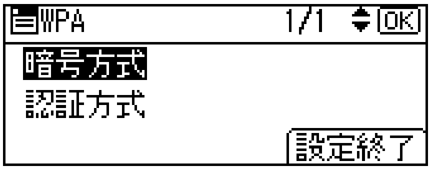
  PSK を入力する画面が表示されたら［入力］キーを押し、スクロールキーを押して入力します。

- WPA2

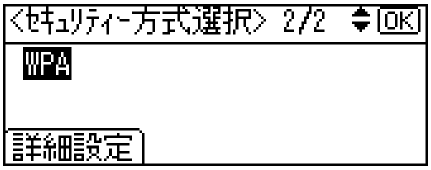
  WPA2 は、WPA の追加仕様で、IEEE 802.11i へ完全対応しています。

  この方式を選択した場合は、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳しくは、P.107「IEEE 802.1X（WPA/WPA2）の設定」を参照してください。

10. ［設定完了］の選択キーを押します。



11. WPA の設定を確定させます。［▼］［▲］キーを押して［WPA］を選択し、［OK］キーを押します。



12. ［メニュー］キーを押します。

13. システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- システム設定リストの印刷手順は、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

IEEE 802.1X（WPA/WPA2）の設定

ここでは、セキュリティー向上のための設定について説明しています。

WPA/WPA2 は、WPA-PSK/WPA2-PSK に比べ、証明書を導入した認証サーバーを利用することで更にセキュリティーの向上を図っています。

IEEE 802.1X（WPA/WPA2）は、Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

イーサネットを使用して設定をするには、操作部から［インターフェース設定］→［ネットワーク設定］→［イーサネット用 IEEE 802.1X 認証］で［有効］に設定してください。無線 LAN を使用して設定をするには、操作部、または Web Image Monitor で WPA を設定してください。

★重要

- **WPA/WPA2 を設定するには、SSL を有効にしてください。SSL の設定については、『ソフトウェアガイド』「SSL（暗号化通信）の概要」を参照してください。**

Web Image Monitor の表示と管理者モードへのログイン

Web ブラウザーを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。

この機能を Web Image Monitor といいます。

Web Image Monitor の表示方法と管理者モードでアクセスする方法について説明します。

Web Image Monitor の詳細については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **Web ブラウザーのアドレスバーに「http：//（本機のアドレス、またはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **Web Image Monitor のトップページで、［ログイン］をクリックします。**
4. **ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。**

サイト証明書の導入手順

1. **認証局サーバーにアクセスし、「CA 証明書」を入手します。**

   証明書の入手方法は、ご使用の環境により異なります。

2. Web Image Monitor の管理者モードにログインします。

   ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

3. メニューエリアの［設定］をクリックします。
4. 「セキュリティー」にある［サイト証明書］をクリックします。
5. 「インポートするサイト証明書」の［参照］を押し、入手した CA 証明書を選択します。
6. ［インポート］をクリックします。
7. インポートした証明書の状態が「信頼できる」であることを確認します。

   「サイト証明書チェック機能」が［有効］ になっていて、証明書の状態が「信頼できない」場合、通信ができなくなる可能性があります。

8. ［OK］をクリックします。
9. 管理者モードからログアウトします。
10. Web Image Monitor を終了します。

機器証明書の導入手順

1. Web Image Monitor の管理者モードにログインします。

   ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。
3. 「セキュリティー」にある［機器証明書］をクリックします。
4. 「機器証明書」画面で「証明書 2」を選択し、［要求］をクリックします。
5. 「証明書項目内容入力」画面で「共通名称」、「国コード」に適切な値を入力し、［OK］をクリックします。
6. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経ってから［OK］をクリックします。
7. 「機器証明書」画面で、「要求中」である証明書の［詳細］（メモ帳型のアイコン）をクリックします。
8. 「証明書詳細情報」画面の「証明書要求中文字列」内のテキストをすべてコピーします。
9. 認証局サーバーにアクセスし、コピーした「証明書要求中文字列」を使用して「CA 署名済み証明書」をダウンロードします。

   証明書の入手方法は、ご使用の環境により異なります。

10.「機器証明書」画面で「証明書 2」を選択し、［導入］をクリックします。

11. ダウンロードした「CA 署名済み証明書」をテキストエディタで開き、書かれているものをすべてコピーします。

12.「証明書要求の入力」画面で、コピーした「CA 署名済み証明書」の内容をすべて貼り付けます。

13.［OK］をクリックします。

14.「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経ってから［OK］をクリックします。

15.「機器証明書」画面で、証明書の状態が「導入済み」になっていることを確認します。

16.「利用する証明書」で「証明書 2」を選択して［OK］をクリックします。

補足

- 「機器証明書」画面で「証明書 1～4」はいずれも選択可能ですが、「証明書 1」を選択した場合は「利用する証明書」の「IEEE 802.1X（WPA/WPA2）」のドロップダウンメニューで［証明書 1］を選択してください。
- 2 つの証明書の要求を同時に行うと、証明書の発行先が表示されない場合があります。
- 途中で「ページが見つかりません」画面が表示された場合は、表示後、1～2 分待ってからブラウザーの［更新］を押してください。

SSL を有効にする

本機に機器証明書を導入後、SSL の設定を有効にします。

この設定は、機器証明書が自己証明書を利用する場合、または認証局証明書を利用する場 合のどちらにも共通の設定方法です。Web Image Monitor を使用し、管理者モードで設定し ます。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。

3.「セキュリティー」の［SSL/TLS］をクリックします。

4.「SSL/TLS」でご使用になるインターネットプロトコルのバージョンを［有効］に設定します。

5.「SSL/TLS 通信許可設定」から［暗号化優先］を選択します。

6.［OK］をクリックします。

   SSL の設定が有効になります。

7.［OK］をクリックします。

8. ［ログアウト］をクリックします。

9. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 「SSL/TLS 通信許可設定」を［暗号化優先］に設定した場合、本機にアクセスするときは、「https://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力します。

イーサネットで IEEE 802.1X を使用する

4

1. Web Image Monitor の管理者モードにログインします。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。

3. 「セキュリティー」にある［IEEE 802.1X］をクリックします。

4. 「ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。

5. 「ドメイン名」に、ご利用環境のドメイン名を入力します。

6. 「EAP タイプ」を選択します。EAP タイプによって設定項目が異なります。

EAP-TLS

お使いの環境に合わせて設定してください。

- 「サーバー証明書の認証」を選択します。
- 「中間認証局の信頼」を選択します。
- 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。

LEAP

- 「パスワード」の［変更］を押して、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

EAP-TTLS

- 「パスワード」の［変更］を押して、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（EAP-TTLS）」を選択します。

  お使いの RADIUS サーバーにより、使用できないメソッドがあります。

  以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
- 「サーバー証明書の認証」を選択します。

- 「中間認証局の信頼」を選択します。
- 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。

PEAP

- 「パスワード」の［変更］を押して、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（PEAP）」を選択します。

  メソッドに［TLS］を選択する場合は、「IEEE 802.1X クライアント証明書」が必要です。

  以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
- 「サーバー証明書の認証」を選択します。
- 「中間認証局の信頼」を選択します。
- 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。

7. **［OK］をクリックします。**

8. **「設定」画面の「インターフェース」エリアにある［インターフェース設定］をクリックします。**

9. **「イーサネット」エリアにある「セキュリティ（802.1X）」で［有効］を選択します。**

10. **［OK］をクリックします。**

11. **管理者モードからログアウトします。**

12. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 設定の不具合により、お使いのプリンターと通信できなくなる可能性があります。本機からネットワークサマリーを印刷して状況を確認することができます。
- 原因が特定できない場合は、本機の設定を通常のインターフェースに戻した後、はじめから手順をやり直してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用する

1. **Web Image Monitor の管理者モードにログインします。**

2. **メニューエリアの［設定］をクリックします。**

3. **「セキュリティー」にある［IEEE 802.1X］をクリックします。**

4.「ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。

5.「ドメイン名」に、ご利用環境のドメイン名を入力します。

6.「EAP タイプ」を選択します。EAP タイプによって設定項目が異なります。

EAP-TLS

お使いの環境に合わせて設定してください。

- 「サーバー証明書の認証」を選択します。
- 「中間認証局の信頼」を選択します。
- 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。

LEAP

- 「パスワード」の［変更］を押して、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

EAP-TTLS

- 「パスワード」の［変更］を押して、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（EAP-TTLS）」を選択します。

  お使いの RADIUS サーバーにより、使用できないメソッドがあります。

  以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
- 「サーバー証明書の認証」を選択します。
- 「中間認証局の信頼」を選択します。
- 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。

PEAP

- 「パスワード」の［変更］を押して、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（PEAP）」を選択します。

  メソッドに［TLS］を選択する場合は、「IEEE 802.1X クライアント証明書」が必要です。

  以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
- 「サーバー証明書の認証」を選択します。
- 「中間認証局の信頼」を選択します。
- 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。

7. ［OK］をクリックします。
8. 「設定」画面の「インターフェース設定」エリアにある［無線 LAN］をクリックします。
9. 「通信モード」に［インフラストラクチャーモード］を選択します。
10. 「SSID」をご利用のアクセスポイントに合わせて入力します。
11. 「セキュリティー方式」に［WPA］を選択します。
12. 「WPA 暗号選択」を、ご利用のアクセスポイントに合わせて選択します。
13. 「WPA 認証方式」に、［WPA］を選択します。
14. ［OK］をクリックします。
15. 管理者モードからログアウトします。
16. Web Image Monitor を終了します。

補足

- 設定の不具合により、お使いのプリンターと通信できなくなる可能性があります。本機からネットワークサマリーを印刷して状況を確認することができます。
- 原因が特定できない場合は、本機の設定を通常のインターフェースに戻した後、はじめから手順をやり直してください。

5. 用紙のセット

本機で使用できる用紙の種類やサイズ、用紙のセット方法について説明します。

使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙トレイにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数について説明します。

▯は縦方向に用紙をセットすることを表し、操作部にも▯と表示されます。

海外向けサイズの用紙は以下のとおりに表示されます。

本書の表記	Legal	Letter	$5^1/_2 \times 8^1/_2$
操作部の表示	$8^1/_2 \times 14$	$8^1/_2 \times 11$	$5^1/_2 \times 8^1/_2$
RPCS プリンタードライバーの表示	Legal（8 1/2” ×14”）	Letter （8 1/2” ×11”）	5 1/2” ×8 1/2”

本体給紙トレイ［トレイ 1］

用紙の種類	自動的に選択される用紙サイズ	操作部で設定を必要とする用紙サイズ	最大セット枚数
普通紙 再生紙 特殊紙 色紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 OHP フィルム 封筒 光沢紙 コート紙 薄紙 厚紙 普通紙（裏面） 厚紙（裏面） +Custom1～8	• 定型サイズ： A4▯、B5▯、A5▯、郵便はがき▯ • 海外向けサイズ： Legal▯、Letter▯	• 定形サイズ： B6▯、A6▯、往復はがき▯ • 海外向けサイズ： $5^1/_2 \times 8^1/_2$▯ • 不定形サイズ： 幅 100～216mm 長さ 148～355.6mm	普通紙：550 枚

500 枚増設トレイユニット［トレイ 2］［トレイ 3］［トレイ 4］

用紙の種類	自動的に選択される用紙サイズ	操作部で設定を必要とする用紙サイズ	最大セット枚数
普通紙 再生紙 特殊紙 色紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 OHP フィルム 封筒 光沢紙 コート紙 薄紙 厚紙 普通紙（裏面） 厚紙（裏面） ✚Custom1〜8	• 定型サイズ： A4□、B5□、A5□ • 海外向けサイズ： Legal□、Letter□	• 定形サイズ： B6□、往復はがき□ • 海外向けサイズ： $5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$□ • 不定形サイズ： 幅 100〜216mm 長さ 210〜355.6mm	普通紙：550 枚

重要

- **操作部で設定が必要な用紙サイズをセットしたときは、セットした用紙サイズと操作部の設定を必ず合わせてください。**
- **不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作部やプリンタードライバーで用紙サイズを入力する必要があります。詳しくは、P.137「不定形サイズの用紙をセットする」を参照してください。**

補足

- セットできる用紙厚は 52〜216g/m^2（45〜185.7kg）です。
- 厚紙、厚紙（裏面）、特殊紙は、紙厚や紙質に応じて以下のタイプを選択できます。詳しくは、P.120「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。
  - 厚紙：厚紙 1、厚紙 2
  - 厚紙（裏面）：厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面）
  - 特殊紙：特殊紙 1、特殊紙 2、特殊紙 3
- 普通紙、再生紙、色紙、厚紙（90〜157g/m^2、77.4〜135kg）、光沢紙、レターヘッド付き用紙、特殊紙以外の用紙は両面印刷できません。
- 「✚Custom」は、ユーザーが任意に登録した用紙種類の名称に変更できます。登録方法については、P.149「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

手差しトレイ

用紙の種類	セットできる用紙サイズ	最大セット枚数
普通紙 再生紙 特殊紙 色紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 OHP フィルム 封筒 光沢紙 コート紙 薄紙 厚紙 普通紙（裏面） 厚紙（裏面） ✚Custom1～8	• 定型サイズ： A4▯、B5▯、A5▯、B6▯、A6▯、郵便はがき▯、往復はがき▯ • 海外向けサイズ： Legal▯、Letter▯、$5^1/_2$×$8^1/_2$▯ • 不定形サイズ： 幅 70～216mm 長さ 139.7～900mm	普通紙：100 枚

重要

- 手差しトレイに用紙をセットしたときは、操作部で用紙サイズの設定が必要です。詳しくは、P.140「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
- 不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作部やプリンタードライバーで用紙サイズを入力する必要があります。詳しくは、P.143「不定形サイズの用紙をセットする」を参照してください。
- A5▯よりも大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。
- 手差しトレイに長尺紙をセットしたときは、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。
- 長尺紙の画像印刷保証範囲は、給紙方向に対して長さ 900mm までです。詳しくは、P.131「印刷範囲」を参照してください。

補足

- 装着しているメモリー容量によって印刷できる用紙サイズは異なります。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。
- 手差しトレイにセットできる用紙厚は 52～216g/m^2（45～185.7kg）です。
- 45kg 紙（52g/m^2）、または A4▯以上の長さの用紙は、直角に裁断されていないと正しく給紙されないことがあります。
- 厚紙、厚紙（裏面）、特殊紙は、紙厚や紙質に応じて以下のタイプを選択できます。詳しくは、P.120「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。
    - 厚紙：厚紙 1、厚紙 2

5

    - 厚紙（裏面）：厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面）
    - 特殊紙：特殊紙 1、特殊紙 2、特殊紙 3
- 普通紙、再生紙、色紙、厚紙（90～157g/m^2、77.4～135kg）、光沢紙、レターヘッド付き用紙、特殊紙以外の用紙は両面印刷できません。

5

用紙に関する注意

用紙のセットや保管、印刷範囲について説明します。

用紙をセットするとき

重要

- リコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙については、P.227「消耗品一覧」を参照してください。
- インクジェット専用紙はセットしないでください。定着ユニットへの用紙の巻き付きが発生し、故障の原因になります。
- 用紙は以下の向きにセットしてください。
    - 本体給紙トレイ 1：印刷面を上
    - 手差しトレイ：印刷面を下
    - 500 枚増設トレイ：印刷面を上
- 手差しトレイにセットするときは、用紙がサイドガイドのつめの下に収まるようにしてください。また、A5▯よりも大きい用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。
- 用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。
- セットした用紙のサイズが自動検知されない場合は、操作部で用紙サイズを設定する必要があります。
- 複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。複数の用紙が重なって送られると、紙づまりの原因になります。

用紙を保管するとき

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 湿気の多い所には置かない。
- 直射日光の当たる所には置かない。
- 立て掛けない。

残った用紙は、購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

用紙種類の設定における、プリンタードライバーと操作部の設定値を以下の表に示します。

この設定で印刷した結果、トナーがにじむなど、きれいに印刷できない場合は、用紙によっては操作部の［調整/管理］メニューの設定を変更することにより、改善する場合があります。［調整/管理］メニュー設定の詳細および用紙種類ごとの注意事項については、それぞれの用紙種類の説明を参照してください。

用紙	プリンタードライバーの設定	操作部の設定：［用紙設定］メニュー	給紙可能トレイ	両面印刷
普通紙 （60～105g/m^2）	［普通紙/再生紙］または［普通紙（60-105g/m^2）］	［表示なし（普通紙）］	すべてのトレイ	可
再生紙	［普通紙/再生紙］または［再生紙］	［再生紙］	すべてのトレイ	可
色紙	［色紙］	［色紙］	すべてのトレイ	可
厚紙 （105～157g/m^2）	［厚紙 1（105-157g/m^2）］	［厚紙 1］	すべてのトレイ	可
厚紙 （157～216g/m^2）	［厚紙 2（157-216g/m^2）］	［厚紙 2］	すべてのトレイ	不可
薄紙 （52～60g/m^2）	［薄紙（52-60g/m^2）］	［薄紙］	すべてのトレイ	不可
OHP フィルム	［OHP］	［OHP］	すべてのトレイ	不可
レターヘッド紙	［レターヘッド付き用紙］	［レターヘッド］	すべてのトレイ	可
ラベル紙	［ラベル紙］	［ラベル紙］	すべてのトレイ	不可
光沢紙	［光沢紙］	［光沢紙］	すべてのトレイ	可
コート紙	［コート紙］	［コート紙］	すべてのトレイ	不可
特殊紙	［特殊紙 1］ ［特殊紙 2］ ［特殊紙 3］	［特殊紙 1］ ［特殊紙 2］ ［特殊紙 3］	すべてのトレイ	可
封筒	［封筒］	［封筒］	すべてのトレイ	不可
郵便はがき	原稿サイズ：［郵便ハガキ］または［往復ハガキ］ 用紙種類：［厚紙 2］	［厚紙 1］	トレイ 1 手差しトレイ	不可

普通紙

紙の厚さ	60.2～104.7g/m^2 （52～90kg） • ［普通紙 1］： 60.2～90.2g/m^2 （52～77.6kg） • ［普通紙 2］： 90.2～104.7g/m^2 （77.6～90kg）
操作部の設定	［用紙設定］ →［用紙種類設定：（トレイの名前）］ で ［表示なし（普通紙）］ を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］ で ［普通紙（60-105g/m^2）］ を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	• トレイ 1：550 枚 • トレイ 2～4（500 枚増設トレイ）：550 枚 • 手差しトレイ：100 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	可
その他の注意	• 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷できない場合は、［調整/管理］［一般管理］ の ［普通紙設定］ から、使用する普通紙の紙種（紙厚）にあわせて、［普通紙 1］ か ［普通紙 2］ を選択します。 工場出荷時の設定：**普通紙 1** 設定値が大きくなるほど印刷速度が遅くなります。 • 印刷済みの普通紙の裏面に印刷するときは、操作部で ［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］ から ［普通紙（裏面）］ を選択するか、プリンタードライバーの ［用紙種類］ から ［普通紙（裏面印刷）］ を選択してください。

再生紙/色紙

操作部の設定	• 再生紙 ［用紙設定］ →［用紙種類設定：（トレイの名前）］ で ［再生紙］ を選択 • 色紙 ［用紙設定］ →［用紙種類設定：（トレイの名前）］ で ［色紙］ を選択
プリンタードライバーの設定	• 再生紙 ［用紙種類］ で ［普通紙/再生紙］ または ［再生紙］ を選択 • 色紙 ［用紙種類］ で ［色紙］ を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ

5

用紙セット可能枚数	• トレイ 1：550 枚 • トレイ 2〜4（500 枚増設トレイ）：550 枚 • 手差しトレイ：100 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	可

厚紙

紙の厚さ	104.7〜216g/m^2（90〜185.7kg） • ［厚紙 1］：104.7〜157g/m^2（90〜135kg） • ［厚紙 2］：157〜216g/m^2（135〜185.7kg）
操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］で［厚紙 1］か［厚紙 2］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［厚紙 1（105-157g/m^2)］か［厚紙 2（157-216g/m^2)］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	トレイ 1〜4 には、A5 サイズ以下を 100 枚までセットできます。B5 サイズ以上は、トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	• ［厚紙 1］：可 • ［厚紙 2］：不可
その他の注意	• 印刷済みの厚紙の裏面に印刷するときは、操作部で［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］から［厚紙 1（裏面)］を選択するか、プリンタードライバーの［用紙種類］から［厚紙 1（裏面)］を選択してください。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

薄紙

紙の厚さ	52〜60.2g/m^2（45〜52kg）
操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］で［薄紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［薄紙（52-60g/m^2)］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。

両面印刷	不可

OHP フィルム

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］で［OHP］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［OHP フィルム］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	100 枚 手差しトレイにセットする場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	不可
その他の注意	• 印刷速度が普通紙より遅くなります。 • モード切替をするため、印刷データを受け始めたタイミングから数十秒間の待機状態になります。 • リコー推奨の OHP フィルムを使用してください。推奨以外の用紙を使用すると、定着ユニットに用紙が巻き付くことがあり、故障の原因になります。リコー推奨の用紙については、P.227「消耗品一覧」を参照してください。 • OHP フィルムをセットするときは、裏表を誤らないように注意してください。故障の原因となります。 • OHP フィルムは印刷のたびに、さばいてからセットしてください。トレイにセットしたまま放置していると密着して用紙送りを妨げる原因になります。 • OHP フィルムを投影するときは、4000ANSI ルーメン以上の透過型オーバーヘッドプロジェクターのご使用を推奨します。 • OHP フィルムが重なって送られる場合は、1 枚ずつセットしてください。

レターヘッド紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］で［ラベル紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［レターヘッド付き用紙］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ

用紙セット可能枚数	• トレイ 1：550 枚 • トレイ 2~4（500 枚増設トレイ）：550 枚 • 手差しトレイ：100 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	可
その他の注意	• 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷できない場合は、［調整/管理］［一般管理］の［レターヘッド紙設定］から、使用するレターヘッド紙の紙種（紙厚）にあわせて、［レターヘッド 1］～［レターヘッド 3］を選択します。 工場出荷時の設定：**レターヘッド 1** 設定値が大きくなるほど印刷速度が遅くなります。 • レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや裏表がある用紙は、用紙の組み合わせなどによって、正しく印刷されないことがあります。

5

ラベル紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］で［ラベル紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［ラベル紙］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	100 枚 手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	不可
その他の注意	• 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷できない場合は、［調整/管理］［一般管理］の［ラベル紙設定］から、使用するラベル紙の紙種（紙厚）にあわせて、［ラベル紙 1］～［ラベル紙 3］を選択します。 工場出荷時の設定：**ラベル紙 2** 設定値が大きくなるほど印刷速度が遅くなります。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。 • リコー推奨の用紙を使用してください。リコー推奨の用紙については、P.227「消耗品一覧」を参照してください。 • 複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。

光沢紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］で［光沢紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［光沢紙］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	100 枚 手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	可
その他の注意	• 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷できない場合は、［調整/管理］［一般管理］の［光沢紙設定］から、使用する光沢紙の紙種（紙厚）にあわせて、［光沢紙 1］～［光沢紙 4］を選択します。 工場出荷時の設定：**光沢紙 3** 設定値が大きくなるほど印刷速度が遅くなります。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

コート紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］で［コート紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［用紙種類］で［コート紙］を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	100 枚 手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	不可
その他の注意	• 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷できない場合は、［調整/管理］［一般管理］の［コート紙設定］から、使用するコート紙の紙種（紙厚）にあわせて、［コート紙 1］～［コート紙 4］を選択します。 工場出荷時の設定：**コート紙 2** 設定値が大きくなるほど印刷速度が遅くなります。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

特殊紙

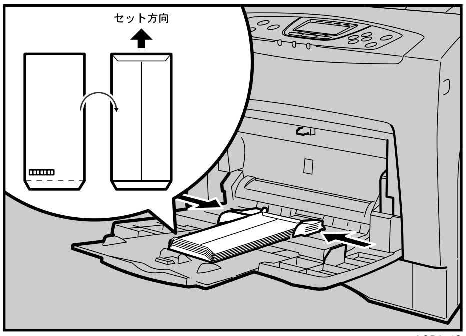
特殊紙の目安	本機に特殊紙としてセットしていただく用紙は、以下のものを目安としています。 • [特殊紙 1]： 薄めの普通紙 • [特殊紙 2]： 厚めで表面が粗い用紙 • [特殊紙 3]： サービス設定用
操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：(トレイの名前)] で [特殊紙 1] ～[特殊紙 3] を選択
プリンタードライバーの設定	[用紙種類] で [特殊紙 1] ～[特殊紙 3] を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	可

封筒

操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：(トレイの名前)] で [封筒] を選択
プリンタードライバーの設定	[用紙種類] で [封筒] を選択
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
用紙セット可能枚数	封筒の種類により異なります。 トレイ内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	不可
その他の注意	• 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷されない場合は、[調整/管理] [一般管理] の [封筒設定] から、使用する封筒の紙種（紙厚）にあわせて、[封筒 1] ～[封筒 4] を設定してください。 工場出荷時の設定：**封筒 1** 設定値が大きくなるほど印刷速度が遅くなります。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

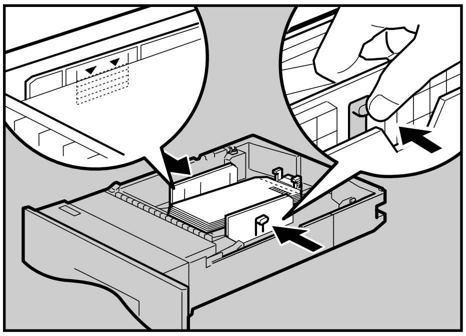
補足

- 手差しトレイにセットする場合は、印刷面を下にしてセットしてください。開いた状態のフラップ（ふた）は、セット方向の反対側になります。



AQB041S

- 本体給紙トレイ、500 枚増設トレイにセットする場合は、印刷面を上にしてセットしてください。開いた状態のフラップ（ふた）は、トレイの奥側になります。



AKQ008S

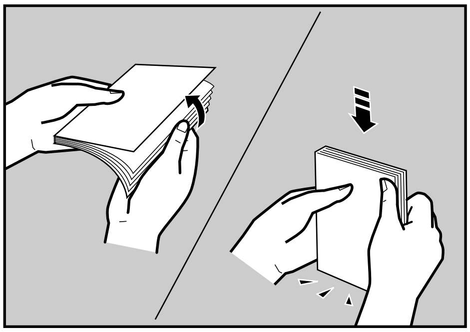
- 印刷するときは、プリンタードライバーの［その他］タブを選択し、［180 度回転］にチェックを入れて印刷してください。
- 印刷するときは、プリンタードライバーまたは操作部で、封筒のサイズを設定してください。詳しくは、P.137「不定形サイズの用紙をセットする」、P.143「不定形サイズの用紙をセットする」を参照してください。
- 推奨封筒または推奨封筒以外でも、環境によってはシワが発生したりするなど、正しく印刷されないことがあります。特に湿度の高い環境では、シワが発生しやすくなります。
- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りする場合に、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。
- 封筒の種類や環境によっては、シワが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。その場合は、封筒をセットするトレイやセット方向を変更してお試しください。

郵便はがき

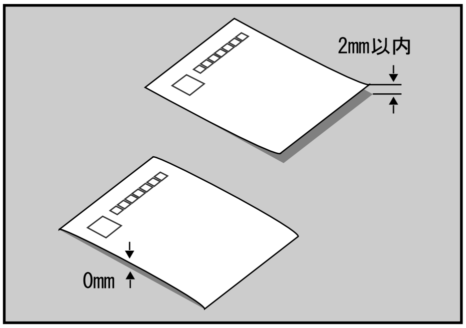
操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］で［厚紙 1］を選択
プリンタードライバーの設定	次の 2 つを設定します。 • ［原稿サイズ］で［郵便ハガキ］を選択 • ［用紙種類］で［厚紙 2（157-216g/m²）］を選択
給紙可能トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
用紙セット可能枚数	100 枚 手差しトレイの場合は、用紙ガイド（サイドガイド）に収まる枚数をセットしてください。
両面印刷	不可
使用できないはがき	• インクジェットプリンター専用はがき • 絵葉書などの厚いはがき • 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき • 他のプリンターで一度印刷したはがき • 表面加工されているはがき • 表面に凹凸のあるはがき
その他の注意	• 郵便はがきに印刷すると、紙紛が多く発生するので、こまめな清掃を心掛けてください。詳しくは、P.170「レジストローラー周辺を清掃する」を参照してください。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

補足

- 郵便はがきをセットするときは図のように、はがきをさばいて端をそろえます。

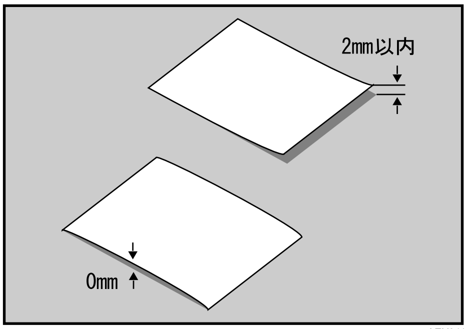


- 郵便はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。
    - ハガキの表面（宛先記入面）に印刷する場合



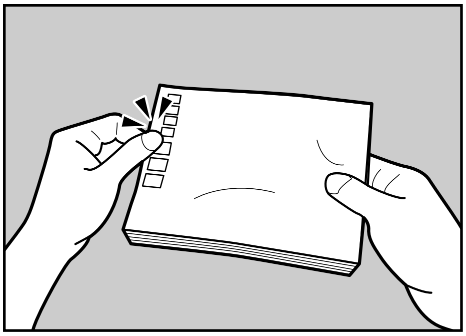
AEX310

- ハガキの裏面に印刷する場合



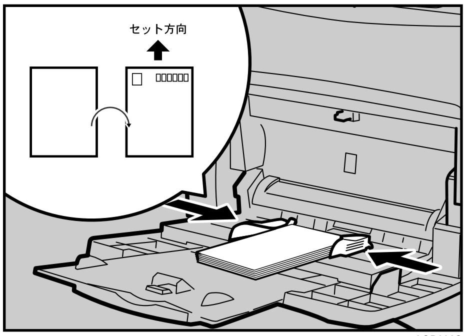
AEX311

- 郵便はがきの先端部が曲がっていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に先端部を図のように指でのして曲がりを直してください。



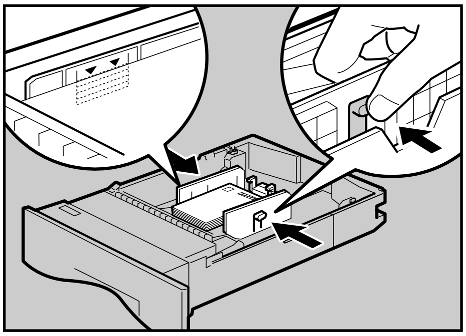
ZDJY203J

- 郵便はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、はがきを平らなところに置き、定規などを水平に 1～2 回動かしてはがきの 4 辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出た紙粉を払います。
- 手差しトレイにセットする場合は、印刷面を下にしてセットしてください。



AQB038S

- 本体給紙トレイ、500 枚増設トレイにセットする場合は、印刷面を上にしてセットしてください。



AQB039S

- 郵便はがきの両面に印刷するときは、裏面→表面（宛名記入面）の順で印刷してください。表面を先に印刷した場合、裏面はトナーがかすれたり色むらができることがあります。よりきれいに印刷するためには、裏面から先に印刷し、表面は後から印刷することをお勧めします。

使用できない用紙

以下のような用紙は使用しないでください。

- インクジェット専用紙
- ジェルジェット専用紙
- 年賀状（写真用の年賀状、インクジェット用の年賀状）
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- ミシン目などの加工がされている用紙

重要

- **プリンターに適切な用紙でも、以下のような保存状態が悪い用紙は紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。**

- **しわ、折れ、破れ、端が波打っている用紙**
- **カール（反り）のある用紙**
- **湿気を吸っている用紙**
- **乾燥して静電気が発生している用紙**
- **一度印刷した用紙**

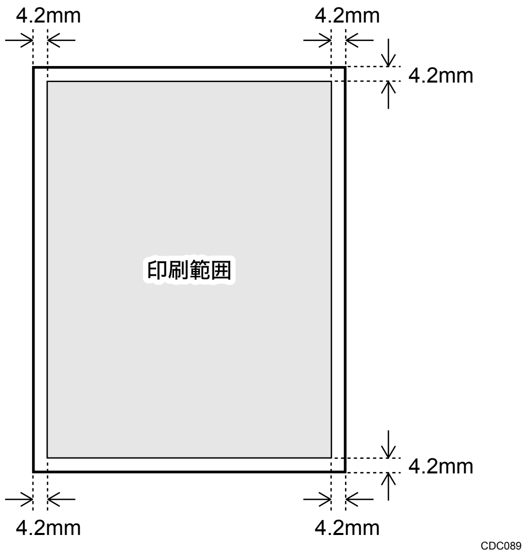
  他の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンターなど）で印刷されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- **糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙**
- **ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙**

補足

- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。
- パンチ穴など穴のある用紙を使用すると、紙づまりや用紙サイズの誤検知がおこる場合があります。

印刷範囲

用紙

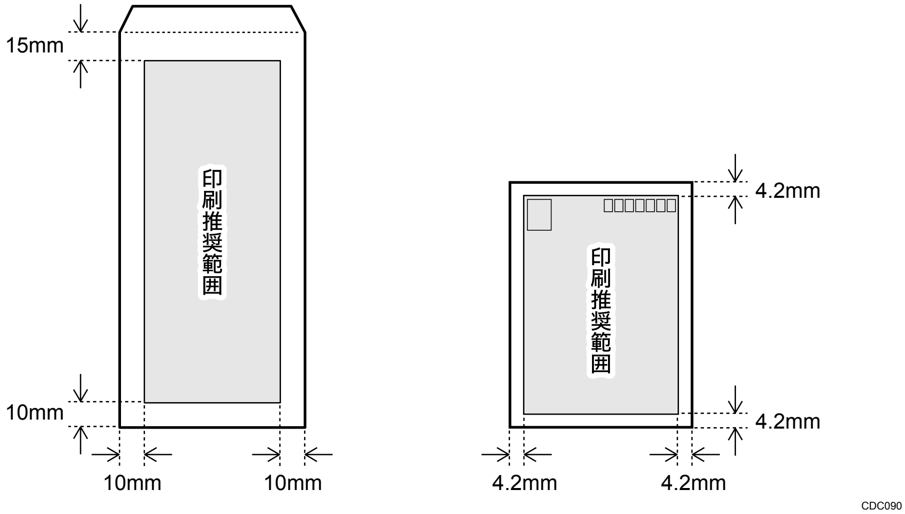


補足

- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては用紙の全面に印刷することができますが、上下左右 4.2mm ずつは品質保証対象外となります。

- 手差しトレイに長尺紙をセットしたときは、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。
- 長尺紙の印刷範囲は、給紙方向に対して長さ 900mm までです。

封筒/はがき



補足

- 封筒の表面（宛名の面）には、上の図の範囲（印刷推奨範囲）に印刷できます。裏面には印刷しないでください。

5

用紙をセットする

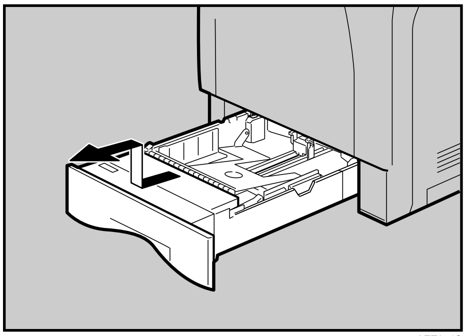
給紙トレイ（標準）、増設トレイに用紙をセットする

標準の給紙トレイと増設トレイの用紙のセット方法は同じです。ここではトレイ 1 を例に説明します。

重要

- **セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。**
- **一つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させないでください。**
- **印刷中にカバーや手差しトレイの開閉、給紙トレイの引き出しを行わないでください。**

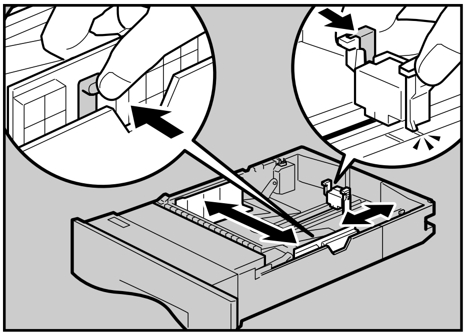
1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて給紙トレイを引き抜きます。


AET041S

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

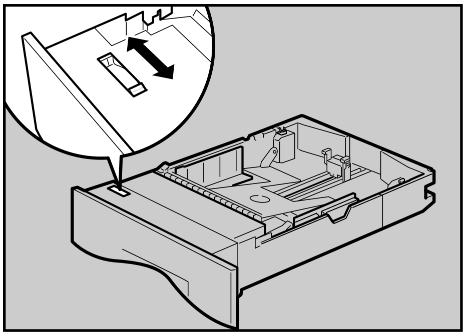
2. サイドガイドとエンドガイドを調整します。

サイドガイドの緑色のクリップをつまみながら最大幅まで広げます。次にエンドガイドの緑色のクリップをつまみながら、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。


AKQ001S

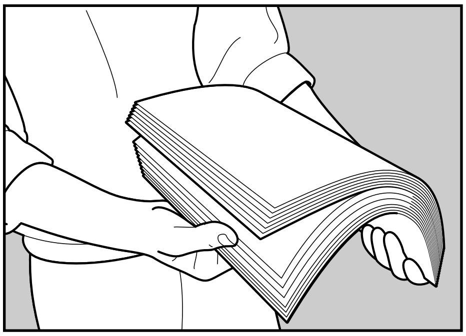
3. セットする用紙の種類に応じて、トレイ前部にある緑色の用紙圧変更スイッチを切り換えます。

紙厚が 75g/m^2（64.5kg）よりも厚い用紙をセットするときは、スイッチを左側にスライドさせます。



AET053S

4. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。

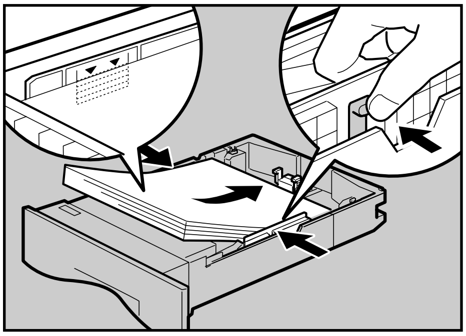


CDC073

5. 新しい用紙をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。

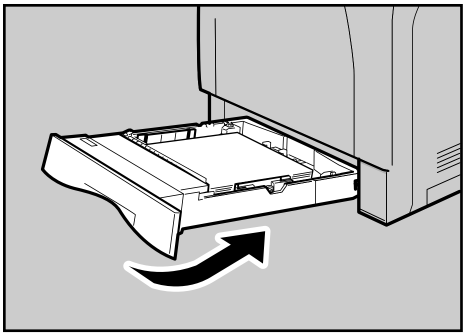
サイドガイドの緑色のクリップをつまみながら、セットした用紙の幅に合わせます。

用紙と用紙ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間がある場合は、用紙ガイドを操作して調整してください。



AKQ002S

6. 前面を持ち上げようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。



CDC074

トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

参照

- 本体給紙トレイ、500 枚増設トレイユニットにセットできる用紙については、P.115「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

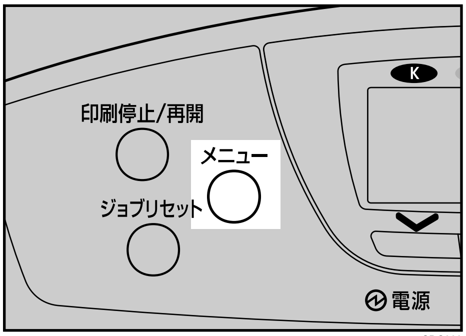
自動検知されないサイズの用紙をセットする

本体給紙トレイに B6、A6、または $5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$ の用紙をセットしたときは用紙サイズが自動検知されません。操作部で用紙サイズを設定してください。

重要

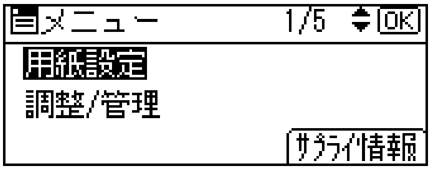
- **印刷するときは、操作部およびプリンタードライバーで、用紙サイズを必ず設定してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

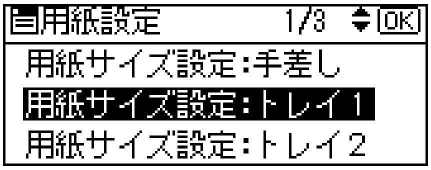


CDC008

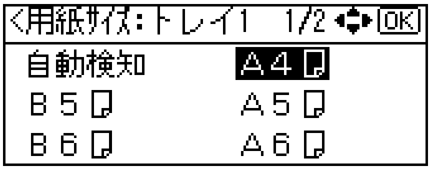
2. [▼] [▲] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。



3. [▼] [▲] キーを押して [用紙サイズ設定：トレイ 1] を選択し、[OK] キーを押します。



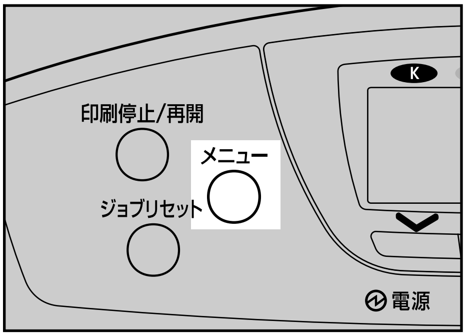
4. スクロールキーを押してセットした用紙サイズを選択し、[OK] キーを押します。



5. [メニュー] キーを押します。

自動検知されない用紙で印刷した後、用紙サイズの設定を [自動検知] に戻す場合は、用紙をセットし直してから次の手順に進みます

6. 操作部の [メニュー] キーを押します。

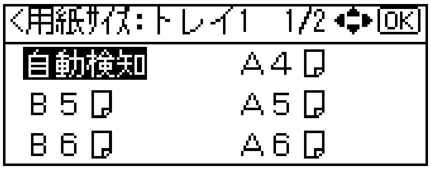


CDC008

7. [▼] [▲] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。

8. [▼] [▲] キーを押して [用紙サイズ設定：トレイ 1] を選択し、[OK] キーを押します。

9. スクロールキーを押して［自動検知］を選択し、［OK］キーを押します。



10. ［メニュー］キーを押します。

補足

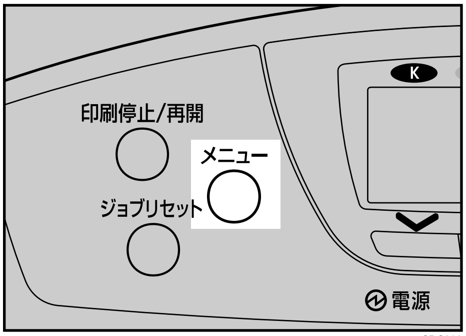
- A6の用紙サイズは、500 枚増設トレイユニットにセットすることはできません。

不定形サイズの用紙をセットする

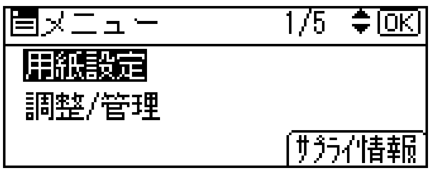
重要

- 印刷するときは、操作部およびプリンタードライバーで、用紙サイズを必ず設定してください。
- 給紙トレイにセットできる用紙サイズの範囲は以下のとおりです。
    - 本体給紙トレイ：幅 100～216mm、長さ 148～355.6mm
    - 増設トレイユニット：幅 100～216mm、長さ 210～355.6mm
- 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは印刷できません。

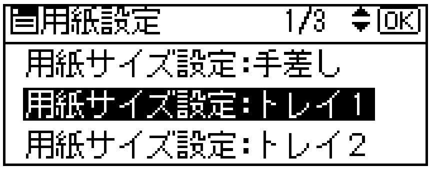
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



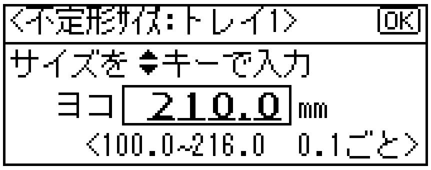
3. [▼] [▲] キーを押して [用紙サイズ設定：トレイ 1] を選択し、[OK] キーを押します。



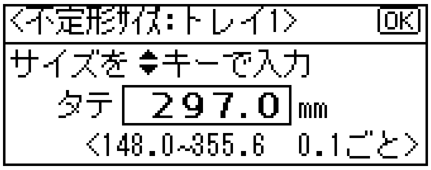
4. スクロールキーを押して [不定形サイズ] を選択し、[OK] キーを押します。



5. [▼] [▲] キーを押して給紙方向に対して横のサイズを入力し、[OK] キーを押します。



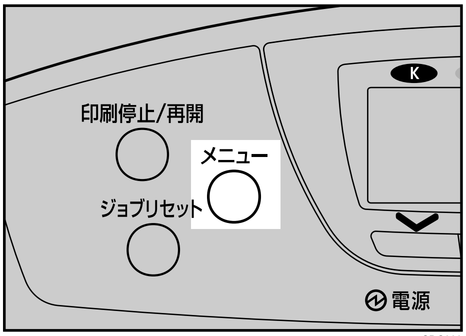
6. [▼] [▲] キーを押して給紙方向に対して縦のサイズを入力し、[OK] キーを押します。



7. [メニュー] キーを押します。

不定形サイズの用紙で印刷した後、用紙サイズの設定を [自動検知] に戻す場合は、用紙をセットし直してから次の手順に進みます。

8. 操作部の［メニュー］キーを押します。

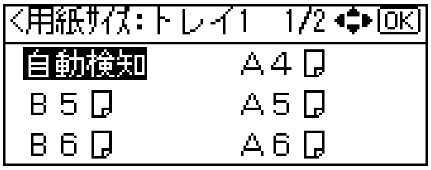


CDC008

9. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

10. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。

11. スクロールキーを押して［自動検知］を選択し、［OK］キーを押します。



12. ［メニュー］キーを押します。

用紙の種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

「+Custom」に登録した用紙種類を選択することもできます。詳しくは、P.149「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

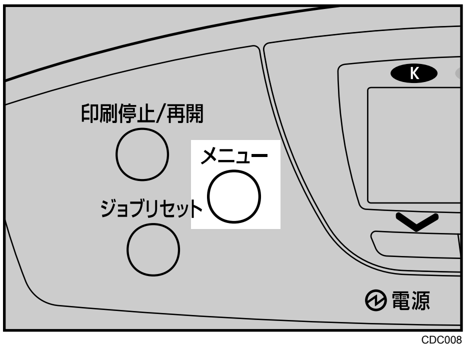
重要

- **印刷するときは、操作部およびプリンタードライバーで、用紙種類を必ず設定してください。**

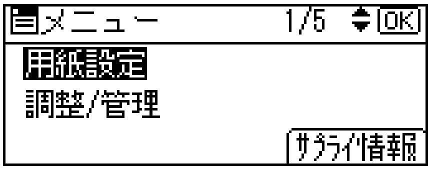
5

5

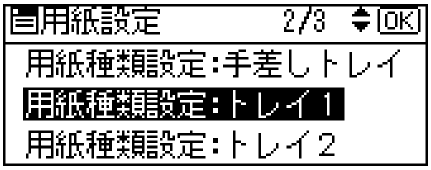
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙種類設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押してセットした用紙の種類を選択し、［OK］キーを押します。



5. ［メニュー］キーを押します。

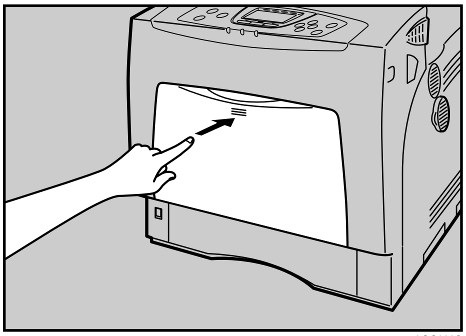
手差しトレイに用紙をセットする

重要

- 複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。

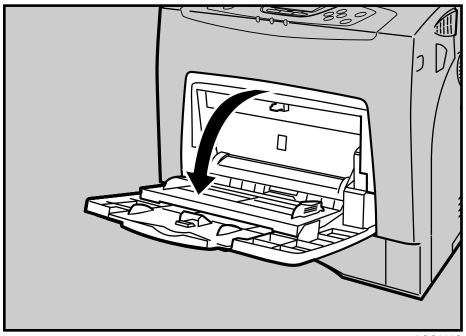
- 印刷するときは、操作部およびプリンタードライバーで、用紙サイズと用紙種類を必ず設定してください。工場出荷時の設定では、[印刷設定] の [一般設定] で [手差しトレイ設定選択] が [ドライバー/コマンド優先] に設定されているため、操作部の設定よりもプリンタードライバーの設定が優先されます。
- 用紙は印刷する面を下にしてタテ方向にセットしてください。

1. 手差しトレイの中央の目印を押します。



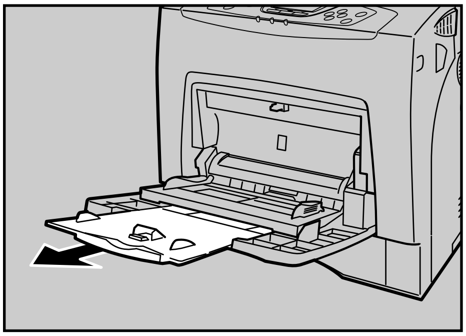
AQC002S

手差しトレイが開きます。



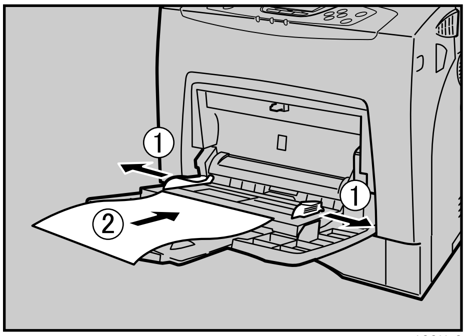
AQC003S

2. A5▯より長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。

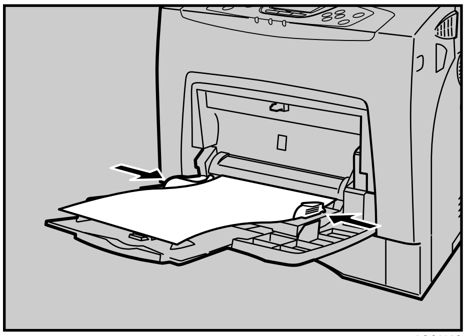


AQC004S

3. サイドガイドを広げ、印刷する面を下にして、用紙を先端が突き当たるまで差し込みます。



4. サイドガイドを用紙に押し当てます。



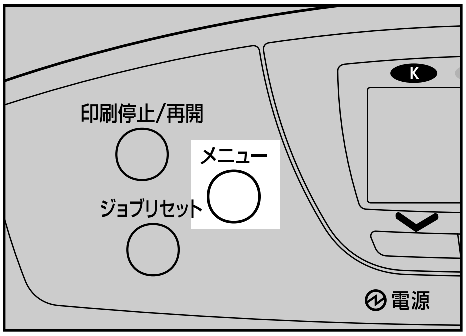
補足

- 不定形サイズの用紙をセットするときは、必ず操作部またはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。不定形サイズの設定については、「不定形サイズの用紙をセットする」を参照してください。
- 厚紙、OHP フィルム、はがきなどをセットするときは、必ず操作部またはプリンタードライバーで厚紙または OHP フィルムの設定をしてください。用紙の種類の設定については、P.145「用紙の種類を設定する」を参照してください。

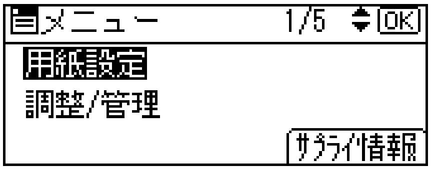
5

定形サイズの用紙をセットする

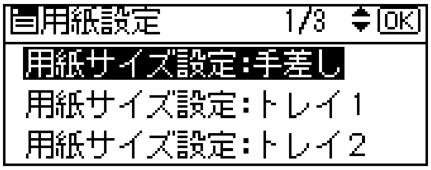
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



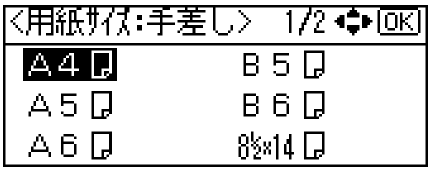
2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：手差し］を選択し、［OK］キーを押します。



4. スクロールキーを押して、セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択し、［OK］キーを押します。



5. ［メニュー］キーを押します。

不定形サイズの用紙をセットする

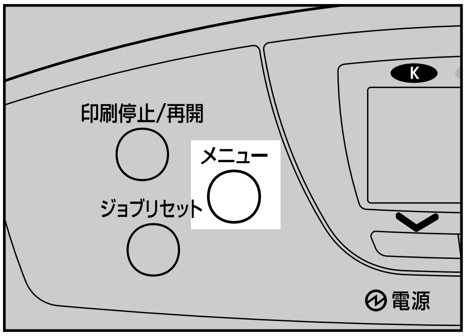
重要

- 印刷するときは、操作部およびプリンタードライバーで、用紙サイズを必ず設定してください。工場出荷時の設定では、［印刷設定］の［一般設定］で［手差しトレイ設

定選択］が［ドライバー/コマンド優先］に設定されているため、操作部の設定よりもプリンタードライバーの設定が優先されます。

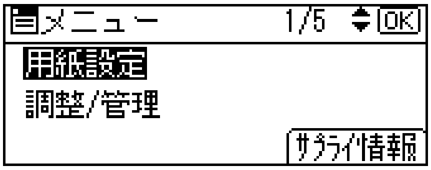
- 手差しトレイにセットできる用紙サイズの範囲は、長さ 148～900mm、幅 70～216mm です。
- 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

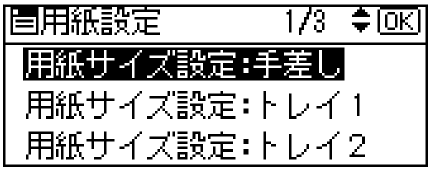


CDC008

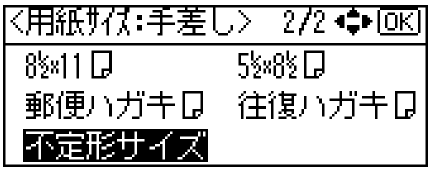
2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



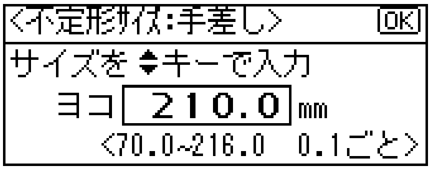
3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：手差し］を選択し、［OK］キーを押します。



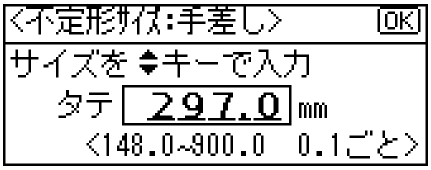
4. スクロールキーを押して［不定形サイズ］を選択し、［OK］キーを押します。



5. [▼][▲]キーを押して給紙方向に対して横のサイズを入力し、[OK]キーを押します。



6. [▼][▲]キーを押して給紙方向に対して縦のサイズを入力し、[OK]キーを押します。



7. [メニュー]キーを押します。

用紙の種類を設定する

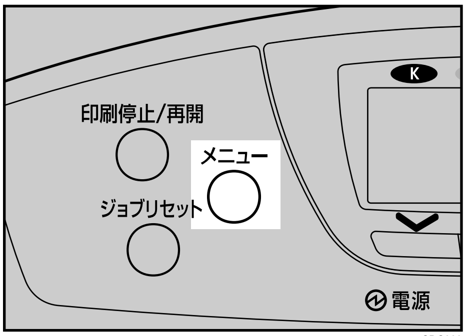
セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

「+Custom」に登録した用紙種類を選択することもできます。詳しくは、P.149「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

★重要

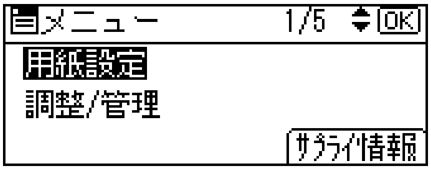
- **厚紙やラベル紙、OHP フィルムを手差しトレイにセットしたときは、必ず用紙種類を設定してください。**
- **印刷するときは、操作部およびプリンタードライバーで、用紙種類を必ず設定してください。工場出荷時の設定では、[印刷設定]の[一般設定]で[手差しトレイ設定選択]が[ドライバー/コマンド優先]に設定されているため、操作部の設定よりもプリンタードライバーの設定が優先されます。**

1. 操作部の[メニュー]キーを押します。

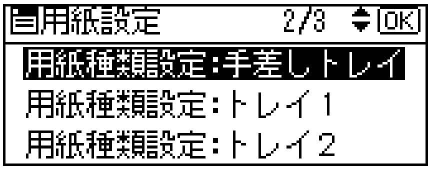


CDC008

2. [▼] [▲] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。



3. [▼] [▲] キーを押して [用紙種類設定：トレイ 1] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK] キーを押します。

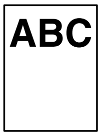
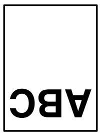
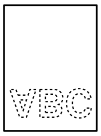
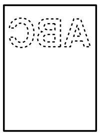
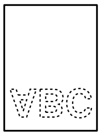
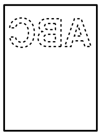
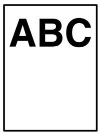
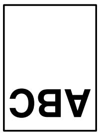


5. [メニュー] キーを押します。

天地の向き、表裏のある用紙に印刷する

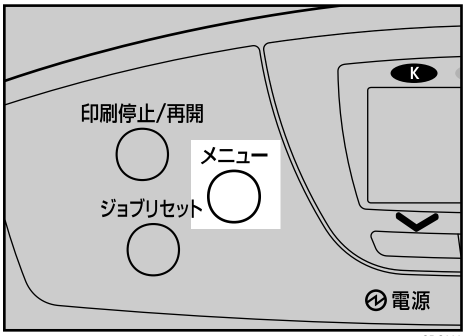
レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏のある用紙は、正しく印刷されないことがあります。操作部の [メニュー] キーを押し、[印刷設定] →[一般設定] →[レターヘッド紙使用設定] →[使用する (常時)] もしくは [使用する (自動判定)] と、[使用しない] を設定したときでは用紙のセット方向が異なります。用紙のセット方向については、以下の表を参照してください。[使用する (自動判定)] に設定したときは、RPCS プリンタードライバーの用紙種類設定で [レターヘッド付き用紙] を選択した場合にレターヘッド紙印刷を行います。

レターヘッド紙については、P.120「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

用紙のセット方向	トレイ 1~4		手差しトレイ	
	［レターヘッド紙使用設定］を使用する場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用しない場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用する場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用しない場合
片面印刷				
両面印刷				

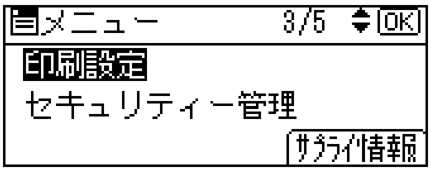
レターヘッド紙で印刷する場合は、必ず印刷設定を変更してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

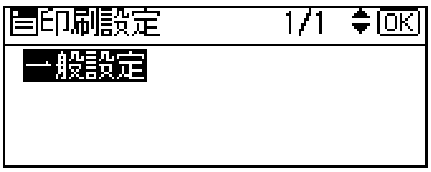


CDC008

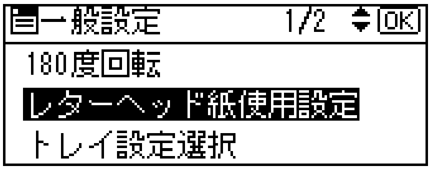
2. ［▼］［▲］キーを押して［印刷設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［一般設定］を選択し、［OK］キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して［レターヘッド紙使用設定］を選択し、[OK] キーを押します。



5. [▼] [▲] キーを押して設定を変更し、[OK] キーを押します。

設定内容は以下のとおりです。

使用する（常時）	常に一定方向に印刷します。
使用する（自動判定）	プリンタードライバーで、用紙種類が［レターヘッド付き用紙］を選択している時だけ、一定方向に印刷します。
使用しない	用紙種類やプリンタードライバーの設定に関係なく、一定の用紙方向に印刷されます。

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

用紙に独自の名前をつけて使用する

用紙種類の登録から使用するまでの流れ

用途にあった用紙種類を選び、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録し、印刷するまでの流れを説明します。

ここでは、「用紙名称」を「ハガキ」と名前をつけて登録し、手差しトレイからの印刷を例としています。

重要

- **この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。**
- **本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。**
- **RPCS プリンタードライバーで使用できます。**
- **プリンタードライバーの「設定内容の保存／呼び出し」機能には対応していません。ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバーの表示が「普通紙」に置き換わります。**
- **ご使用になっているプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリン タードライバーで文字が正しく表示されない場合があります。**
- **英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。**
- **ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。**

「用紙名称」を「ハガキ」として手差しトレイから印刷する場合のステップ 1~4

1. Web Image Monitor で、用紙種類に名前をつけて登録します。印刷する際、登録したユーザー用紙種類の名称をプリンタードライバーで選択すると、用紙種類が自動で選択されます。

   「用紙名称」に「ハガキ」と名前をつけ、「用紙種類」は「厚紙 2」を選びます。

   設定について詳しくは、P.150「用紙種類に名前をつけて登録する」を参照してください。
2. Web Image Monitor で、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

   手差しトレイの用紙種類を「✚ハガキ（Custom 1）」に設定します。

   設定について詳しくは、P.151「トレイにユーザー用紙種類を設定する」を参照してください。
3. 本機の給紙トレイに使用したい用紙をセットします。

   手差しトレイにはがきをセットします。

   設定について詳しくは、P.133「用紙をセットする」を参照してください。
4. RPCS プリンタードライバーで、登録した用紙種類に印刷をします。

「用紙種類」から「**+**ハガキ」を選び、印刷します。「用紙種類」として「**+**ハガキ」を選択することで、はがきを印刷するときに適した厚紙 が自動で設定されることになります。用途に合った名称をつけることができるので、用紙選択が容易になります。

設定について詳しくは、P.152「登録した用紙種類に印刷をする」を参照してください。

補足

- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。
- 双方向通信の働く条件に関しては、『ソフトウェアガイド』「双方向通信が働く条件」を参照してください。

用紙種類に名前をつけて登録する

Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

重要

- **英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示 されない場合があります。**

1. Web ブラウザーを起動し、Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力します。

2. Web Image Monitor のトップページで、［ログイン］をクリックします。

3. ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

4. 画面左のメニューから［設定］をクリックします。

5. ［機器］エリアの［ユーザー用紙種類］をクリックします。

6. 以下の項目を設定します。

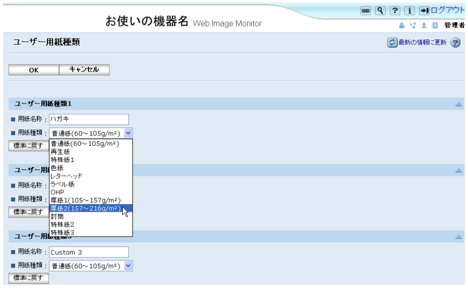
はがきに印刷する場合を例にして説明します。

- 用紙名称：用紙の用途を判別できるような名称を入力します。

  「ハガキ」と入力します。

- 用紙種類：用途にあった用紙の種類をドロップダウンメニューから選びます。

  「厚紙 2」を選択します。はがきを印刷する場合は、用紙種類として「厚紙 2」を設定しておきます。設定が不適切な場合、紙づまりなどの原因になります。



7. ［OK］をクリックします。

補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。
- 使用する用紙と用紙種類との関係については、P.120「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

5

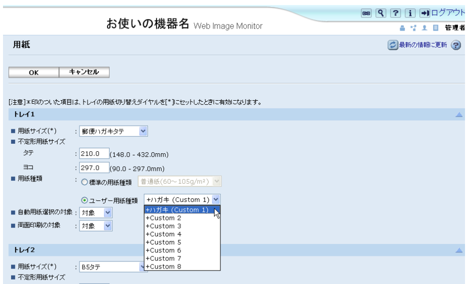
トレイにユーザー用紙種類を設定する

給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor、または本機の操作部を使って、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

Web Image Monitor からトレイの設定をする

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。
2. 画面左のメニューから［設定］をクリックします。
3. ［機器］エリアの［用紙］をクリックします。
4. 設定したいトレイの［用紙種類：］をユーザー用紙種類にして、登録しておいた用紙種類の名称を選びます。



先程登録した「ハガキ」は［+ハガキ（Custom 1)］と表示されています。ここでは例として、手差しトレイにユーザー用紙種類「ハガキ」を設定しました。

必要に応じてその他の項目を設定します。

5. ［OK］をクリックします。

6. ［ログアウト］をクリックします。

7. Web ブラウザーを閉じます。

補足

- 給紙トレイに用紙をセットする方法については、P.133「用紙をセットする」を参照してください。
- 用紙種類を本機の操作部から設定する方法については、P.139「用紙の種類を設定する」を参照してください。

5

登録した用紙種類に印刷をする

重要

- **RPCS プリンタードライバーで使用できます。**
- **本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。**
- **「設定の保存／呼び出し」機能には対応していません。ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバーの表示が「普通紙」に置き換わります。**
- **ご使用になっているプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されない場合があります**
- **ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。**

1. 印刷する文書に印刷指示をします。

2. プリンタードライバーの印刷設定の［印刷設定］タブで、［用紙種類：］から登録しておいた用紙種類を選択します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷設定］タブをクリックします。

3. 印刷の指示をします。

あらかじめ登録しておいた設定で印刷されます。

補足

- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

6. 消耗品の交換

消耗品はお早めにお求めくださることをお勧めします。消耗品をお買い求めの際は、P.227「消耗品一覧」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

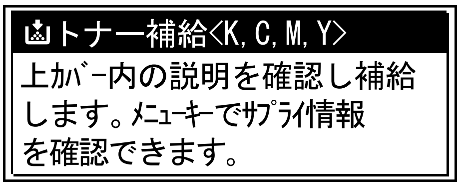
- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換してください。





また、次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しいトナーカートリッジを用意してください。

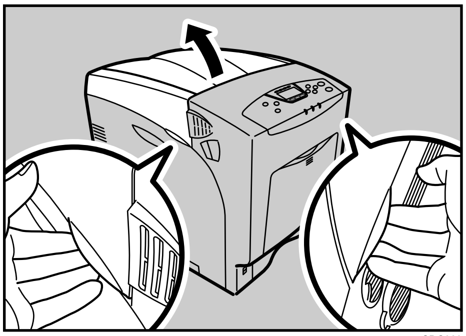


「トナーがなくなりました」「トナー残りわずか」のメッセージには、残り少なくなったトナーの色として、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの 1~4 色の組み合わせが表示されます。

重要

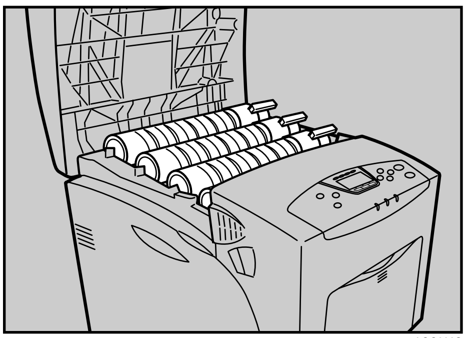
- **トナーカートリッジを取り外すときは、トナーを落とさないように静かに行ってください。**
- **トナーカートリッジは無理に押し込まないでください。**
- **トナーカートリッジを斜めに立てかけたり逆さまにしないでください。**
- **トナーカートリッジは冷暗所に保管してください。**
- **トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡してください。**

1. **上カバーの左右の取っ手をつかみ上カバーを開けます。**



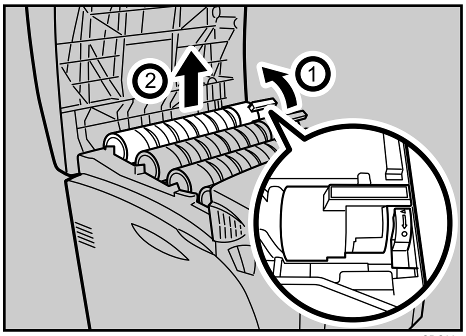
CDC083

奥から、イエロー（Y）、シアン（C）、マゼンタ（M）、ブラック（K）の順にトナーカートリッジがセットされています。



AQC008S

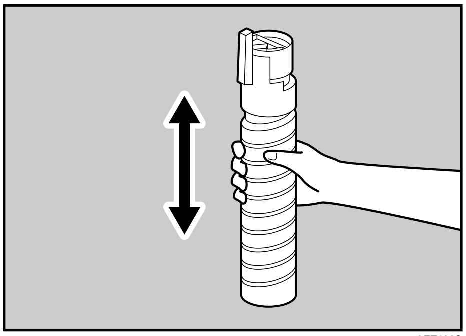
2. 交換する色のトナーカートリッジを取り外します。トナーカートリッジの固定レバーを三角マークの位置に回転させ（①)、トナーカートリッジを取り外します（②)。



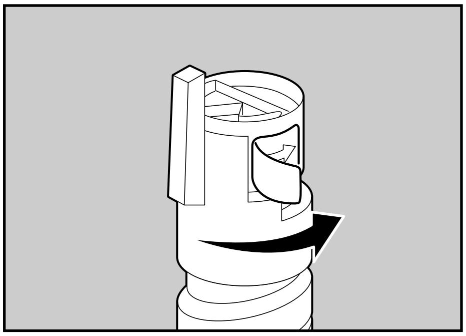
CDC084

3. 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

4. トナーカートリッジを上下にかるく 7、8 回振ります。


AET132S

5. トナーカートリッジの固定テープをはがします。

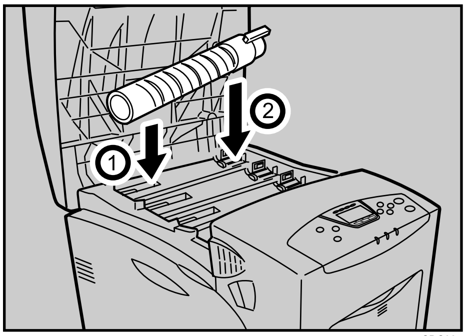

AET133S

固定テープをはがした後は、トナーカートリッジを振らないでください。

トナーが飛散しないよう、トナーカートリッジの取り扱いに注意してください。

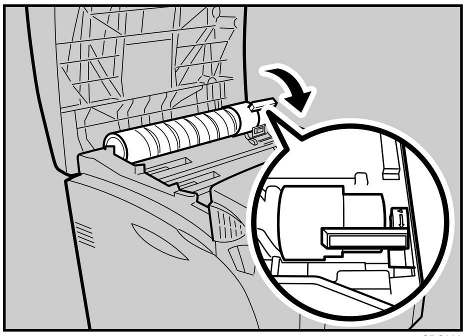
6

6. トナーカートリッジをセットします。固定レバーが上になるよう、トナーを水平に保ち、トナーカートリッジの底から先に取り付け（①)、固定レバーを三角マークの位置に合わせます（②)。



CDC085

7. 固定レバーを回転させて、○マークの位置に合わせます。



CDC086

固定レバーを本機に押しつけるようにして動かすと、固定レバーはスムーズに回転します。

8. 上カバーを閉めます。

操作部に「トナー補給中」のメッセージが表示されますので、しばらくお待ちください。

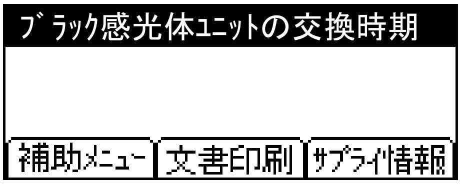
ご使用後のトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

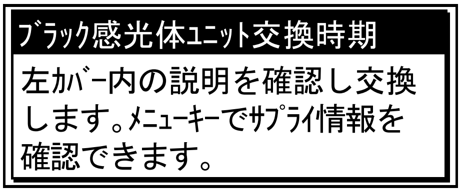
感光体ユニットを交換する

操作部に次のメッセージが表示されたときは、感光体ユニットを交換してください。

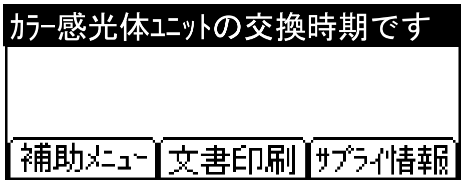
感光体ユニットの交換方法については、新しい感光体ユニットに同梱されている交換手順書を参照してください。

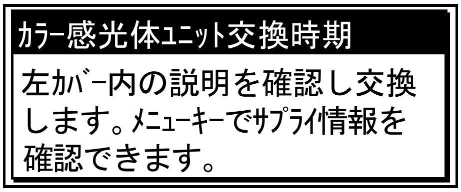
- ブラック感光体ユニットの交換メッセージ





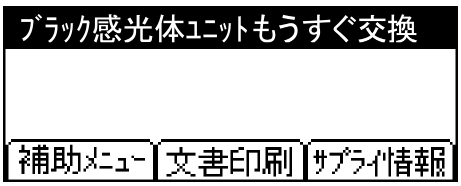
- カラー感光体ユニットの交換メッセージ



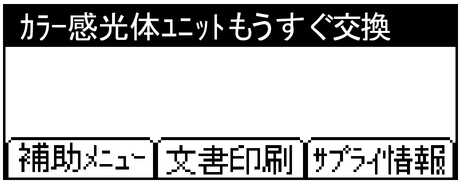


また、次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しい感光体ユニットを用意してください。

- ブラック感光体ユニットのメッセージ



- カラー感光体ユニットのメッセージ



重要

- 感光体ユニットは長時間光に当てると性能が低下します。交換は速やかに行ってください。
- 感光体ユニットを外すときは、一気に引き抜くと落下しますので注意してください。
- 感光体ユニットの表面に傷を付けないようにしてください。
- 開いた左カバーや中カバーの上にはものを載せないでください。

廃トナーボトルを交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

⚠注意

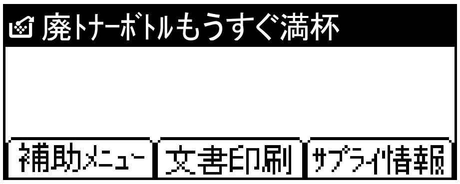
- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

操作部に次のメッセージが表示されたときは、廃トナーボトルを交換してください。

廃トナーボトルの交換方法については、新しい廃トナーボトルに同梱されている交換手順書を参照してください。

廃トナーボトル満杯
左ｶﾊﾞｰ内の説明を確認し交換
します。ﾒﾆｭｰｷｰでｻﾌﾟﾗｲ情報
を確認できます。

また、次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しい廃トナーボトルを用意してください。



重要

- 廃トナーの再利用はできません。
- 廃トナーボトルは消耗品ですので、常に予備のボトルを購入しておかれることをお勧めします。
- 取り出した廃トナーボトルで床等を汚さないように紙等を敷いて作業してください。

7. 清掃

プリンターの清掃について説明します。

清掃するときの注意

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意

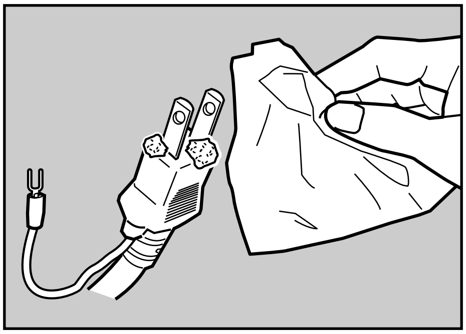


- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意



- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



ZKDH700J

プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

まず、やわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。
- プリンターの内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

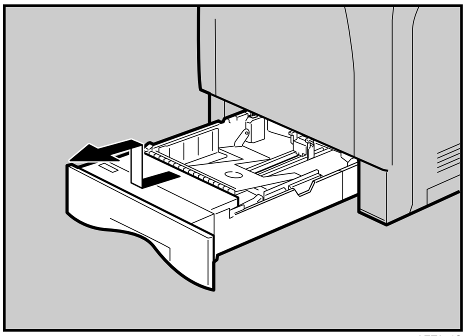
フリクションパッドを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出てフリクションパッドが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドを清掃します。

重要

- **アルコールや洗浄剤などは使わないでください。**

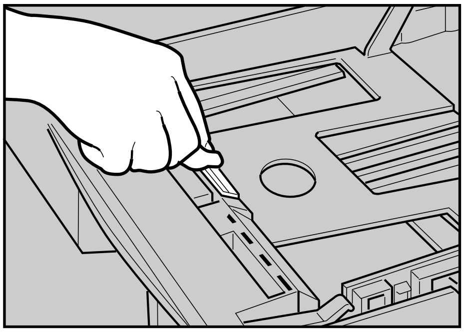
1. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて給紙トレイを引き抜きます。



AET041S

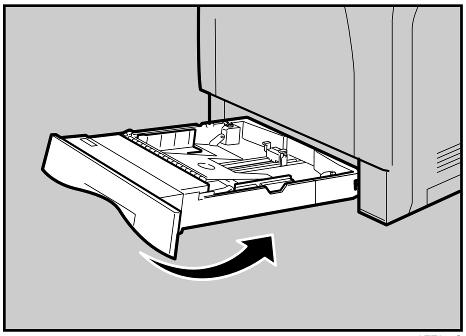
2. 水平な場所にトレイを置き、セットしている用紙を取り出します。

3. 水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。



ZKDY700J

4. 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。



AET045S

用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

補足

- フリクションパッドを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、サービス実施店に連絡してください。
- オプションの 500 枚増設トレイユニット取り付けているときは、本機のフリクションパッドと同じように、500 枚増設トレイユニットのフリクションパッドも清掃してください。

給紙コロを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て給紙コロが汚れると、用紙が送られなかったり、つまったりする原因になります。その場合、給紙コロを清掃します。

⚠注意

- プリンター本体は約 50kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を 4 人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

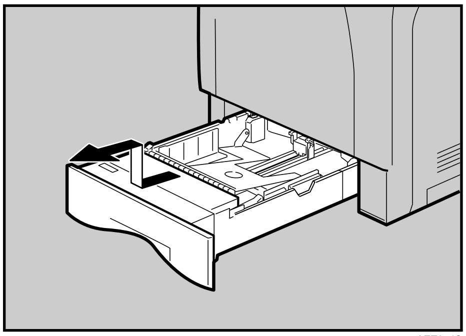
★重要

- **アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。**

1. 本機の電源を切ります。

2. 電源プラグをコンセントから抜き、インターフェースケーブルを本機から取り外します。

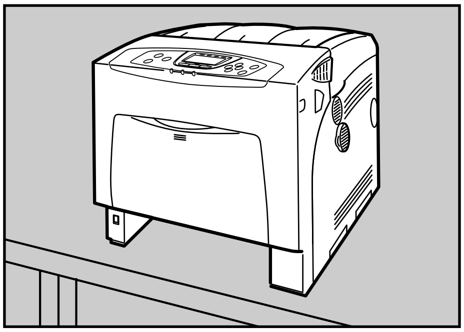
3. 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて給紙トレイを引き抜きます。



AET041S

4. 本機を机の端に移動させます。

本機の移動方法については、P.223「移動」を参照してください。

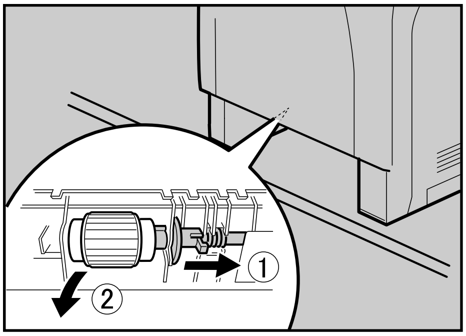


AQC017S

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

500 枚増設トレイユニットを取り付けているときは、本機だけを持ち上げ、500 枚増設トレイユニットから確実に離れたことを確認してから、本機を移動させてください。

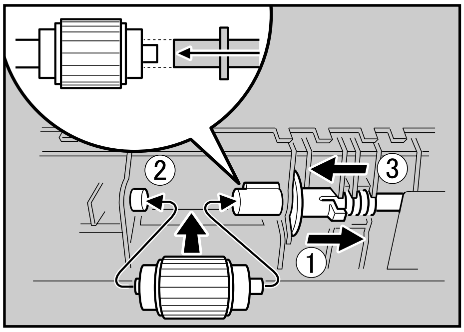
5. 給紙コロ固定レバー（緑色）を右側にスライドさせて（①）、給紙コロを取り外します（②）。



AET402S

6. 水を固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。

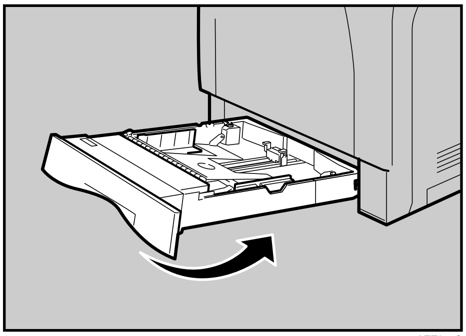
7. 給紙コロ固定レバー（緑色）を右側にスライドさせた状態で（①）、給紙コロをくぼみに入れ（②）、レバーを戻します（③）。



AET401S

緑色の給紙コロ固定レバーの先が、給紙コロの突起部分を完全に覆っていることを確認してください。覆っていない場合は、給紙コロを回しながらレバーを軽く戻し、固定してください。

8. 本機を設置場所に戻し、給紙トレイを本機にゆっくりとセットします。



AET045S

用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

9. 電源プラグをコンセントに差し込み、インターフェースケーブルを接続します。

10. 本機の電源を入れます。

補足

- オプションの 500 枚増設トレイユニットを取り付けているときは、本体給紙トレイ用の給紙コロと同様の手順で、給紙コロを取り外して清掃してください。

レジストローラー周辺を清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。紙粉によって、印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラー周辺の紙粉を清掃してください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

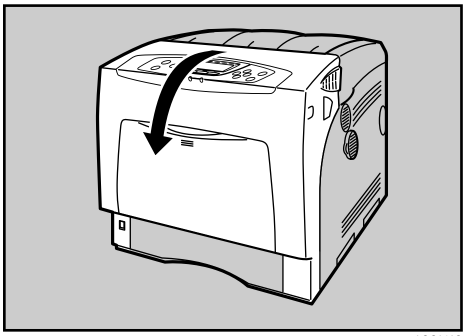
⚠注意

- レジストローラー周辺を清掃するときは、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

★重要

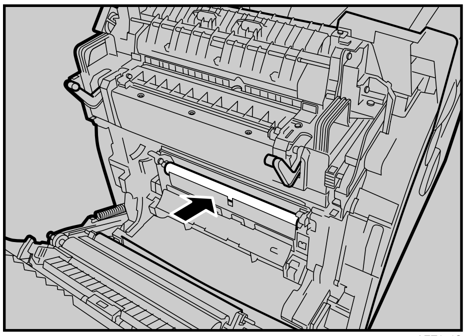
- **アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。**
- **清掃時に転写ローラーや中間転写ユニットのベルト部分には触れないでください。**

1. 本機の電源を切ります。
2. プリンター本体の前カバー（A）を、左右のレバーを引いてゆっくりと開けます。



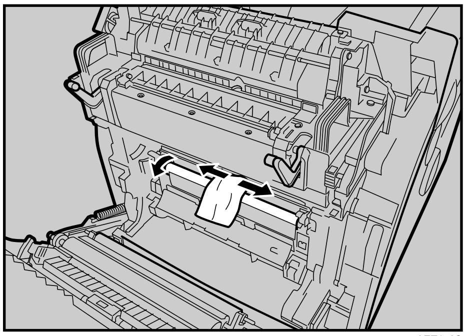
AQC018S

レジストローラーは図の矢印の先の位置にセットされています。



AET171S

3. 水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを左右に動かして回しながら拭きます。



AET172S

4. 前カバー（A）を閉めます。

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

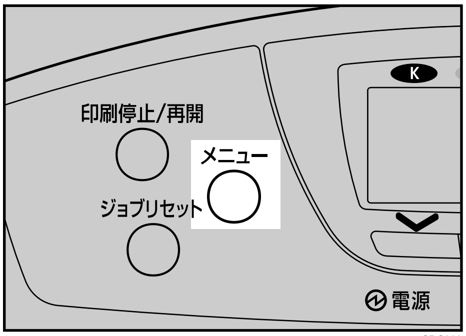
8. 調整

プリンターの調整について説明します。

色ずれを補正する

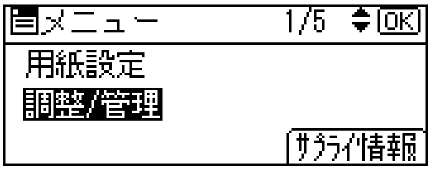
本機を移動したときや厚紙を印刷したとき、または通常の印刷を繰り返しているうちに、カラー原稿を印刷すると色ずれが発生することがあります。このとき、色ずれ自動補正を行うことにより適正な印刷結果を得ることができます。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

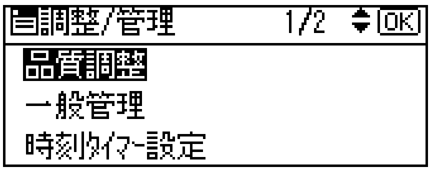


CDC008

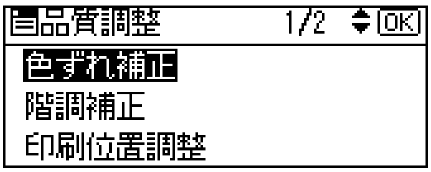
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整/管理］を選択し、［OK］キーを押します。



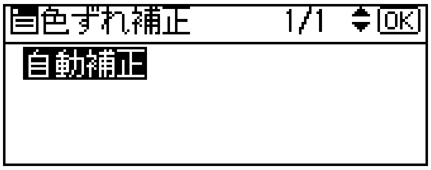
3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。



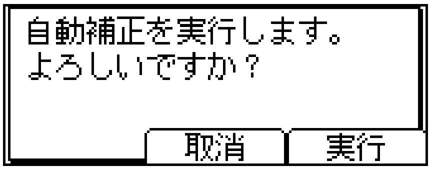
4. ［▼］［▲］キーを押して［色ずれ補正］を選択し、［OK］キーを押します。



5. [OK] キーを押します。



6. [実行] の選択キーを押します。



色ずれ自動補正の実行時間は約 50 秒です。終了すると確認のメッセージが表示されます。

7. [メニュー] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

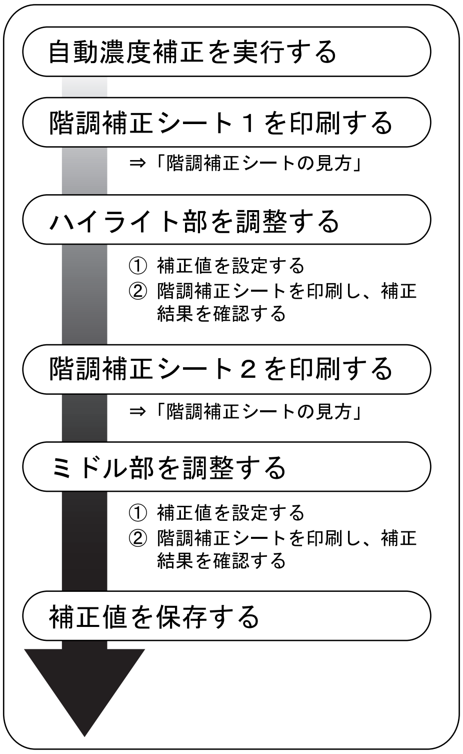
カラー階調を補正する

印刷を繰り返しているうちに色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わるなど、カラー印刷の階調は、いろいろな要素で変化します。その場合、カラー階調を補正することにより、適切な階調の印刷結果を得ることができます。

補足

- 通常は特に設定する必要はありません。
- 1 回の操作で補正しきれないときは、必要に応じて数回補正を繰り返してください。
- 階調補正を行うと、印刷するすべてのユーザーの印刷結果に反映されます。
- 一連の操作で使用する階調補正シートの用紙は、同じ種類の用紙を使用してください。違う種類の用紙を使用すると正確に補正されません。
- 本体に同梱のカラー階調補正値設定シートが必要です。

カラー階調の補正は次の流れで行います。

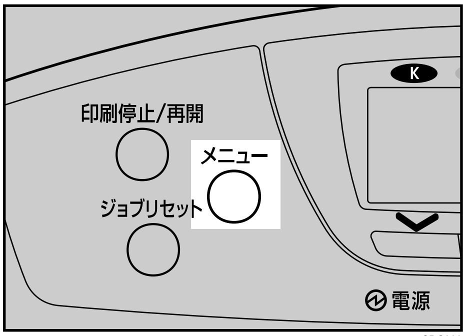


階調の補正値を設定する

印刷されたときに明るい部分（ハイライト部）と、中間の部分（ミドル部）の 2 つの部分の階調を補正します。

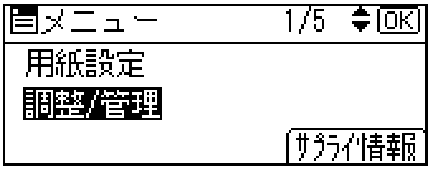
8

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

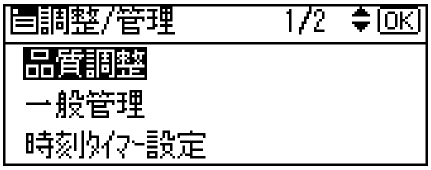


CDC008

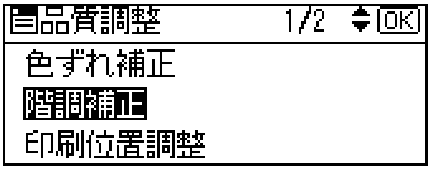
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整/管理］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。

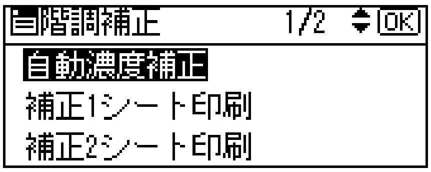


4. ［▼］［▲］キーを押して［階調補正］を選択し、［OK］キーを押します。



補正 2 だけを実行する場合は、手順 15 に進んでください。

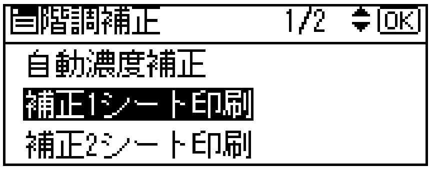
5. 自動濃度補正を実行します。［自動濃度補正］が表示されていることを確認し、［OK］キーを押します。



6. ［実行］の選択キーを押し、自動濃度補正を実行します。

7. 自動濃度補正が完了すると、確認のメッセージが表示されます。[確認] の選択キーを押します。

8. 補正 1 を実行します。[▼] [▲] キーを押して [補正 1 シート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。



9. [印刷] の選択キーを押し、階調補正シート 1 を印刷します。

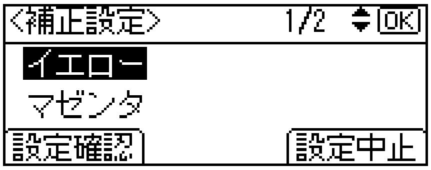


10. 階調補正シート 1 の印刷が終了したら、補正 1 を設定します。[補正] の選択キーを押します。

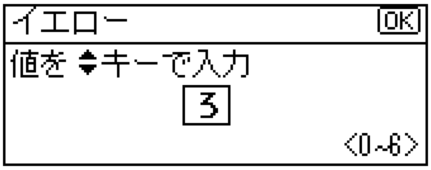
11. 補正 1 でハイライト部の階調の補正値を設定します。

K（ブラック）の場合は、カラー階調補正値設定シートの階調補正 1 の色見本（K）に補正値設定シート 1 の「K の調整」の補正値（0~6）を重ね、もっとも近い色の数値を▲キー、▼キーで設定します。 補正値は本体に同梱されているカラー階調補正値設定シートと前の手順で印刷された階調補正シート 1 を使用して設定します。

12. [▼] [▲] キーを押し目的の色を選択し、[OK] キーを押します。

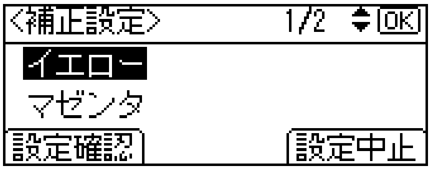


13. [▼] [▲] キーで補正値を入力し、[OK] キーを押します。

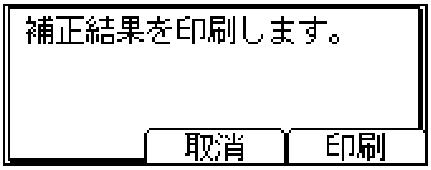


8

14. すべての設定が終わったら、［設定確認］の選択キーを押し、補正結果を印刷します。

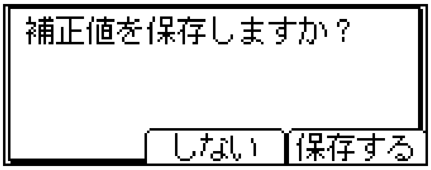


［印刷］の選択キーを押します。



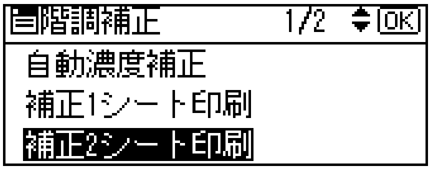
15. 印刷された階調補正シート 1 を確認します。補正値を保存して終了する場合は、［保存する］の選択キーを押します。

補正値を保存しないで終了する場合は、［しない］の選択キーを押します。保存しないで終了した場合は、補正値が反映されません。



これで補正 1 の設定は終了です。補正 2 に進みます。

16. ［▼］［▲］キーを押して［補正 2 シート印刷］を選択し、［OK］キーを押します。



17. ［印刷］の選択キーを押し、階調補正シート 2 を印刷します。



18. 補正 1 の階調の補正値設定と同様の操作を行い、補正 2 でミドル部の階調の補正値を設定します。

19. すべての設定が終わったら［メニュー］キーを押します。

カラー階調補正値設定シートと階調補正シートの見かた

カラー階調補正値設定シートにはハイライト部設定用の色見本「階調補正 1」欄とミドル部設定用の色見本「階調補正 2」欄があります。

階調補正シートには、ハイライト部設定用の「階調補正シート 1」とミドル部設定用の「階調補正シート 2」の 2 種類があります。「階調補正シート 1」は補正 1 で、「階調補正シート 2」は補正 2 で使用します。

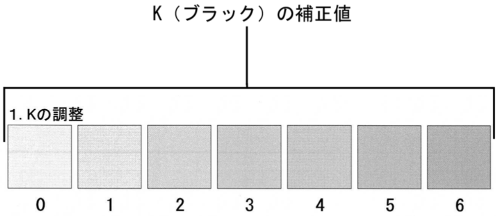
色見本と補正値

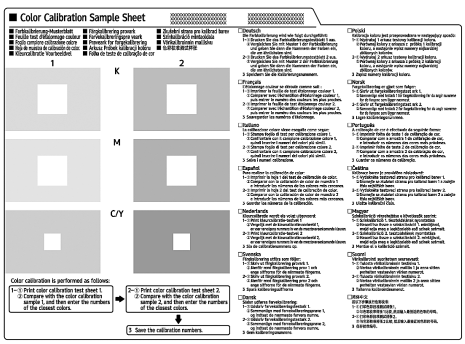
カラー階調補正値設定シートの色見本と階調補正シートの補正値の見方について説明します。

K（ブラック）の設定方法を例に説明しています。設定方法は M（マゼンタ）の場合も同様です。C/Y（シアン/イエロー）は、2 色を組み合わせた状態で補正値を決めますが、パネル上では 1 色ずつ設定します。

補足

- カラー階調補正値設定シートの階調補正 1 の色見本（K）に補正値設定シート 1 の「K の調整」の補正値（0〜6）を重ね、色見本ともっとも近い補正色を見つけ、その補正値を操作パネルで設定します。現在設定されている補正値は赤色で印刷されます。



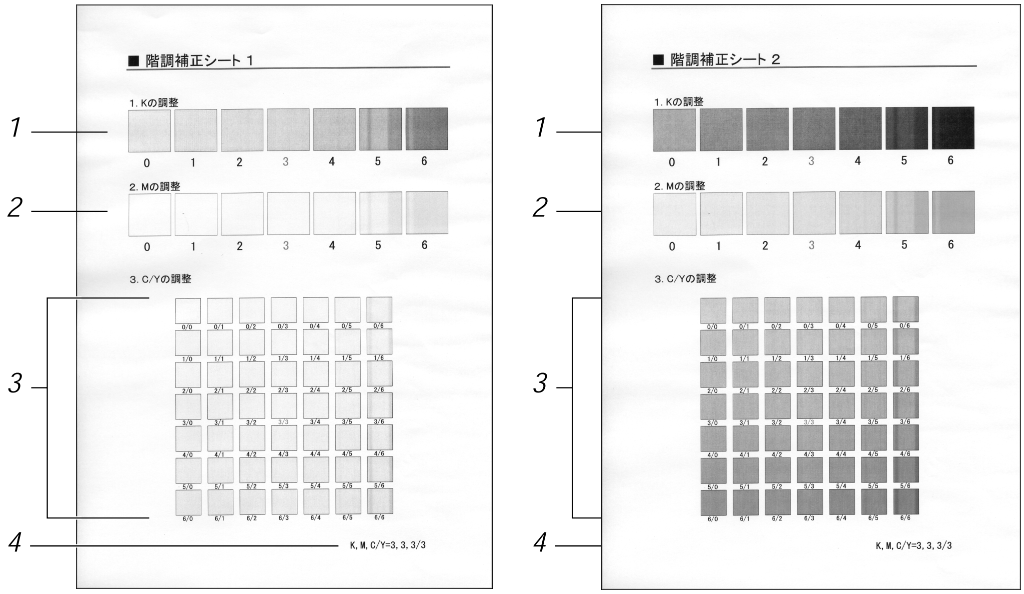


階調補正シートとパネル表示の関係

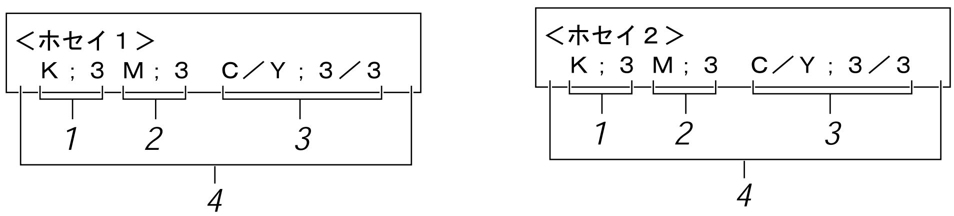
印刷した階調補正シートとパネル表示は次の図のように対応しています。

階調補正は、K（ブラック）、M（マゼンタ）、C（シアン）/Y（イエロー）の各色の補正値を階調補正シートを見て決め、操作パネルで設定します。

階調補正シート



パネル表示（補正値設定画面）



1. K（ブラック）の調整

ブラックのトナー１色のみを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

2. M（マゼンタ）の調整

マゼンタのトナー１色のみを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

3. C（シアン）／Y（イエロー）の調整

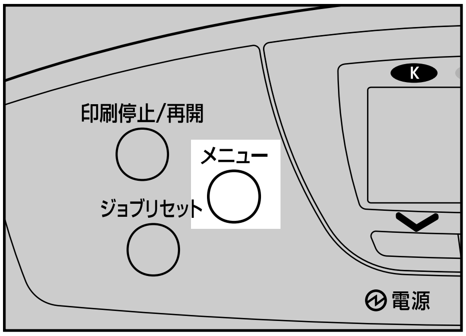
シアンとイエローを使用したときに印刷される色を補正します。シアンとイエローは、２色を組み合わせた状態で補正値を決めますが、パネル上では１色ずつ設定します。

4. 設定値

階調補正シート印刷時に設定されている数値が表示されます。操作パネルで設定した数値と対応します。

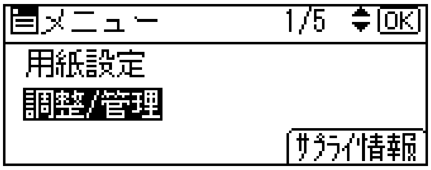
階調の補正値を初期値に戻すには

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

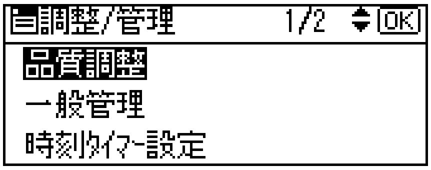


CDC008

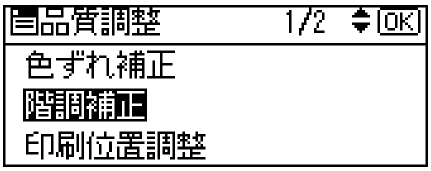
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整/管理］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。



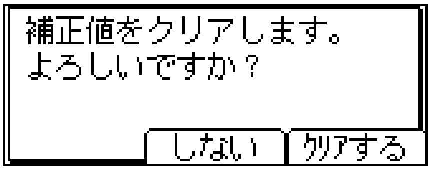
4. ［▼］［▲］キーを押して［階調補正］を選択し、［OK］を押します。



5. ［▼］［▲］キーを押して［補正値クリア］を選択し、［OK］キーを押します。



6. ［クリアする］の選択キーを押し、補正値をクリアします。



7. 階調補正値が初期値に戻ったことを示すメッセージが表示されます。［確認］の選択キーを押します。

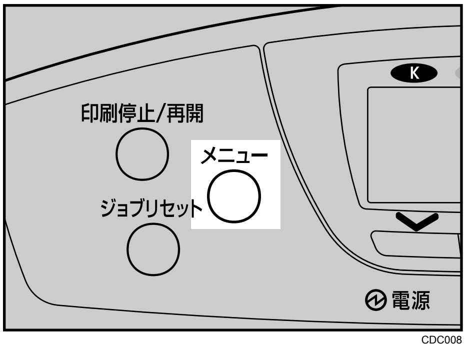


8. ［メニュー］キーを押します。

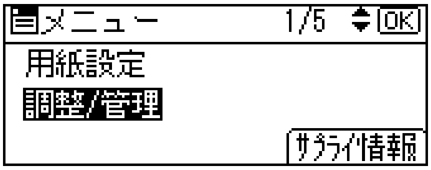
印刷位置を調整する

トレイごとの印刷位置を合わせるために印刷位置を調整することができます。縦横の方向は各トレイ共通です。通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの 500 枚増設トレイユニットを取り付けたときに調整します。

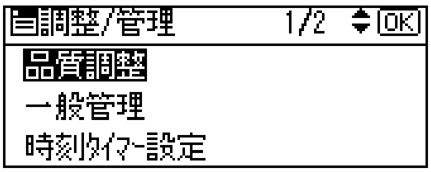
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



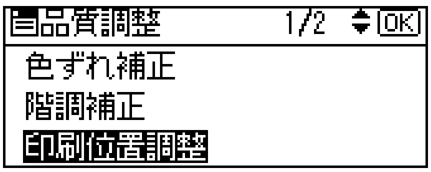
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整/管理］を選択し、［OK］キーを押します。



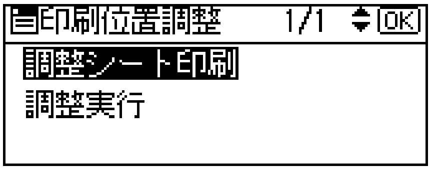
3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。



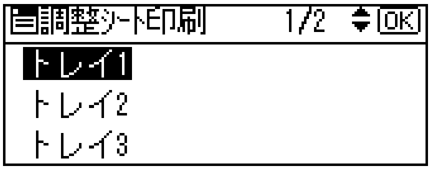
4. ［▼］［▲］キーを押して［印刷位置調整］を選択し、［OK］キーを押します。



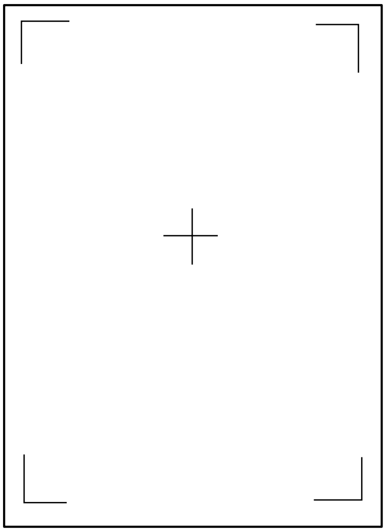
5. 印刷位置を調整するための目安とする調整シートを印刷します。［調整シート印刷］が表示されているの確認して、［OK］キーを押します。



6. ［▼］［▲］キーを押して調整するトレイを選択し、［OK］キーを押します。



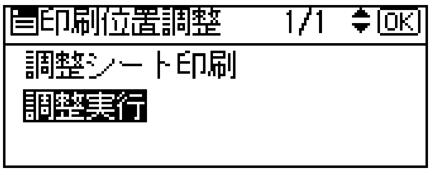
7. 印刷した調整シートを確認して、実際に印刷位置を調整します。



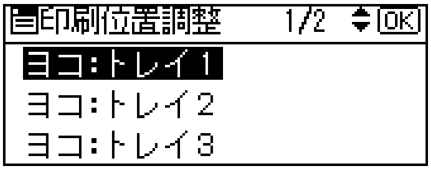
ここでの設定は調整シートの余白部分が等しくなるように調整します。

8. ［戻る］キーを押します。

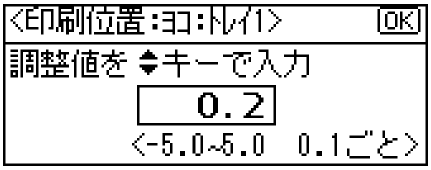
9. ［▼］［▲］キーを押して［調整実行］を選択し、［OK］キーを押します。



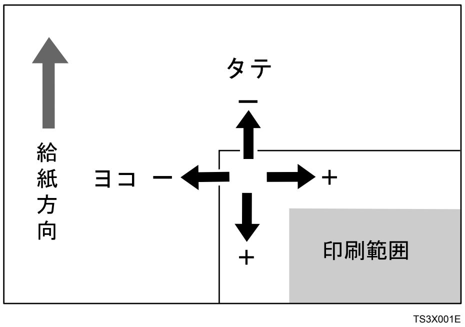
10. [▼] [▲] キーを押して調整するトレイを選択し、[OK] キーを押します。



11. [▼] [▲] キーを押して、数値（単位 mm）を現在の設定から変更します。



数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を–方向にずらして印刷します。



12. [OK] キーを押します。

13. [戻る] キーを押します。

14. [▼] [▲] キーを押して [調整シート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。

15. 手順 5～手順 6 を行い、調整した結果を確認します。

16. [メニュー] キーを押します。

9. 困ったときには

困ったときの対処方法や思いどおりに印刷できないときの対処方法について説明します。

操作部にメッセージが表示されたとき

操作部のディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、以下の表を参考にして対処してください。

補足

- 「エラーコードが表示されるメッセージ」は、システム設定メニューの［エラー表示設定］を［すべて表示］に設定すると、画面に表示されるようになります。
- 省エネモード中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージは表示されません。
- エラーメッセージが表示されたまま省エネモードに移行すると、エラーの対処を行ってもメッセージは消えません。その場合は操作部のいずれかのボタンを押して、省エネモードを解除してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
印刷中です	印刷実行中です。
印刷停止中です	印刷中に［印刷停止/再開］キーが押されました。印刷を停止しています。
印刷できます	印刷可能な状態です。
印刷データ待ち	データ待ちの状態です。しばらくお待ちください。
オフライン	印刷を実行するときは、［印刷停止/再開］キーを押して、オンライン状態にしてください。
おまちください	準備中または定着クールダウン中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
省エネモード	省エネモード中です。
証明書更新中	@Remote 証明書の更新中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
ジョブリセット中です	印刷ジョブをリセット中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
設定変更中です	設定変更中です。
停止中ジョブあり	リモートから印刷停止指示がありました。機器内にあるすべての印刷ジョブが一時停止中です。

メッセージ	状態
ヘキサダンプ	16 進数でデータを印刷できるモードです。 印刷終了後に電源を切り、再度電源を入れてください。

エラーコードが表示されないメッセージ

アルファベット順

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
：A A ボタンでカバーを開け用紙を取り除いてください。	本機の内部、または給紙部で紙づまりが発生しました。	前カバー（A）を開けて用紙を取り除いてください。または、給紙トレイを引き出して用紙を取り除いてください。 P.215「紙づまり（A）が発生したとき」を参照してください。
DHCP サーバーからアドレスが取得できません	DHCP サーバーに接続できません。	DHCP サーバーが動作しているか、イーサネットケーブルが外れていないかなど、DHCP サーバーとの接続状態を確認してください。また、DHCP サーバーをお使いにならない場合は、DHCP の設定を Off にしてください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。
IPv4 アドレスが重複しています	ネットワーク内に同じ IPv4 アドレスを持つ機器が存在します。	本機のインターフェース設定で、重複しない IPv4 アドレスに設定し直してください。管理者に連絡してください。
IPv6 アドレスが重複しています / リンクローカルアドレス / ステートレスアドレス / 手動設定アドレス	ネットワーク内に同じ IPv6 アドレスを持つ機器が存在します。	管理者に連絡してください。
IPv6 アドレス、ゲートウェイに不正な値が設定されています。	IPv6 アドレス、ゲートウェイアドレスの値が正しくありません。	IPv6 アドレス、ゲートウェイアドレスの設定を確認してください。管理者に連絡してください。
PDF ファイルエラー	構文エラーなどが発生しました。	印刷しようとしている PDF ファイルが正しいかどうか確認してください。

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
PS3 モジュールが故障しています / サービスにご連絡ください	拡張エミュレーションモジュールに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
SDRAM モジュールを認識できません / サービスにご連絡ください	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換するか電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
SD カードがセットされていません。 / 管理者にご連絡ください。	ハードディスク上書き消去機能の SD カードがセットされていません。	SD カードが抜けてないか、正しくセットされているか確認してください。確認後、電源を入れ直してもメッセージが消えないときは管理者もしくはサービス実施店に連絡してください。
SD カードからの認証に失敗	拡張エミュレーションカードもしくはデジタルカメラ接続カードの認証に失敗しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
USB エラーです / サービスにご連絡ください	USB インターフェースに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
WPA 認証完了していない	WPA の認証が未完了です。	WPA の認証方式に応じて設定してください。
：Z Z ボタンでカバーを開け用紙を取り除いてください。	両面ユニット内で紙づまりが発生しました。	前カバー（Z）を開けて用紙を取り除いてください。 P.219「紙づまり（Z）が発生したとき」を参照してください。
@Remote 回線異常 / 復旧しない場合はサービスに連絡	@Remote 回線に異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
@Remote 回線の接続状態を確認	@Remote 回線の接続状態を確認中です。	しばらくお待ちください。
@Remote 証明書の更新中です	@Remote 証明書の更新中です。	しばらくお待ちください。
@Remote 証明書の更新失敗 / サービスにご連絡ください	@Remote 証明書の更新に失敗しました。	電源を入れ直して再度更新してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。

50 音順

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
イーサネットボードエラーです。	イーサネットボードに異常が発生しました。	拡張イーサネットボードをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
一時停止中です	処理中のすべてのジョブが一時停止中です。	しばらくお待ちください。
印刷できません	印刷不許可のファイルを印刷しようとしています。	印刷不許可の設定を解除して印刷してください。
印刷できる最大サイズを超えています。ジョブリセットしてください。	指定された用紙サイズが、使用可能な用紙の最大サイズを超えています。	［ジョブリセット］の選択キーを押して印刷を中止してください。
印刷保留中 / 印刷を再開する場合は、保留解除してください。	試し印刷や機密印刷などの印刷ジョブを保留しています。	保留/解除の設定は、Web Image Monitor で行ってください。Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
ウェイティング	データ待ちの状態です。	しばらくお待ちください。
遠隔診断機器との接続エラー / 管理者にご連絡ください	RCG（Remote Communication Gate）と通信できません。	管理者に連絡してください。
オプション RAM エラーです。	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換してください。 SDRAM モジュールの交換については、P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
カバーオープン 上カバーが開いています。閉めてください。	本体上カバーが開いています。	上カバーを閉めてください。
カバーオープン 左／前カバーが開いています。閉めてください。	• 本体左カバーまたは前カバーが開いています。 • 廃トナーボトルがセットされていないか、正しくセットされていません。	• 左カバーまたは前カバーを閉めてください。 • 廃トナーボトルが正しくセットされているか確認してください。廃トナーボトルのセット方法については、P.160「廃トナーボトルを交換する」を参照してください。

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
カラー感光体ユニット交換時期 左カバー内の説明を確認し交換します。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	カラー感光体ユニットの交換時期です。	カラー感光体ユニットを交換してください。 P.158「感光体ユニットを交換する」を参照してください。
カラー感光体ユニットの交換時期です / カラー感光体を交換してください	カラー感光体ユニットの交換時期です。	カラー感光体ユニットを交換してください。 P.158「感光体ユニットを交換する」を参照してください。
カラー感光体ユニットもうすぐ交換 / 新しい感光体ユニットが必要です / 購入窓口にご連絡ください	カラー感光体ユニットの交換時期が間近です。	交換時期に備えて、新しいカラー感光体ユニットを用意してください。
給紙トレイに用紙がありません。用紙を補給してください。	指定したトレイに用紙がセットされていません。	指定したトレイに用紙をセットしてください。P.133「用紙をセットする」を参照してください。
給紙トレイを正しくセットしてください。	指定した給紙トレイ 1～4 が、正しくセットされていません。	指定したトレイが正しくセットされているか確認してください。 他の用紙がセットされているトレイを新たに指定して印刷するときは［強制印刷］、データを取り消すときはジョブリセットの選択キーを押してください。
現在の無線 LAN カードでは WPA は動作しません	WPA 非対応の無線 LAN カードを使用しています。	WPA に対応した無線 LAN カードを使用してください。
故障時自動通報　SC：####	故障しています。	電源を入れ直して確認してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。その際、エラーコード（左記の「####」部分）も連絡してください。
この NetBIOS 名は使用されています	ネットワーク内で NetBIOS 名が重複しています。	NetBIOS 名が重複しないよう設定し直してください。
サーバーと通信できません	サーバーに接続できない。応答がない。	管理者に連絡してください。

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
最大サイズオーバーです。 強制印刷またはジョブリセットしてください。	印刷できる最大サイズを超えています。	設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
修理依頼通報　SC：####	故障の可能性があります。	電源を入れ直して確認してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。その際、エラーコード（左記の「####」部分）も連絡してください。
省エネモード	省エネモード状態になっています。	そのままご使用になれます。
消耗品の自動発注に失敗 / XXX	消耗品の自動発注に失敗しました。 （XXX：トナーブラック、用紙、メンテナンスキットなどの各種消耗品）	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
センターに接続できませんでした / プロキシユーザー名/パスワードを確認	プロキシユーザー名もしくはパスワードが間違っています。	プロキシユーザー名もしくはパスワードを正しく設定してください。
中間転写ユニット交換時期 左カバー内の説明を確認し交換します。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	中間転写ユニットの交換時期です。	中間転写ユニットの交換時期です。サービス実施店に連絡してください。
中間転写ユニットの交換時期です / ユニットを交換してください	中間転写ユニットの交換時期です。	中間転写ユニットの交換時期です。サービス実施店に連絡してください。
中間転写ユニットもうすぐ交換 / 新しいユニットが必要です / 購入窓口にご連絡ください	中間転写ユニットの交換時期が間近です。	中間転写ユニットの交換時期に備えて、サービス実施店に連絡してください。
中間転写ユニットを正しくセットしてください。	中間転写ユニットが正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
調整中です	カラー調整中もしくは色ずれの補正中です。	しばらくお待ちください。

9

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
定着ユニットを正しくセットしてください。	定着ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
電源を切り、感光体ユニットを正しくセットしてください。 XXX	感光体ユニットが正しくセットされていません。 (XXX：ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)	感光体ユニットが正しくセットされているか確認してください。
トナーがなくなりました / XXX / トナーボトルを交換してください	トナーがなくなりました。 (XXX：ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)	トナーカートリッジを交換してください。P.153「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
トナー残りわずが / XXX を用意 / 購入窓口にご連絡ください。	トナーが残りわずかです。 (XXX：ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)	新しいトナーカートリッジを用意してください。
トナー補給< K,C,M,Y > 上カバー内の説明を確認し補給します。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	トナーがなくなりました。	プリンターの上カバーを開け、内側に貼られているラベルを確認して、トナーを補給してください。P.153「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
トナー補給中	トナーの補給中です。	しばらくお待ちください。
トナーボトルを正しくセットしてください。 XXX	トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジの種類が正しくありません。 (XXX：ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)	トナーカートリッジが正しい場所にセットされているか確認してください。トナーカートリッジのセット方法については、P.153「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
トレイ#に用紙がありません。補給してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～4）に用紙がセットされていません。	表示されたトレイに用紙を補給してください。 データを取り消すときは、ジョブリセットの選択キーを押してください。

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
トレイ#に用紙がありません。補給してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～4、手差し）に用紙がセットされていません。	表示されたトレイに用紙を補給してください。 他の用紙がセットされているトレイを新たに指定して印刷するときは［強制印刷］、データを取り消すときはジョブリセットの選択キーを押してください。
トレイ#を下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～4）の用紙サイズが、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙サイズと異なります。	表示されたトレイに、指定したサイズの用紙をセットした上で、操作部で用紙サイズを変更してください。 設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
トレイ#を下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～4）の用紙種類が、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙種類と異なります。	表示されたトレイに、指定したサイズと種類の用紙をセットした上で、操作部で用紙サイズと用紙種類を変更してください。 設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
トレイ#を下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～4）の用紙種類と用紙サイズが、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙種類と用紙サイズと異なります。	操作部に表示されたサイズ・種類の用紙に変更して印刷します。 設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
ネットワークに接続できません / 管理者にご連絡ください	ネットワークに接続できません。	管理者に連絡してください。
ネットワークに接続できません / IP アドレスの設定を確認	IPv4 アドレスの設定が正しくありません。	IPv4 アドレスの設定を確認してください。管理者に連絡してください。

9

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
ネットワークの設定を確認してください	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が正しくありません。	ネットワーク（IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定を確認してください。管理者に連絡してください。
ハードディスクが故障しました / サービスにご連絡ください	拡張 HDD に異常が発生しました。	拡張 HDD をセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。 拡張 HDD のセット方法については、P.58「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
廃トナーボトル満杯 左カバー内の説明を確認し交換します。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	廃トナーボトルが満杯になりました。	廃トナーボトルを交換してください。
廃トナーボトルもうすぐ満杯 / 購入窓口にご連絡ください	廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。	新しい廃トナーボトルを用意してください。
パスワード不一致	暗号化された PDF ファイルのパスワードが一致していません。	正しいパスワードを入力してください。
パラレル I/F エラーです。	パラレルインターフェースに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。また、適切なインターフェースケーブルを使用していることを確認してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
非純正トナーがセットされています	純正ではないトナーカートリッジがセットされています。	純正のトナーカートリッジをセットしてください。
ファイルシステムエラー	PDF ダイレクト印刷用の領域を確保できません。	システム設定メニューの［RAM ディスク］の設定値を増やすか、不要なファイルを削除してください。もしくは拡張 HDD を増設してください。拡張 HDD の増設については、P.58「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
ファイルシステムフル	PDF ダイレクト印刷用の領域が不足しているため、PDF ダイレクト印刷を実行できません。	システム設定メニューの［RAM ディスク］の設定値を増やすか、または、不要なファイルを削除してください。

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
複数のインターフェースで IPv4 アドレスが重複しています。	ネットワーク内の複数の機器が、同一の IPv4 アドレスを使用している。	IPv4 アドレスが重複しないよう設定してください。
ブラック感光体ユニット交換時期 左カバー内の説明を確認し交換します。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	ブラック感光体ユニットの交換時期です。	ブラック感光体ユニットを交換してください。
ブラック感光体ユニットの交換時期 / K 感光体を交換してください	ブラック感光体ユニットの交換時期です。	ブラック感光体ユニットを交換してください。
ブラック感光体ユニットもうすぐ交換 / 新しい感光体ユニットが必要です / 購入窓口にご連絡ください	ブラック感光体ユニットの交換時期が間近です。	新しいブラック感光体ユニットを用意してください。
プリンターフォントエラーです。	プリンターのフォントファイルに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
プリンターモジュールが故障しています	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換してください。SDRAM モジュールの交換については、P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
プロキシの設定を確認。再エラー時： / サービスにご連絡ください	Proxy が設定されていません。Proxy のアドレスまたはポート番号が間違っています。	Proxy のアドレスまたはポート番号を正しく設定し、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
他の機器にインストール済です / 本機にはインストールできません	他の機器でインストール済みのソフトウェアを、本機にインストールしようとしています。	本機にインストールしようとしているソフトウェアを確認してください。
本体トレイが満杯になりました。用紙を取り除いてください。	本機の本体トレイが満杯になりました。	本体トレイの用紙を取り除いてください。データを取り消すときはジョブリセットの選択キーを押してください。 また、排紙口の検知レバーに触れると、エラーを解除できる場合があります。

9

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
無線カードが故障しています / サービスにご連絡ください	拡張無線 LAN ボードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN ボードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
無線カードに接続できません / 主電源を切り、カードを確認	拡張無線 LAN ボードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN ボードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
無線ボードが故障しています / サービスにご連絡ください	拡張 Bluetooth ボードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張 Bluetooth ボードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
メンテナンスキット交換時期 左カバー内の説明を確認し交換します。メニューキーでサプライ情報を確認できます。	定期交換部品の交換時期になりました。	定期交換部品キット（フリクションパッド、給紙コロ、転写ローラー、定着ユニット、防じんフィルター）の交換時期です。サービス実施店に連絡してください。
メンテナンスキットの交換時期です / メンテナンスキットを交換してください	定期交換部品の交換時期になりました。	定期交換部品キット（フリクションパッド、給紙コロ、転写ローラー、定着ユニット、防じんフィルター）の交換時期です。サービス実施店に連絡してください。
メンテナンスキットの交換時期まぢか / 新しい交換部品が必要です / 購入窓口にご連絡ください	定期交換部品の交換時期が間近です。	印刷品質が低下する恐れがありますが、印刷は継続できます。交換メッセージに変わり次第、サービス実施店に連絡してください。
ユニット初期調整中	オプションユニットの初期調整中です。	しばらくお待ちください。
用紙がありません。	選択したトレイに用紙がありません。	選択したトレイに用紙を補給してください。P.133「用紙をセットする」を参照してください。

9

メッセージ / 交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
用紙種類／サイズが異なります。下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	自動選択の対象となるトレイ#（1～4、手差し）に、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙サイズ、用紙種類と一致するトレイがありません。	任意のトレイを選び、指定したサイズ・種類の用紙をセットします。操作部に表示されたサイズ・種類の用紙に変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
ログデータが満杯です	ログデータが満杯になりました。	不要なログデータを削除してください。機器管理者のみ、Web Image Monitor からログデータを削除できます。詳しくは、管理者に問い合わせてください。
ログデータ転送失敗。サーバー設定を確認 / またはログ転送設定を解除。	ログデータの転送に失敗しました。	サーバーの転送設定を確認してください。メッセージが消えないときは、ログデータの転送設定を解除してください。
ログデータはもうすぐ満杯です	ログデータがもうすぐ満杯になります。	サーバーの転送設定によっては、ログが機器に残っている可能性があります。その場合はサーバーの転送設定を確認してください。

エラーコードが表示されるメッセージ

9

コード番号順

エラーメッセージ	原因	対処方法
84：ワークエラー	イメージを処理するためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。 SDRAM モジュールの増設については、P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
85：グラフィック	指定されたグラフィックスライブラリがありません。	送信データが正しいか確認してください。
86：パラメーター	モノクロエミュレーションをご使用で、自作プログラムソフトでご利用の場合などに、制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
87：メモリーオーバー	印刷する用紙サイズのためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、小さいサイズの用紙サイズを指定してください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
89：メモリースイッチ	印刷条件の設定値が不適当です。	印刷条件を正しく設定してください。
90：メディアフル	拡張 HDD の容量が不足しています。	拡張 HDD に登録されている不要なデータを削除してください。
92：メモリーオーバー	イメージ/フォームオーバーレイのためのメモリー領域が不足しています。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
93：メモリーオーバー	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が不足しています。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
95：フォントエラー	指定されたフォントがフォントテーブルにありません。	文字コードを正しく設定してください。
96：セレクトエラー	存在しないフォントセットが選択されました。	送信データを確認し、修正してください。
97：アロケーション	フォントを登録する領域がありません。	SDRAM モジュールを増設してください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
98：アクセスエラー	拡張 HDD に正常にアクセスできません。	拡張 HDD を正しく取り付けてください。P.58「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
9B：認証不適合	認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。	ユーザーの権限を確認してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	プリンターの受信バッファを多く設定してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	ソート枚数を適切な数値にしてください。
A6：ページフル	印刷中に画像メモリーが不足しました。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
A9：ページエラー	試し印刷、機密印刷でページオーバーが起こりました。	印刷するページ数を減らしてください。
AA：文書数エラー	試し印刷、機密印刷で文書数がオーバーしました。	登録されている文書を削除するか、文書のデータのサイズを小さくしてください。
AB：ハードディスクフル	試し印刷、機密印刷で拡張 HDD がオーバーフローしました。	登録されている文書を削除するか、文書のデータのサイズを小さくしてください。
AC：ハードディスクフル	拡張 HDD のフォーム、フォント用領域でオーバーフローしました。	不要なフォームまたはフォントを削除してください。
AD：蓄積エラー	拡張 HDD が装着されていない状態で、機密印刷の指示が出されました。	機密印刷を実行するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。P.58「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
AE：ページ数エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録でページオーバーが発生しました。	イメージオーバーレイの登録ページ数を減らすか登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。
AF：登録数エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録数オーバーが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。
AG：ハードディスクフル	イメージオーバーレイのフォーム登録で HDD オーバーフローが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除するか、登録データサイズを小さくしてください。
AH：登録エラー	イメージオバーレイのフォーム登録で登録済みのフォーム番号に登録しようとした。	イメージオーバーレイのフォーム登録の場合はフォーム番号を変えるか登録済みのフォームを削除してから登録してください。
AI：給紙サイズエラー	給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙サイズを指定してください。

9

エラーメッセージ	原因	対処方法
B6：ユーザーの自動登録に失敗	登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に認証情報を機器のアドレス帳に自動登録できません。	管理者に連絡してください。
B7：登録済ユーザーと情報が重複	LDAP や RDH 認証で、異なるサーバーに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えによるなどで、名前（アカウント名）の重複が発生しました。	管理者に連絡してください。
B8：サーバー応答なし	LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバーへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。	認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。
B9：他機能でアドレス帳使用中	他の機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問合せができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
BA：利用権限がありません	利用者制限により印刷ジョブがキャンセルされました。	ユーザーコードの許可条件を確認してください。
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
BF：両面エラー	メモリー不足のため、または両面印刷できない用紙サイズが指定されたため、両面印刷の指定が解除されました。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを減らしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
BI：紙種名称エラー	指定された紙種名称が機器内に設定されていません。	本機の電源を入れなおすか、リセットしてください。
BJ：分類コードが不正です	分類コードが必要な機器設定なのにジョブに分類コードが指定されていません。	プリンタージョブに対して分類コードが指定されていません。プリンターのプロパティーから分類コードを指定し、再度印刷をしてください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
P1：コマンドエラー	RPCS のコマンドエラーが発生しました。	電源を入れ直してしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、次のいずれかを確認してください。 • ホストとプリンターの間で正常に通信ができるか。 • 機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。 • プリンタードライバーのメモリーを正しく設定しているか。
P2：メモリーエラー	メモリー取得エラーが発生しました。	SDRAM モジュールを増設してください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
P3：メモリーエラー	メモリー取得エラーが発生しました。	電源を入れ直してしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、SDRAM モジュールを交換してください。P.54「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
P4：送信中止	プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。	ホストが正しく動作しているか確認してください。
P5：受信中止	データの受信が中断しました。	データを再送してください。

補足

- エラーの内容はエラー履歴に印刷されます。あわせてご確認ください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。

ブザー音が鳴ったとき

本機は、機器の状況や原稿の置き忘れなどをブザー音でお知らせします。それぞれのブザー音について説明します。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピーピー”	準備完了音	電源を入れ、使用可能な状態になったときに鳴ります。
“ピッ”	入力完了音	操作部で正常なキー操作をしたときに鳴ります。
“ピッピー”	入力無効音	操作部で無効なキー操作をしたときに鳴ります。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 （同じパターンを 4 回繰り返します）	用紙切れなどで、プリントジョブが完了できないときに鳴ります。
“ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ”	強注意音 （同じパターンを 5 回繰り返します）	紙づまりやトナー補給など、お客様による対処が必要となったときに鳴ります。

補足

- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定について、『ソフトウェアガイド』「プリンター本体の設定」を参照してください。

9

印刷がはじまらないとき

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「❙On」にしてください。
［印刷停止/再開］キーが点灯していますか？	［印刷停止/再開］キーを押して、ランプを消灯させてください。
アラームランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、ディスプレイのメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 詳しくは、P.187「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
用紙はセットされていますか？	給紙トレイや手差しトレイに用紙をセットしてください。 詳しくは、P.133「給紙トレイ（標準）、増設トレイに用紙をセットする」、P.140「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
テスト印刷ができますか？	テスト印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。 テスト印刷の方法については、『ソフトウェアガイド』「テスト印刷メニュー」を参照してください。
インターフェースケーブルがきちんと接続されていますか？	インターフェースケーブルがパソコン、プリンターにしっかりと接続されていることを確認します。コネクターに金具が付いているときは、金具を使用して固定します。
インターフェースケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するインターフェースケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なインターフェースケーブルを使用してください。断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。 P.227「消耗品一覧」を参照してください。
印刷実行後、データインランプが点滅・点灯しますか？	印刷を実行してもデータインランプが点滅・点灯しないときは、プリンターにデータが届いていません。 • パソコンとケーブルで直接接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は次ページの補足を参照してください。 • パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。
拡張無線 LAN ボードを使用している場合、電波状態は良好ですか？	**アドホックモード** 電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。 **インフラストラクチャーモード** 操作部の［調整/管理］メニューから、電波状態を確認してください。電波状態が悪い場合は、電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
ワイヤレスインターフェース使用のとき、接続状態は良好ですか？	次のいずれかを実行してください。 • 拡張 Bluetooth ボードが正しく取り付けられているか確認します。 • パソコンと本機の間に障害物がある場合は取り除きます。 • パソコンを移動します。 • 本機を移動します。

それでも印刷がはじまらないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点滅・点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。

- パラレルインターフェースで接続しているときは、LPT1 または LPT2 に設定します。
- USB インターフェースで接続しているときは、USB00（n）に設定します。

  ※（n）はプリンターの接続台数によって異なります。

Windows 2000 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
3. ［ポート］タブをクリックします。
4. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
3. ［ポート］タブをクリックします。
4. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
2. ［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。

3. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。
4. ［ポート］タブをクリックします。
5. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されたメニューから［プリンターのプロパティ］をクリックします。
3. ［ポート］タブをクリックします。
4. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

思いどおりに印刷できないとき

きれいに印刷できないとき

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	階調補正を実行して印刷してみてください。階調補正を行なうには、操作部の［メニュー］キーを押し、［調整/管理］メニューの階調補正を選択します。 詳しくは、P.175「カラー階調を補正する」を参照してください。
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙が反ったり、曲がったりしていませんか？ 用紙が反っていたり、曲がっていたりすると、汚れの原因になります。特にはがきに印刷する場合は反りが発生しやすいので、セットする前に必ず直してください。詳しくは、P.119「用紙に関する注意」を参照してください。
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙の表/裏を逆にして、トレイにセットしてみてください。
用紙の印刷面に汚れが出る	トナーシールを引き抜いた後でトナーカートリッジに振動を与えると、印刷面に汚れが出たり、トナーこぼれや故障の原因になります。誤ってトナーカートリッジを振ってしまったときは、印刷面に汚れが出なくなるまで（50 枚程度）印刷を繰り返してください。
用紙の裏面が汚れる	本体給紙トレイ、500 枚増設トレイユニットにセットした用紙と操作部の設定が合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに操作部の設定を合わせてください。詳しくは、P.133「給紙トレイ（標準）、増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。 手差しトレイにセットしている用紙サイズ、方向と、操作部の設定が合っていない可能性があります。操作部で設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。詳しくは、P.140「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
用紙の裏面が汚れる	A4 のデータを B5 に印刷した場合など、印刷した用紙サイズよりも大きいサイズのデータを印刷すると、次に印刷した用紙の裏面が汚れることがあります。
部分的にかすれる、白ヌケが起こる	レジストローラー周辺に紙紛が付着すると、部分的にかすれたり、白ヌケが起きたりします。レジストローラー周辺を清掃してください。 詳しくは、P.170「レジストローラー周辺を清掃する」を参照してください。
全体がかすれる	自動濃度補正を行ってから印刷してみてください。自動濃度補正を行うには、操作部の［メニュー］キーを押し、［調整/管理］メニューの階調補正を選択します。 詳しくは、P.175「カラー階調を補正する」を参照してください。

9

状態	原因・対処方法・参照先
色味が変わってしまった	印刷結果の濃度が濃くなったり薄くなったり、色味が変化する要因として、次のことが考えられます。 • 印刷を繰り返しているうちに自然と • トナーを交換した後 • プリンターの使用環境が変わったとき 色味がこれまで印刷したものと変わってしまった場合は、カラー階調の補正や自動濃度補正を行ってください。詳しくは、P.175「カラー階調を補正する」を参照してください。
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやける原因になります。寒い部屋から暖かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、本機を室温に十分なじませてから印刷してください。
何も印刷されない	トナーカートリッジの固定テープをはがしていますか？ 固定テープをはがさずにセットすると故障の原因になります。トナーカートリッジを交換するときは、必ず固定テープをはがしてください。 詳しくは、P.153「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
意味不明の文字が印刷される	エミュレーションが正しく選択されていない可能性があります。エミュレーションを呼び出すには、操作部の［メニュー］キーを押し、［エミュレーション呼び出し］を選択します。
R98 モードで印刷したとき、正しい位置に印刷されない。	印刷条件の［印刷位置］の設定が、ソフトウェアの設定と合っていない可能性があります。正しく設定してください。

ドライバーの設定が必要なとき

状態	原因・対処方法・参照先
全体がかすれる	プリンタードライバーの［印刷品質］タブで「トナーセーブ」をチェックしていると、全体的に薄く印刷されます。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画面どおりに印刷されない	変倍や集約を行うと、行の最後の文字が次の行に送られるなど、画面上とレイアウトが異なることがあります。
画面どおりに印刷されない	グラフィックスコマンドを使用する設定で印刷すると、表やグラフのレイアウトが変わることがあります。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画面どおりに印刷されない	色付き文字をグレーで印刷するには、プリンタードライバーの設定画面の［印刷品質-ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブの「文字を黒で印刷する」のチェックを外してください。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷している可能性があります。アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
縦と横が逆に印刷される	印刷条件の［印刷方向］の設定が合っていない可能性があります。正しく設定してください。 Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。オプション設定を確認のうえ、プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
何度も用紙がつまる	プリンター内部に紙片などが残っていませんか？ P.213「用紙がつまったとき」を参照してください。
何度も用紙がつまる	本体給紙トレイ、500 枚増設トレイユニットにセットした用紙と操作部の設定が合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに操作部の設定を合わせてください。詳しくは、P.133「給紙トレイ（標準）、増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。 手差しトレイにセットしている用紙サイズ、方向と、操作部の設定が合っていない可能性があります。操作部で設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。詳しくは、P.140「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる	本体給紙トレイの用紙ガイドがきちんとセットされているかどうかを確認してください。 500 枚増設トレイユニットの用紙ガイドの位置がずれていないか確認してください。
何度も用紙がつまる	給紙コロが汚れていると用紙がつまりやすくなります。給紙コロを清掃してみてください。 P.167「給紙コロを清掃する」を参照してください。
用紙が一度に何枚も送られる	用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。複数の用紙が重なって送られると、紙づまりの原因になります。また、用紙の種類ごとの給紙可能トレイや注意事項を確認してください。詳しくは、P.120「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。
用紙が一度に何枚も送られる	フリクションパッドが汚れている可能性があります。フリクションパッドを清掃してみてください。 P.165「フリクションパッドを清掃する」を参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙がトレイから送られない	給紙コロが汚れていると用紙が送られないことがあります。給紙コロを清掃してみてください。 P.167「給紙コロを清掃する」を参照してください。
給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、ディスプレイのエラーメッセージが消えない	紙づまりのメッセージが表示されたときは、前カバーの開け閉めを行わないとエラーメッセージが消えません。つまった用紙を取り除いたあとは、前カバーの開け閉めを行ってください。 詳しくは、P.213「用紙がつまったとき」を参照してください。
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	［用紙設定］メニューの［自動トレイ選択］で［対象にしない］を設定していませんか？
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	本体給紙トレイ、500 枚増設トレイユニットにセットした用紙と操作部の設定が合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに操作部の設定を合わせてください。詳しくは、P.133「給紙トレイ（標準）、増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。 手差しトレイにセットしている用紙サイズ、方向と、操作部の設定が合っていない可能性があります。操作部で設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。詳しくは、P.140「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。 Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。オプション設定を確認のうえ、プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。オプション設定を確認のうえ、プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	省エネモードになっている可能性があります。省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。省エネモードについては、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。
異常音がする	異常音がする周辺で、最近交換した消耗品や取り付けたオプションなどがある場合、それらがしっかりと取り付けられているかを確認してください。それでも異常音が発生する場合は、サービス実施店に連絡してください。

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

その他のトラブルシューティング

状態	原因・対処方法・参照先
トナーカートリッジの交換時にトナーが残っている	設置環境によっては、トナーカートリッジにトナーが残っている場合があります。その場合は、トナーカートリッジを再度セットしてください。自動的にトナー補給が行われ、継続して使用できる場合があります。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	PDF ダイレクトプリントを実行するためには、操作部からシステム設定メニューの［RAM ディスク］に 2MB 以上の値を設定してください。それでも実行できないときは、オプションの拡張 HDD が必要です。拡張 HDD を取り付けてください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	SDRAM モジュールを増設してシステム設定メニューの［RAM ディスク］に 16MB を設定した後に SDRAM モジュールを取り外すと、［RAM ディスク］の設定値が 0MB になります。この場合は、［RAM ディスク］の設定値を 2MB 以上に設定し直してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷する場合は、PDF 設定メニュー、または Web ブラウザーで、PDF ファイルのパスワードを設定してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	PDF ファイルのセキュリティーの設定で、印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。
PDF ダイレクトプリントの印刷結果で、文字が抜けていたり、文字の形が変わっていたりする	印刷する PDF ファイルにフォントを埋め込んでから、印刷してください。
PDF ダイレクトプリントを実行したが、操作部に用紙サイズが表示され、印刷が実施されない	PDF ダイレクトプリントでは、PDF ファイルの中に指定されている用紙サイズで印刷を実行します。メッセージが表示された場合は、表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットするか、または、強制印刷を実行してください。なお、システム設定メニューの［補助用紙サイズ］を［自動］に設定すると、Letter と A4 は同じサイズと見なされて、印刷が実行されます。たとえば、給紙トレイに Letter をセットしている状態で A4 サイズの PDF ファイルを PDF ダイレクトプリントで印刷した場合、印刷は実行されます。逆の場合も同じです。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	Web ブラウザーで本機にアクセスして表示される Web Image Monitor に管理者モードでログインし、［通知］内の以下の設定を確認してください。 • 機器のメールアドレス • 通知先グループ • 項目ごとの通知先 設定の詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	Web Image Monitor に管理者モードでログインし、［メール］内の SMTP サーバーの設定を確認してください。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	本機がメールを発信する前に電源を切ると、メールは送られてきません。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	宛先に指定したメールアドレスが正しいかどうかを確認してください。 Web Image Monitor の［ネットワーク］内の［システムログ］でプリンターの動作履歴を確認し、メールが発信されているのに届いていない場合は宛先が正しくない可能性があります。 メールサーバーのエラーメールに関する情報も確認してください。
エラー発生を知らせるメールは来たが、エラー解除を知らせるメールが来ない	Web Image Monitor の［通知］で、エラー解除時にも E-mail を発信するように設定しているかどうかを確認してください。 ［通知］内の［項目ごとの通知先］の［編集］ボタンをクリックして表示される「通知項目詳細」画面で、［通知する時］を［発生・解除］に設定する必要があります。
エラー解除を知らせるメールを発信するように設定しているが、エラー解除を知らせるメールが来ない	エラー発生後に本機の電源を切り、その間にエラーが解除された場合は、エラー解除を知らせるメールは発信されません。
エラー発生時とエラー解除時にメールを発信するように設定しているが、エラー発生メールが来ないで、エラー解除を知らせるメールだけが来た	エラー発生を知らせるメールを発信するまでの設定時間が過ぎる前にエラーが解除された場合、エラー発生メールは発信されず、エラーが解除されたことを知らせるメールだけが送信されます。
エラー発生を知らせる通知レベルを変更したが、そのタイミングでエラーが来なかった	変更前の通知レベルでエラー発生を知らせるメールが来ている場合、その後に通知レベルを変更してもメールは発信されません。
Bluetooth を使用した印刷が遅い	次のことを行なってみてください。 • 送信する印刷ジョブを減らしてください。 • IEEE 802.11b（無線 LAN）機器や他の Bluetooth 機器が動作していないか確認してください。IEEE 802.11b（無線 LAN）機器と干渉する場合があります。干渉した場合、通信速度などに影響を及ぼすことがあります。 • 障害物などで通信ができていない可能性があります。本機またはパソコンを移動させてください。Bluetooth 接続の場合、送信速度はあまり速くありません。

それでも思いどおりに動作しないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

10. 紙づまりの対処

つまった用紙の取り除きかたについて説明します。

用紙がつまったとき

プリンターに用紙がつまったときは、ディスプレイにエラーメッセージとつまっている場所が表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

重要

- **用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。**
- **用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。**
- **何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。**
    - **操作部の設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。**

      詳しくは、P.133「用紙をセットする」を参照してください。

  - 給紙トレイの用紙ガイドの位置がずれている。

    詳しくは、P.133「用紙をセットする」を参照してください。

  - フリクションパッドや給紙コロが汚れている。

    詳しくは、P.165「フリクションパッドを清掃する」、P.167「給紙コロを清掃する」を参照してください。

- つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意下さい。
- 上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に連絡してください。

紙づまり（A）が発生したとき

「：A／A ボタンでカバーを開け用紙を取り除いてください」は、本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したときに表示されるエラーメッセージです。前カバー（A）を開いて用紙を取り除いてください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

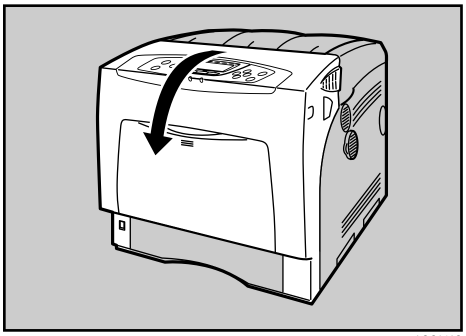
⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

重要

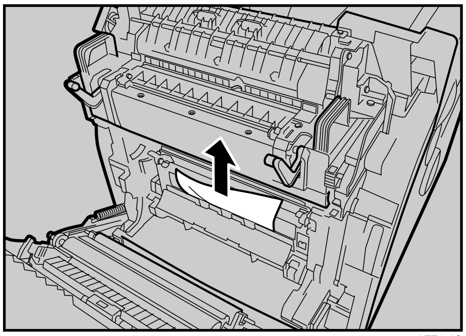
- **つまった用紙を勢いよく引っぱると用紙が破れ、機器の内部に紙片が残る可能性があります。**
- **手差しトレイに給紙した用紙が紙づまりを起こしたときは、前カバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。**
- **前カバーを開けるときは、手差しトレイにセットしている用紙を取り除いてから開けてください。**
- **つまった用紙が見えにくい場合があります。下からのぞいて紙づまりがないか確認してください。**

1. プリンター本体の前カバー（A）を、左右のレバーを引いてゆっくりと開きます。

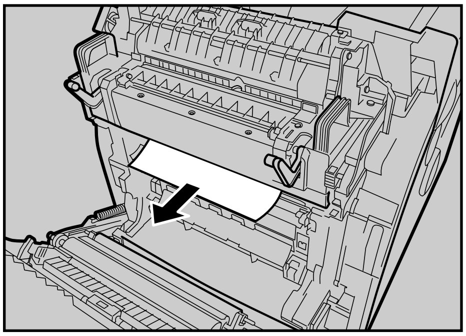


AQC018S

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



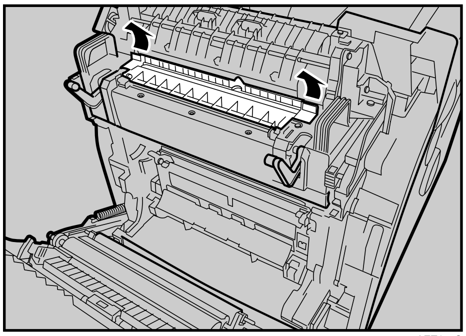
AET173S



AET174S

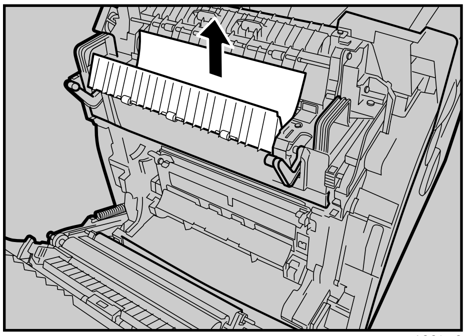
つまった用紙が見えにくい場合があります。下からのぞいて紙づまりがないか確認してください。

3. 定着ユニットの排紙口に用紙がつまったときは、定着ユニット上部の左右にある「A1」とマーキングされたレバー（青色）をつかみ排紙カバーを開きます。



AET175S

4. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



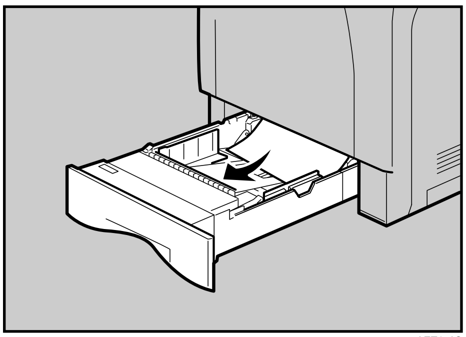
AQC177S

5. 定着ユニットの排紙カバーを閉じます。

6. 前カバー（A）を閉じます。

つまった用紙を取り除いてもエラーメッセージが消えないときは、給紙トレイ内に用紙がつまっているかもしれません。

7. 給紙トレイを引き出し、つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



AET178S

8. 給紙トレイを元に戻します。紙づまりを防ぐため、きちんと給紙トレイを閉めてください。

補足

- 500 枚増設トレイユニットの下段から給紙しているときに用紙がつまった場合、つまった用紙を取り除くために、上段のトレイを引き出します。このとき、トレイが引き出しにくくなりますが、無理に引き抜いても問題はありません。
- エラーが解除されない場合は、もう一度、つまっている用紙がないか確認の上、電源を入れ直してください。
- 前カバーを閉めるときは、カバー前面上部をしっかり押して閉めます。エラーが解除されたことを確認してください。

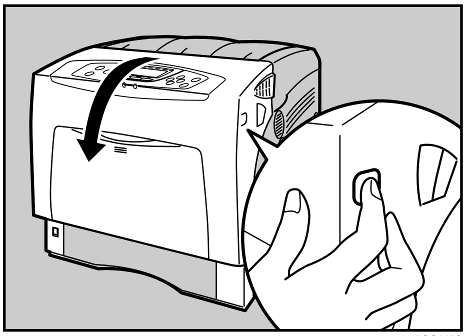
紙づまり（Z）が発生したとき

「：Z／Z ボタンでカバーを開け用紙を取り除いてください」は、本体内部の両面ユニットで紙づまりが発生したときに表示されるエラーメッセージです。前カバー（Z）を開いて用紙を取り除いてください。

重要

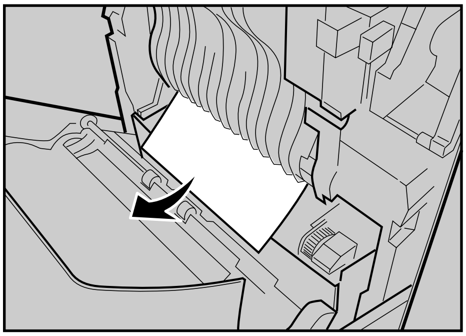
- **つまった用紙を勢いよく引っぱると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性があります。**

1. プリンター本体の前カバー（Z）を、オープンボタンを押して開けます。



AQC016S

2. つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



AET179S

3. 前カバー（Z）を閉じます。

補足

- エラーが解除されない場合は、もう一度、つまっている用紙がないか確認の上、電源を入れ直してください。
- 前カバーを閉めるときは、カバー前面上部をしっかり押して閉めます。エラーが解除されたことを確認してください。

11. 付録

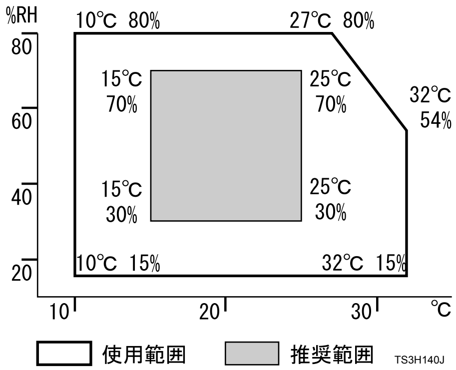
本機の保守・運用について説明します。消耗品やオプションの一覧、本機やオプションの仕様を示します。

保守・運用について

保守や輸送方法についての注意事項です。

使用上のお願い

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。



- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 使用中は換気を良くしてください。本機を換気の悪い部屋で長時間使用すると、臭気が気になることがあります。快適な作業環境を保つために部屋の換気をすることをおすすめいたします。
- オプションの 500 枚増設トレイユニットを 2 段以上取り付け、プリンターを床の上に直接設置する場合は、必ず転倒防止テーブルを設置してください。
- 前カバーを開けたままにしないでください。
- 印刷中に前カバーや手差しトレイを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源コネクターを抜かないでください。

- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 電源を入れたままで 500 枚増設トレイユニットを取り外さないでください。故障の原因になります。
- 日本国外へ移動する場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 本機は、月間印刷ページ数が 10,000 ページ以下（A4□の場合）、1 日の通電時間の合計が 8 時間程度の条件で、使用年数を 5 年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が 10,000 ページを超えていたり、1 日に合計 8 時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が 600,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でプリンターを良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
    - 定期点検を行い、品質の維持を図ります。
    - 計画的に経費の運用ができます。
    - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
    - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7 年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

補足

- 保守契約の内容により、定期点検はオプションとなります。

移動

⚠注意



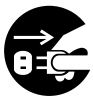
- プリンター本体は約 50kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を 4 人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意



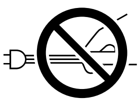
- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

⚠注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。本製品を日本国外に移動させた場合は、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

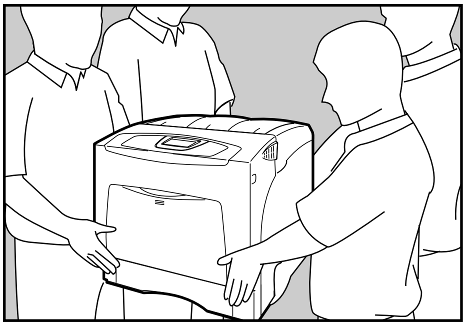
近くに移動する

★重要

- **本機の持ち運びは、必ず 4 人以上で行ってください。**
- **移動の際は、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。**

- **転倒防止措置をしているプリンターを運ぶときは、プリンター本体および増設トレイユニットの取っ手は使用せず、専用テーブルのキャスターを使用してください。プリンター本体と増設トレイユニットの取っ手は、それぞれ単品で運ぶ場合にのみ使用します。転倒防止措置をしているプリンターを持ち上げなければならない場合は、サービス実施店に相談してください。**
- **増設トレイユニットを取り付けているときは、本機と増設トレイユニットは固定されていないので別々に移動してください。また、本機を持ち上げるとき、増設トレイユニットから確実に離れていることを確認してください。**

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. インターフェースケーブルを取り外します。
3. オプションの 500 枚増設トレイユニットを取り付けている場合は取り外します。
4. プリンター本体の各カバー、手差しトレイがきちんとしまっていることを確認します。
5. 取っ手を 4 人以上で持ち、本機を水平を保ち、静かに移動します。



階段の昇降など、本機を水平状態に保てない場合は、搬送機械設備を使用してください。

机上のプリンターを移動する際は、引きずらないで必ず持ち上げて移動してください。

11

プリンターを輸送する

プリンター購入時の箱に入れて輸送してください。

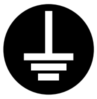
重要

- **ケーブル類はすべて取り外します。**
- **トナーカートリッジはプリンター内部を汚すおそれがありますので、本機から取り外してください。詳しくは、P.153「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。**

- **精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。**

接地接続について

⚠警告



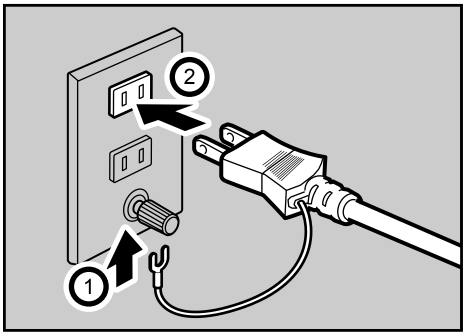
- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D 種）を行っているアース線

1. 本機の電源スイッチが「Off」になっていることを確認します。

2. アース線を接続し（①)、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②)。



CDC021

廃棄・回収

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。相談先が不明の場合は、お客様相談センターへお問合せください。個人のお客様がご自身で廃棄される場合、本機は一般廃棄物に該当しますので、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

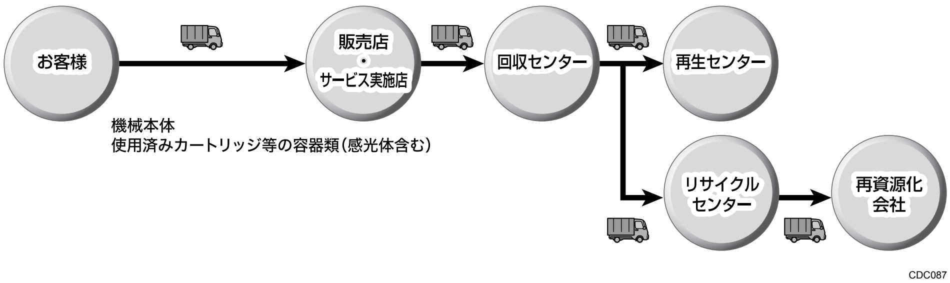
使用済み製品の回収とリサイクルについて

リコーは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しております。

本製品のご使用後の廃棄などのお取り扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。(回収費は有償となります。)

リコーの環境保全活動にご協力くださいますようお願いいたします。

使用済み製品の回収の流れ



使用済みカートリッジの回収について

弊社では、環境保全を優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的におこなっております。複数の回収方法を用意しておりますので、回収にご協力ください。なお回収方法の詳細は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.ricoh.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用推奨しております IPSiO トナー ブラック タイプ 400A を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法:RAL-UZ122 2006 に基づき試験を実施しました。)

11

消耗品一覧

トナーカートリッジ

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
IPSiO トナー ブラック タイプ 400A IPSiO トナー ブラック タイプ 400B	636596 636667	1 個	約 5,000 ページ 約 15,000 ページ
IPSiO トナー イエロー タイプ 400A IPSiO トナー イエロー タイプ 400B	636597 636668	1 個	約 5,000 ページ 約 15,000 ページ
IPSiO トナー マゼンタ タイプ 400A IPSiO トナー マゼンタ タイプ 400B	636598 636669	1 個	約 5,000 ページ 約 15,000 ページ
IPSiO トナー シアン タイプ 400A IPSiO トナー　シアン　タイプ 400B	636599 636670	1 個	約 5,000 ページ 約 15,000 ページ

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4▯ 5%チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。
- 本機に同梱されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は約 3,000 ページです。早めにトナーカートリッジをお求めくださることをお勧めします。
- トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

感光体ユニット

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
感光体ユニット カラー タイプ 400	509446	1 セット	約 50,000 ページ
感光体ユニット ブラック タイプ 400	509447	1 個	約 50,000 ページ

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4▯ 5%チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。感光体ユニットは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。
- 交換時期を過ぎると、印刷品質を保証できません。早めにご購入いただくか、買い置きすることをおすすめします。

- 感光体ユニット（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

廃トナーボトル

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数
廃トナーボトル タイプ 400	509445	1 個	約 50,000 ページ

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4▯ 5%チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。
- 廃トナーボトル（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

用紙

各種用紙の情報については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/paper/index.html）を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

関連商品一覧

外部オプション

500 枚増設トレイユニット タイプ 400（商品コード：509436）

550 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。3 段まで取り付けられます。3 段増設時には本体給紙トレイ、手差しトレイと合わせて最大 2,300 枚の用紙を同時にセットできます。

専用テーブル タイプ 400（商品コード：509477）

550 枚増設トレイユニットを 2 段またはそれ以上取り付け、本体を床に直接設置する場合に必要です。

SDRAM モジュール

SDRAM モジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

SDRAM モジュール VIII 128MB（商品コード：515501）

メモリー容量は 128M バイトです。

SDRAM モジュール VIII 256MB（商品コード：515502）

メモリー容量は 256M バイトです。

拡張 SD カード

IPSiO PS3 カード タイプ C420（商品コード：308757）

本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にも Mac OS、Unix から印刷できるようにします。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C420 の機能が含まれています。

IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C420（商品コード：308756）

R98、R16、R55、RPDL が含まれたマルチエミュレーションカードです。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C420（商品コード：308758）

PDF ダイレクトプリントを実現するカードです。

IPSiO PCL カード タイプ C420（商品コード：308759）

PCL が含まれたエミュレーションカードです。

BMLinkS カード タイプ B（商品コード：308764）

本機を BMLinkS 対応プリンターにできます。

IPSiO デジタルカメラ接続カード タイプ F（商品コード：308760）

PictBridge 対応デジタルカメラからのダイレクトプリントが可能になります。

IPSiO VM カード タイプ F（商品コード：308762）

本機を Embedded Software Architecture 対応プリンターにできます。

IPSiO セキュリティカード タイプ C（商品コード：515498）

HDD に残っているデータを上書き消去するオプションです。

IPSiO 蓄積文書暗号化カード タイプ B（商品コード：515579）

本機に蓄積されるアドレス帳データ、認証情報、蓄積文書などをデータの記録時に暗号化して、情報の漏洩を防止します。

拡張ボード

1Giga イーサネットボード タイプ B（商品コード：515146）

1000Mbps（1Gbit/sec）という高速なネットワーク環境に接続して印刷することができます。1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T のインターフェースに対応しています。

IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A（商品コード：515506）

IEEE 802.11a/b/g インターフェース搭載のパソコン、あるいはアクセスポイントと接続して印刷することができます。

ワイヤレスインターフェースボード タイプ BT7（商品コード：515147）

Bluetooth インターフェースを拡張するボードです。Bluetooth V1.1 規格の SPP、HCRP、BIP に対応しています。BIP で接続するには、本機に PS3 カードが装着されている 必要があります。

拡張 1284 ボード タイプ A（商品コード：509397）

パラレル接続を拡張するボードです。

拡張 HDD

拡張 HDD タイプ N（商品コード：308761）

フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。

拡張認証システム

リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1（商品コード：315927）

本体機器に IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1-PC（商品コード：315928）

パソコンに IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー IC カード タイプ R1（商品コード：315929）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる IC カードタイプの認証カードです。

リコー IC カード管理ソフト タイプ R1（商品コード：315931）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる認証カードを発行するためのパッケージです。

リコー 個人認証カード タイプ R1-08（商品コード：315225）

リコー個人認証システムを運用する時に必要となる、本体機器に装着する SD カードです。

インターフェースケーブル

LP インターフェースケーブル　タイプ 1B（商品コード：307273）

NEC PC-9800 シリーズ　双方向通信対応　2.5m

LP インターフェースケーブル　タイプ 4B（商品コード：307274）

IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機 、PC98-NX シリーズ　双方向通信対応　2.5m

LP インターフェースケーブル　タイプ 4S（商品コード：307470）

IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機、PC-98NX シリーズ　双方向通信対応　1.5m

USB2.0 プリンターケーブル（商品コード：509600）

USB プリンターケーブル　2.5m

IEEE1284 変換コネクタ タイプ A（商品コード：509432）

パラレルインターフェースの形状を変換するコネクタです。

LP インターフェースケーブル タイプ 1B/4B/4S の接続に必須です。

インターフェースケーブル タイプ 4BH（商品コード：515454）

NEC PC98-NX シリーズ、各社 DOS/V 機　双方向通信対応　2.5 m

リコー USB2.0 ケーブル タイプミニ B （商品コード：315134）

本体とリコー個人認証 IC カード R/W を接続するための USB ケーブルです。このケーブルは、本体とパソコンを接続するための USB ケーブルではありませんので、ご注意ください。

仕様

本体

項目	内容
現像方式	レーザービーム走査＋乾式 2 成分電子写真方式（クラス 1 レーザ機器）
レーザー規格	レーザークラス 1
ファーストプリント	モノクロ：10 秒[*1]（A4▯：本体給紙トレイから給紙した場合） カラー：15 秒[*1]（A4▯：本体給紙トレイから給紙した場合）
連続プリント速度	モノクロ：30 ページ/分（A4▯、普通紙、1,200×600dpi） カラー：30 ページ/分（A4▯、普通紙、1,200×600dpi）
解像度	1,200×1,200dpi、1,200×600dpi、600×600dpi
用紙サイズ	本体給紙トレイ： • 定型サイズ：A4▯、B5▯、A5▯、B6▯、A6▯、Legal▯、Letter▯、$5^{1}/_{2}$ ×$8^{1}/_{2}$▯、郵便はがき▯、往復はがき▯ • 不定形サイズ：幅 100～216mm、長さ 148～355.6mm 手差しトレイ： • 定型サイズ：A4▯、B5▯、A5▯、B6▯、A6▯、Legal▯、Letter▯、$5^{1}/_{2}$ ×$8^{1}/_{2}$▯、郵便はがき▯、往復はがき▯ • 不定形サイズ：幅 70～216mm、長さ 139.7～900mm
用紙種類	普通紙（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200、マイペーパー） 再生紙（マイリサイクルペーパー 100） カラー紙（リコピー PPC 用紙 タイプ CP80、CB80、CY80、CG80） 第二原図用紙（リコピー PPC 用紙 タイプ TE） ラベル紙（リコピー PPC 用紙 タイプ SA） OHP フィルム（3M CG3700） 郵便はがき 封筒 厚紙
給紙量	本体給紙トレイ：550 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200） 手差しトレイ：100 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
最大給紙量	2,300 枚（500 枚増設トレイユニット 3 段装着時）
排紙量	500 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
排紙方法	裏面排紙
両面印刷	標準対応
電源	100V、12A 以上、50/60Hz、
消費電力	動作時：990W 省エネモード時：6W 電源オフ時には、電力は消費されません。

項目	内容
ウォーミングアップ時間	電源投入時：30 秒以下*2 省エネモード時：30 秒以下
形式	デスクトップタイプ
外形寸法（幅×奥×高）	446 × 589.5 × 487mm
質量	約 50kg
音圧	待機時：27dB（A）以下 稼動時（本機のみ）：52dB（A）以下
CPU	RM7935-835L 800MHz
メモリー	標準：256M バイト 最大：512M バイト
HDD	80GB（オプション）
インターフェース	本体標準 • イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX データ転送速度：10Mbps、100Mbps 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk • USB 2.0 対応 OS：Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、MacOS 10.3.3 以降 データ転送速度：480Mbps、12Mbps 通信方式：USB2.0 規格に対応 接続方式：USB2.0 規格に対応したデバイス • USB ホストインターフェース オプション • Gigabit Ethernet 1000BASE-T • IEEE 1284 準拠 双方向パラレル • IEEE 802.11a/b/g • Bluetooth
ページ記述言語	RPCS、PJL、PostScript 3（オプション）、RPDL（オプション）
エミュレーション	R55（IBM5577）、R98（NEC PC-PR201H）、R16（EPSONESC/P）、PDF、BMLinkS、PictBridge、PCL
搭載フォント	アウトライン：明朝 L、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier 4 書体、Arial 4 書体、TimesNewRoman 4 書体、Wingdings、Century、Symbol ポストスクリプト：平成 2 書体（平成明朝 W3、平成角ゴシック W5）、欧文 136 書体 ビットマップ：Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、バーコード その他：OCR-B
バーコード	JAN（標準）、JAN（短縮）、2of5（Matrix）、2of5（ITF）、CODE39、CODE128、NW-7、UPC（標準）、UPC（短縮）、カスタマバーコード

*1 本機がしばらく使われていない状態の場合、1 ページ目の印刷に多少時間がかかる場合があります。

*2 画像調整により、1、2 分かかる場合があります。

補足

- 本製品は JIS C6802 （IEC 60825-1）「レーザー製品の安全基準」に基づき、“クラス 1 レーザー製品” に該当します。
- USB 2.0 インターフェースを使って本機を接続する場合、USB 2.0 に対応したパソコンとケーブルが必要です。
- Macintosh では、プリンター本体標準の USB ポートのみ使用できます。拡張ギガビットイーサネットボードの USB ポートは使用できません。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。
- ご利用いただいているインターフェースをリコー推奨品へ交換する。

この装置は，クラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 ＶＣＣＩ－Ｂ

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2 適合品

※無線 LAN/Bluetooth ご使用の場合

本無線製品は 2.4GHz 帯を使用しております。電子レンジ等同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くで運用されていないことをご確認ください。万一干渉した場合、通信状態が不安定になる可能性があります。ご使用の際は周囲に干渉の起こる機器が存在しないことをご確認ください。

IEEE 802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

500 枚増設トレイユニット タイプ 400

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	A4▯、B5▯、A5▯、B6▯、Legal▯、Letter▯、$5\frac{1}{2}$×$8\frac{1}{2}$▯、往復はがき▯ 不定形サイズ：幅 100〜216mm、長さ 210〜355.6mm
給紙量	550 枚（1 段当たり、80g/m^2、68.8kg 紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	446×576×150mm
質量	8.5kg 以下
最大消費電力	15W 以下

1Giga イーサネットボード タイプ B

項目	内容
インターフェース	イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T） USB 2.0
データ転送速度	イーサネット：10Mbps、100Mbps、1000Mbps USB：480Mbps、12Mbps
対応プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk
ケーブルの長さ	イーサネット：100m USB：5m

補足

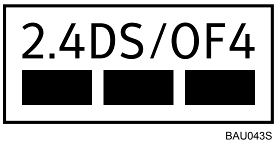
- USB インターフェースは Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/20008/2008 R2、MacOS 10.3.3 以降に対応しています。
- Macintosh では、プリンター本体標準の USB ポートのみ使用できます。拡張ギガビットイーサネットボードの USB ポートは使用できません。

IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A

項目	内容
インターフェース	IEEE 802.11a/b/g 準拠（W52/W53）、Wi-Fi 準拠

項目	内容
伝送方式	802.11a：直交周波数分割多重（OFDM）方式 802.11b：直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式 802.11g：直交周波数分割多重（OFDM）方式、直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式
伝送速度	802.11a： 6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps 802.11b： 1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps 802.11g： 1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、6Mbps、9Mbps、11Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps
周波数範囲	802.11a：5180MHz～5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53） 802.11b：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）、2484MHz 802.11g：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）

※無線 LAN に記載されているマークについて



- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF：DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示す
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

ワイヤレスインターフェースボード タイプ BT7

項目	内容
対応プロファイル	SPP（Serial Port Profile） HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile） BIP（Basic Imaging Profile）
周波数範囲	2GHz ISM 無線周波数帯
データ転送速度	732kbps
最大電送距離	10m

補足

- 「データ転送速度」は、通信機器の距離や障害物、電波状況、ご使用の Bluetooth アダプターなどにより、調整されます。

拡張 1284 ボード タイプ A

項目	内容
通信方式	IEEE 1284 規格に対応
接続方式	IEEE 1284 規格に対応したデバイス

リサイクル部品について

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOH のホームページからもご購入できます。

http://www.netricoh.com/

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9 時～18 時／土曜日 9 時～12 時、13 時～17 時　（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

商標

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の登録商標または商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG, Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Monotype は Monotype Imaging, Inc.の登録商標です。

NEC は、NEC Corporation の登録商標です。

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。

PictBridge は商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。

UPnP™ is a trademark of the UPnP Implementers Corporation.

- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 2000 Professional

  Microsoft® Windows® 2000 Server

  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional Edition

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

  Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

  Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 7 Home Premium
  Microsoft® Windows® 7 Professional
  Microsoft® Windows® 7 Ultimate
  Microsoft® Windows® 7 Enterprise
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

BMLinkS について

- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（Japan Business Machine and Information System Industries Association<JBMIA>）が推進しているオフィス機器インターフェイスです。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS 認証を受けています。
- BMLinkS 標準仕様バージョンについては、BMLinkS のインストールガイドを参照してください。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS プリントサービスを実装しています。

索引

記号・数字

アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

MEMO

MEMO

MEMO

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP C420 使用説明書〈ハードウェアガイド〉



消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOHのホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA (JP) 2010年8月 G190-8557